

大分の中世石造遺物

第3集 分布図・地名表編（下）

2015

大分県教育庁埋蔵文化財センター

大分の中世石造遺物

第3集 分布図・地名表編（下）

序 文

本書は、大分県教育委員会が文化庁の補助を得て、平成20年度から平成28年度まで9か年にわたって実施している「大分県古代・中世石造遺物分布調査」の調査報告書『大分の中世石造遺物 第3集 分布図・地名表編(下)』です。今年度まで分布調査を中心に行った調査の成果を大分県北部の分布図・地名表編として刊行する運びとなりました。

現在までの7年間にわたる分布調査により、大分県北部において、1,637箇所に及ぶ古代・中世の石造物の存在が確認できました。本書はそれらの概要を市町村ごとに一覧表にまとめたものであり、今後刊行予定の写真・実測図・拓本・銘文等を網羅した追号と併せて、大分県の古代・中世石造物の実態を把握する、その試みの嚆矢としてご利用いただければ幸いです。

本書が大分県の古代・中世石造物の基礎資料となるだけでなく、その活用により、古代・中世石造物に対する認識が深まり、ひいては郷土の文化財保護の一助となることを願ってやみません。

最後になりましたが、長年にわたる調査に際し、地元の石造物に誇りをもつ多くの方々からのご教示や、厳しい過疎化や高齢化の中でこれらを管理され続けている方々に多大なご協力をいただいたことに対し、衷心より感謝申し上げます。

平成27年3月27日

大分県教育庁埋蔵文化財センター

所 長 松 村 洋 一

例 言

- 1 本書は大分県教育委員会が平成20年度より平成28年度まで国庫補助を得て実施している「大分県古代・中世石造遺物分布調査」の報告書第3集「分布図・地名表編（下）」である。
- 2 本書には、今回の悉皆調査において把握した大分県北部の古代・中世石造物の基礎データと位置を掲載している。

なお、本書に掲載したもののうち、主要なものについては次年度以降に写真・実測図・拓本・銘文等を報告する予定である。

- 3 86頁から141頁に掲載している分布図に使用した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである（承認番号 平26情複 第703号）。
- 4 本書の執筆分担は下記のとおりである。

中津市(旧中津市)(小柳和宏)・中津市三光(小柳和宏)・中津市本耶馬溪町(坂本嘉弘)
中津市耶馬溪町(坂本嘉弘)・中津市山国町(高橋信武)・宇佐市(原田昭一)・宇佐市院内町(松本康弘)
宇佐市安心院町(高橋信武)・豊後高田市(小柳和宏・坂本嘉弘)・国東市国見町(原田昭一)
国東市国東町(原田昭一)・国東市武蔵町(綿貫俊一・宮内克己)・国東市安岐町(後藤一重)
杵築市大田(小柳和宏)

なお、編集は原田が行った。

目 次

I 古代・中世石造遺物地名表	1
II 古代・中世石造遺物分布図	85

I 中世石造遺物地名表

ここでは本稿で取り上げる大分県北部である中津市・宇佐市・豊後高田市・姫島村・国東市・杵築市大田に所在する1,637箇所石造物について、一覧表で概要をまとめている。市町村史をはじめとした過去の刊行物に記載された類例をはじめとして、平成20年度から平成26年度に及ぶ現地での発掘調査により得られたデータをもとに作成したものである。

一覧表の各項目については、下記の凡例のとおりである。

凡 例

- 番 号……………86ページ以降の分布図の各市町村単位の番号と一致する。
- 名 称……………国県市町村指定の場合、指定名称を優先して採用し、また、過去に名称が確認できるものも優先して今回の名称に採用し、それ以外のものは新たな名称とした。
- 所 在 地……………所在地は一覧表が市町村単位であるため、市町村名を省いて記載した。小字が判明しているものや、その場所固有の呼び名がある場合も併せて記載した。
- 造 立 時 期……………平安・鎌倉・南北朝・室町・戦国の各時代で表記し、石塔が出現する平安時代後期を遡るものは古代とし、また、近世でも中世の様相をもつ石塔が残る近世初期の範囲まで、掲載の対象とした。
- 概 要……………立地や歴史的環境、塔形や特徴などをはじめ、特筆すべき点について簡単にまとめた。
- 在銘資料の年号……………元号と併せてカッコ内に西暦を記載した。石塔群で複数例確認できた場合はすべて掲載した。なお、各年号に該当する資料がどれであるかについては、概要の項目でふれている。
- 指 定 区 分……………国・県・市町村単位で「重文・有形・歴史資料」および「史跡」に区分して記載し、石塔群の場合、どの資料が指定物件であるかについてもカッコ内に示した。
- 参 考 文 献……………84ページに記載した文献一覧の番号と対応する。
- 掲載地図番号……………分布図の地図番号と各分布図の縦横に8等分した小区画を記載している。
- 塔形及び個体数……………五輪塔・宝篋印塔・宝塔については、各部位ごとの実数を記載し、紙面の都合上、国東塔・板碑・一石五輪塔・無縫塔・角住塔婆・石幢・石殿については、部材のみであっても実数を記載した。五輪塔・宝篋印塔・宝塔における完存については、部材の一部のみが失われていても、組合せが本来のものと判断できるものは、完存の個体数として認識した。これ以外の塔形については、「その他の塔形」の欄に塔形名と実数を記載した。なお、相輪のように、宝篋印塔や宝塔・層塔など、どの塔形においても可能性をもつ部材である場合、他の部材の存在等考慮して、可能性の最も高い塔形に分類したため、確実とはいえない。宝珠についても同様である。また、草むらや竹藪で覆われていたり、一部、地中に存在することが明確な場合等、正確な実数が把握できない場合は、あえて各項目に実数を記載せず、概要においてふれている。

中津市・宇佐市・豊後高田市・姫島村・国東市・杵築市大田

市町村別一覧表

市町村名	掲載頁
中津市	2～15
宇佐市	16～33
豊後高田市	34～53
姫島村	54～55
国東市	56～77
杵築市大田	78～83

市町村別分布地図

市町村名	掲載頁
中津市	90～92・101～106・114～120・129～134
宇佐市	106～109・119～122・133～136・138～140
豊後高田市	86・94～97・108～111・123・124
姫島村	88・89
国東市	86～88・96～99・111～113・125～127
杵築市大田	110・111・125・126

番号	名称	所在地	建立時期	備 考	存続資料の 年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
1	吉野寺石塔群	向木新町	戦国	境内の一角に中世の五輪塔塔群が置かれている。				3 F-5
2	寶壽寺石塔群	津町	戦国～近世初期	境内に五輪塔塔群が点在する。また、市有形の鐘師打置が1棟立つ。				3 F-5
3	内町寺石塔と周辺 石塔群	寺町	近世初期	境内の市有形の八角石塔をはじめ寺裏の墓地内に近世初期の石塔が点在する。 一古でできた小型の宝篋印塔は珍しい。また、小型の宝篋印塔や五輪塔を納める「らんとろ」がある。			市有形 (石構)	3 G-5
4	合元寺五輪塔	寺町	近世初期	境内に五輪塔1基が置かれている。				3 G-5
5	壽福寺石塔	鹿江町	近世初期	石塔の半が置かれている。				3 G-5
6	光壽寺石塔群	桑田	戦国	境内に五輪塔塔群が点在する。				3 G-5
7	安養寺石塔群	龍津町		安養寺境内に中世に遡ると考えられる五輪塔空風輪がある。				3 G-4
8	宝篋印堂石仏	赤瀬	近世初期	御堂の中に花崗岩製の阿彌陀如来が安置されている。				3 G-4
9	上原寺墓地五輪塔群	下宮水	室町～戦国	墓地の一角に五輪塔塔群が集められている。				3 H-4
10	下宮寺墓地石塔群	下宮水	室町～戦国	広い墓地の中に中世の石塔が点在している。大きくは4箇所に分けられる。				3 H-4
11	宝篋石仏	南北朝前		本尊が福沢院の石仏で、那尾深町の慶長寺の石仏を造った逆流鎌倉の手によると思われる。造形的にも慶長寺のものに近い。				3 H-5
12	龍興寺聖徳塔	中央1丁目	南北朝前	久保氏の私寺として建立された真鍮寺の中に、台座を欠く五輪塔が1棟立っている。東国方面からの流入品が、横には別個体の桜花彫のある台座が置かれる。				3 H-5
13	龍王地石塔群	向木龍王	戦国～近世初期	古昔墓地の一角に中世石塔物が集められている。また、墓地内に花崗岩製の大型の石仏（阿弥陀如来、観音菩薩など）が群集体存在する。				3 F-5
14	飯瀬八幡石塔群	飯瀬	室町～戦国	木曽屋の旗本の石塔内に五輪塔空風輪を多数納めている。				3 G-5
15	牛神宮神社石塔群	牛神	室町～戦国	神社境内に数碑が置かれている。裏面に書かれているため分りづらいが、市内で唯一の二連碑である。				3 G-6
16	一ツ松塔 その1五輪塔	一ツ松	戦国	墓地の中に火輪が置かれている。				3 H-6
17	一ツ松塔 その五輪塔群	一ツ松	戦国	墓地の中に火輪と水輪が置かれている。				3 H-6
18	妙光寺石仏	東浜	室町～戦国	高寺となった境内の御堂内に阿彌陀如来像が1体ある。法衣垂下式であるが形式化しているもので、やや新しいか。				3 G-6
19	大新田墓地石塔群	大新田	室町～戦国	墓地の一角に五輪塔塔群や宝篋印堂が置かれている。				3 G-7
20	鏡矢堂観音堂五輪塔	下池水		鏡矢堂の観音堂前に空風輪が置かれている。				3 H-7
21	下池寺義記社五輪塔	下池水		義記社の社石群の中に空風輪が入れられている。				3 H-7
22	合原墓地五輪塔	合原	戦国	墓地の中に火輪が点在されている。				3 H-7
23	全徳興社五輪塔	全徳	戦国	菅原社境内に火輪が1点置かれている。石祠内の石仏（童子と手塚も）も中世まで遡るか。				3 H-7
24	全徳興社五輪塔群	全徳	室町～戦国	地蔵堂内に五輪塔塔群が置かれているが、これらは旧国道10号の建設工事の跡跡とした五輪塔塔群から持ちってきたもの。				3 H-7
25	星野家墓地五輪塔群	星野	戦国	星野家墓地に五輪塔塔群が置かれている。				3 H-8
26	願禪寺石塔群	星野	室町～戦国	寺の境内に五輪塔を中心として石塔が集められている。多くは「願禪」の流風周辺から持ってきたものという。宝篋は堂以上を欠く。寺は元「天台宗」という。				3 H-8
27	田尻墓地五輪塔	田尻	戦国	墓地の入口に火輪が置かれている。				3 G-8
28	高瀬墓地 その2五輪塔群	高瀬	室町～戦国	墓地の一角に五輪塔塔群が集められている。				10 A-4
29	高瀬墓地 その3五輪塔群	高瀬	室町～戦国	墓地の中に五輪塔塔群が置かれている。				10 A-4
30	高瀬墓地 その4五輪塔群	高瀬	戦国	墓地の中に五輪塔塔群が置かれている。				10 A-4
31	成瀬寺石仏	高瀬	戦国～近世初期	京京寺成瀬寺境内にある御堂の中に、以前近くで掘り出されたと思われる花崗岩製の石仏（阿弥陀如来）が安置されている。				10 A-4
32	高瀬実資前所 五輪塔群	高瀬	室町～戦国	家の前に五輪塔塔群が置かれている。				10 A-4
33	高瀬実資前所五輪塔群	高瀬	室町～戦国	御堂の周りに五輪塔塔群が置かれている。水輪1点はやや大型。				10 A-4
34	高瀬御堂前石塔群	高瀬	室町～戦国	御堂の前に石塔が並べられている。				10 B-4
35	洞窟墓地五輪塔群	洞窟	戦国	墓地の一角に五輪塔塔群が集められている。				10 A-5
36	西洞窟墓地石塔群	洞窟	戦国	眞經社にある洞窟の周りに五輪塔塔群が置かれている。				10 A-5
37	塚原寺石塔群	津原	室町～戦国	在地土家源流氏の霊徳寺。墓地の中に五輪塔塔群が点在する。				10 B-5
38	清原氏霊徳寺石塔群	清原	戦国	清原氏の霊徳とされる一角に五輪塔塔群が置かれている。				10 B-5
39	万田墓地五輪塔群	万田	室町～戦国	墓地の一角に五輪塔塔群が集められている。				10 B-5
40	相原寺五輪塔	相原	戦国	古代寺院相原寺の墓域内に五輪塔空風輪が置かれている。				10 B-8
41	相原寺五輪塔群	相原	戦国	境内に五輪塔が多く並べられているが、大部分は近所で出土したものと。なお、境内には相原寺の塔心礎が置かれている。				10 B-5
42	佐知大御堂五輪塔群	三光 佐知		大御堂の中に空風輪が置かれている。				10 D-9
43	佐知御堂内五輪塔群	三光 佐知		大御堂の中に空風輪だけが多数に置かれている。				10 D-5
44	富家墓地石塔群	三光 臼木	戦国	墓地の中にやや大型の石塔が立ち、墓地内には五輪塔塔群が点在している。				10 E-4
45	西栗寺五輪塔群	三光 土田		寺境内に五輪塔が置かれているが、寺は明治期に移ってきたものであり、本来のものではない。一部は東国方面から持ってきたともいわれる。				10 E-5
46	下宮水石塔群 五輪塔群	本町 下宮水 下宮水	戦国期～	下宮水地区の北側にある耶麻奈堂跡の高札所標の五輪塔群残欠。				10 H-3

塔形及び佛体数																					
五輪塔				宝篋印塔					宝塔				瓦葺塔	板碑	一石五輪塔	無縁塔	角柱塔婆	石幢	石闍	その他の塔形	
瓦葺	空塔	火輪	水輪	地輪	瓦葺	相輪	塔身	基礎	草塔	瓦葺	相輪	宝珠									瓦葺
		4		2												1					
		3	4																		
1					2		3														らんとう
1																					
		2	2	2	1																
	1																				
		7	4	3	2																石仏
	23	13	8	8			1														石仏
																1					石仏
		3	1																		石仏6
	22		2																		
	2															1					
		1																			
		1	1																		
		1	1																		石仏
	1							1													
	1																				
		1																			
	8	6	7	1																	
	1		1																		
	15	11	9	4			1														
		1																			
	5	7	8																		
	2																				
		1	2																		
																					石仏
	2	10	5	1																	
	3	4	2																		
	16	7	8	2		1	1														
	1	3																			
	1	2	1	1																	
	2	3	5	2																	
		2	1																		
		2	1																		
	1																				
	17	15	2																		
	3																				
	22																				
	8	13	9	1																	
	2	2	4																		
	1	4	2																		

番号	名称	所在地	建立時期	備 考	在籍史料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
47	上池水御堂境内 石塔群	上池水	室町～江戸初期	御堂の境内に石塔が築かれている。また、隣接する墓地に石塔が点在する。さらに、御堂内には六地藏造像が置かれている。				10 A-7
48	飯知家入口小堂 五輪塔群	上池水	戦国	小堂の中に五輪塔群が置かれている。				10 A-6
49	上池水御堂境内 五輪塔	上池水	室町～戦国	多量な墓地の中に五輪塔が置かれている。また、そこから下った崖下の水田際の墓所に、五輪塔群が集中している。				10 A-6
50	上池水墓地五輪塔群	上池水	戦国	墓地の中に五輪塔群がコンクリで囲まられ置かれている。				10 A-6
51	永澤墓地 その1五輪塔	永澤	室町～戦国	墓地の一角に五輪塔群が置かれている。				10 B-6
52	正行寺境内 五輪塔	永澤	室町～戦国	堂地の一角に五輪塔群が置かれている。				10 B-7
53	三浦院石塔群	永澤	室町	寺の境内に石塔を多く安置する。五輪塔火輪が置かれている。	41			10 B-6
54	徳成院石塔群	永澤	室町～戦国	境内に五輪塔群や石塔が点在し、首の欠けた地蔵石像がある。地蔵は平足形の台座に坐つておこな。中世のものと思われる。				10 B-5
55	永澤園地境内 石塔群	永澤	室町～戦国	墓地の中に安置する五輪塔群が置かれている。				10 B-5
56	永澤園地 その2五輪塔	永澤	室町～戦国	墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 B-5
57	永澤町司社五輪塔	永澤	室町～戦国	境内に五輪塔群が置かれている。				10 B-5
58	永澤墓地 その1五輪塔	永澤	戦国	墓地の一角に五輪塔群が置かれている。				10 B-6
59	円林寺境内五輪塔群	永澤	室町	円林寺の境内の一角に五輪塔群が置かれている。				10 B-6
60	中庭墓地五輪塔群	上如水		草場の中に五輪塔群が点在する。				10 A-7
61	扇形墓地 その1五輪塔	足利		墓地の中に五輪塔群が置かれている。				10 A-7
62	上如水墓地五輪塔群	上如水		墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 A-7
63	上如水貴船社 五輪塔	上如水		神社境内の一角に五輪塔群が置かれている。				10 A-7
64	泉原墓地 その2石塔群	足利		墓地の中に五輪塔群や石塔(空塔)が点在する。				10 A-8
65	兼社境内五輪塔群	永澤	室町～戦国	兼社境内に五輪塔群と一石五輪塔が点在する。				10 B-7
66	西福寺境内	北原	戦国	西福寺境内に石塔が点在している。「北原寺町西福寺」ともいう。	41			10 B-8
67	藤明寺石塔群	北原		藤明寺境内に小型石塔の遺構と火輪が置かれている。				10 B-8
68	北原墓地境内 その2五輪塔	北原		「三保の文化」裏の墓地に小型石塔の遺構がある。藤明寺のものに類似。				10 B-8
69	福成墓地 その2五輪塔	福成		墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 B-8
70	長久寺境内五輪塔	福成	江戸	長久寺の境内に五輪塔群が置かれている。				10 B-8
71	福成墓地 その2五輪塔	福成	戦国	墓地の中に火輪が置かれている。				10 B-7
72	福成大師堂前 五輪塔	福成	室町～戦国	大師堂前に五輪塔群が置かれている。				10 C-6
73	福成墓地 その1五輪塔	福成	室町	墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 B-7
74	福成山境内 五輪塔	福成		福成山境内に五輪塔群が置かれている。				10 C-7
75	福成墓地 その1五輪塔	福成		墓地の中に五輪塔群が点在している。空輪の1つは大型。				10 C-7
76	加来墓地 その4五輪塔	加来	戦国	墓地の中に空輪が置かれている。				10 C-7
77	加来墓地 その2五輪塔	加来	戦国	墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 C-6
78	加来墓地 その3五輪塔	加来	戦国	墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 C-6
79	加来神社五輪塔群	加来	戦国	境内の御堂の中に空輪が置かれている。				10 C-7
80	加来神社五輪塔群	中津市大字 加来	室町	「加来切苜」とされる神社境内に石塔の遺構の隅まりと石塔に五輪塔群が置かれている。				10 C-7
81	少年院境内 五輪塔	中津市大字 加来	戦国	墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 C-6
82	飯知上小路 石塔群	中津市三光 佐知字上小路		墓地の中に五輪塔群や石塔(空塔)が点在する。				10 D-5
83	加来御堂前石塔群	加来	戦国	御堂の前に石塔が置かれている。				10 D-6
84	加来地蔵堂五輪塔	加来	戦国	地蔵堂前に火輪が置かれている。				10 D-6
85	加来墓地 その1石塔	加来	戦国	墓地の中に石塔群が点在する。石塔は花崗岩製。				10 D-6
86	原口御堂石塔	三光 原口		墓地内の御堂に泥灰岩製の法衣堂下式地蔵像(頭部と胸を欠く)が安置される。御堂内には五輪塔が立つ。				10 D-6
87	三枝墓地石塔群	三光 原口 三枝		「三枝(三路)」の名を持つ塚の中に角柱塔や五輪塔群が点在する。				10 D-6
88	長仁寺境内	三光 佐知		境内に普賢堂から拜つてきたとされる石仏2体がある。また、寺裏の墓地には五輪塔の塚が点在する。				10 E-6
89	四所神社境内	三光 森山 上原屋敷		神社境内に石塔が立つ。門前3年 銘を持つ。				10 E-5
90	成徳墓地五輪塔群	三光 成徳		墓地の中に五輪塔群が点在している。				10 E-6
91	森山神社境内 石塔	三光 森山		境内の中に大型の安山岩製地蔵像(総高36cm)が安置される。また、御堂内には空輪と石塔(空塔)が置かれている。				10 D-7
92	妙法寺境内石塔群	三光 森山		八幡社からやや下つた参道脇の平地に、石塔や五輪塔、石仏などが立ち並べられている。平塚から転落したものもある。			14	10 D-7

塔形及び個体数														既築 塔	板碑	一石 五輪塔	無縁 塔	角柱 塔	石壇	石殿	その他の塔形						
五輪塔				宝篋印塔					宝塔																		
穴存	空堀跡	火輪	水輪	總輪	穴存	相輪	莖	塔身	基礎	基礎	穴存	相輪	宝珠	塔身													
	40	23	24	14																							
	3	1	1																								
	2	4	6																								
	5	2		1																							
	6																										
	3	1	1																								
	1				1																						
	2	1	1			1																				石仏	
	1					1	1																				
	3	6	4																								
	1																										
		2	2	1																							
	2	2	1	1																							
	3		2																								
		2	1																								
	6	6	5	1																							
	1	2		1																							
	2	3	6	1							2																
	1	1	3															1									
		1															1										
														1													
														1													
	4	1	5																								
		1	1																								
		1																									
	1			2																							
	1		2																								
	3	1	1																								
	7	2																									
	1																										
		6																									
	18	16	16	2																							
	2																										
	2	3	4																								
	3																										
	19	17	12	1							1																
	5	8	2									1		1													
		1																									
	5	14	15	2							1																
	1																									石仏	
		2	2																								石仏
	1	2	2																								石仏2
																		1									
	2	2	2																								
	1										1																石仏
	6					1	1		1								2	1									石仏

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍資料の年号	指定区分	参考文献	掲載地図番号
93	伊藤田八坂社五輪塔群	伊藤田		八坂社境内の隅に五輪塔群が置かれている。				10 B-9
94	伊藤田墓地その1五輪塔	伊藤田		墓地の中に五輪塔が置かれている。				10 C-8
95	伊藤田弘法堂石塔群	伊藤田		堂内に相輪(宝塔か)と地蔵を浮き彫りにした塔婆があり、堂前に宝塔塔婆が置かれている。				10 C-8
96	伊藤田墓地その2五輪塔群	伊藤田		墓地の中に五輪塔群が点在している。				10 C-8
97	高公寺墓地石塔群	伊藤田		高公寺横の墓地に石塔群が置かれている。				10 C-8
98	善徳寺石塔群	伊藤田		寺の裏にある墓地に、五輪塔塔婆を中心として1.5mほどの立方体形に積み上げている。全て、境内にあったものを集めたもので、中には相輪(宝塔か)も存在する。五輪塔の相輪は表面で確認できるもののみ記載。				10 C-8
99	伊藤田墓地五輪塔群	伊藤田		墓地の一角に五輪塔群が集中して置かれている。				10 C-8
100	萬徳堂五輪塔群	伊藤田	戦国	萬徳堂では釈迦如来石仏を祭る。この石仏は萬徳堂が天正年間(1573)に建て、近隣の池に建てられていたものを萬長年間(1624)に再興したものと、他に宝篋輪も境内に置かれている。				10 C-8
101	伊藤田城山神社五輪塔群	伊藤田		城山神社境内に五輪塔群が置かれている。				10 C-8
102	古賢神社石塔群	伊藤田		古賢神社境内に宝篋輪と火輪が置かれている。				10 D-8
103	西ノ宮神社五輪塔群	三光 田口		神社境内の一角に五輪塔群が置かれている。				10 F-6
104	水永寺五輪塔群	三光 田口		本堂から五輪塔が出土しており、墓に点在している。数は不明であるが、10個程度と思われる。				10 F-6
105	熊鷹寺石塔群	三光 田口	南北朝～戦国	「熊鷹寺」と呼ばれる地に宝篋(塔身欠く)が立ち、周囲に五輪塔群が置かれている。	41			10 F-7
106	山口弘法大師像五輪塔	三光 田口		弘法大師像の横に五輪塔が置かれている。				10 F-7
107	山口墓地石塔群	三光 田口		墓地の中の一画高いところに五輪塔群と相輪(宝塔か)が置かれている。				10 F-7
108	岡岡御堂石塔群	三光 田口		本堂前に五輪塔や宝篋印塔、角柱塔婆、石輪(笠と蓋部)などが並べられている。	41			10 E-7
109	柳家墓地五輪塔群	三光 下津	戦国	墓地の中に五輪塔が立ち並ぶが、いずれも塔身の積み直している。				10 E-7
110	藤島墓地五輪塔群	三光 下津	戦国	墓地に五輪塔群が置かれている。				10 E-7
111	高越宝篋	三光 西津	南北朝	笠と塔身の間に五輪塔水輪が挟まるが、大型の宝篋である。相輪を欠く。	41			10 E-7
112	貴船社五輪塔群	三光 下津	戦国	境内の折石周辺に五輪塔群が集中。				10 E-8
113	西林寺石塔群	三光 西津	室町～戦国	西林寺として知られる空塔の地に、相輪がある。相輪は自然石を磨削し、刻を表現している。	41			10 F-8
114	西林密雲堂五輪塔群	三光 西津	戦国	御堂の石塔裏に五輪塔群が置かれている。				10 F-8
115	宝積寺石塔群	三光 上津	室町～戦国	宝積寺の墓に並べられている。積み直されているものも多いが、塔身の積み直し。				10 F-8
116	藤原寺観音地蔵塔群	三光 古津	戦国～近世前期	寺前の石段上にある墓地に、小形相輪が2基立つ。2基とも地蔵像を浮き彫りにする。				10 F-8
117	群神碑	西津 成ノ尾	室町	学校の校舎の隅に立っている。高さ93cmで、キリウの種子を刻む。	41			10 F-8
118	高桑庵堂塔と周辺石塔群	三光 西津 島尾	室町～戦国	高桑庵の境内手前に1基の宝篋(市形有)が、建物跡には石塔群がまとめて置かれている。	市形有(宝塔)			10 F-8
119	上林墓地五輪塔群	三光 上津	戦国	墓地の中に五輪塔群が点在する。				10 F-8
120	桂城石塔群	三光 上津	室町～戦国	寺地の内側に宝篋や五輪塔が並べられている。宝篋は2段で2つの。また、境内の一角にある墓地に、五輪塔や宝篋の群が点在している。さらに、墓外周の各隅に五輪塔が一基立っている。				10 F-8
121	神代妙見宮宝篋	三光 田口		妙見宮の奥に相輪宝篋の宝篋が置かれている。				10 G-6
122	神代老翁五輪塔群	三光 田口	室町～戦国	神代寺の境内に五輪塔群が並べられている。以前、境内にあったものを集めて立てたという。				10 G-7
123	猿山神社宝篋	三光 田口	室町	猿山神社境内の岩壁に彫られた石塔が並べられている。宝篋は2段で塔身の正面には新しく「猿山八幡神社」と彫られている。塔身はずはりの彫刻タイプである。	41			10 G-7
124	神護寺石塔群	三光 田口	南北朝～室町	神護寺横の宝篋は2段で2つの。また、神護寺の背後に境内に置かれている。宝篋は2段で塔身の正面には新しく「猿山八幡神社」と彫られている。塔身はずはりの彫刻タイプである。宝篋は2段で塔身の正面には新しく「猿山八幡神社」と彫られている。塔身はずはりの彫刻タイプである。	14			10 G-7
125	姥倉屋敷如来像	三光 田口	戦国～近世前期	姥倉川内の伊勢の跡跡にある山部の中間にあいた岩窟内に、如来坐像が置かれている。坐像には法衣がかかるが、やや崩壊した欠けたことより拝観に難い。	14			10 G-8
126	南山神社下宮五輪塔群	三光 田口		拝観に難い。				10 G-8
127	南山神社角柱塔婆	三光 田口	鎌倉	南山神社参道入口に立つ。各面に摩訶と刻字がある。境内では最古塔を誇り角柱塔婆である。	徳治3(1308)	市形有(宝塔)	40-41	10 H-7
128	横比羅堂相輪石塔群	三光 西津 伊比	室町	地蔵堂前に相輪や角柱塔婆と地蔵立像が並んで立つ。地蔵堂は崩壊が激しいが角柱塔婆と角柱塔婆。			41	10 G-8
129	松本三尊塔	三光 松本	南北朝～室町	長谷寺南山(三尊上人)の供養塔とされる異塔で、3層目と相輪を欠く。				10 H-8
130	華田平石塔群	三光 西津	市北部～戦国	長谷寺ノノの裏の岩山に、北へ行き、寺や神社に下った「電田平」と呼ばれるテラス上に宝篋や相輪、五輪塔の石塔群がある。				10 H-8
131	長谷寺石塔群	三光 西津	市北部～戦国	広い境内の中に石塔が点在する。主に「大尊」前、護摩堂前、善徳寺前、宝篋の4箇所に集中する。軒塔塔にも設置がある。なかでも善徳寺の宝篋(市形有)には彫刻がみられる。	市形有(宝塔)	市形有(宝塔)	41	10 H-8
132	定窟六地藏	定窟	戦国～近世前期	定窟で六地藏像群が彫られ、横に五輪塔水輪が置かれている。				11 A-1
133	徳田墓地その1五輪塔	徳田		墓地の中に五輪塔が置かれている。				11 A-1
134	定窟奥船社石塔群	定窟		奥船社の境内隅に石塔群が置かれ、祀られている。塔身は3層あるが、塔身のみ。				11 A-1
135	徳田墓地その五輪塔	徳田		墓地の中に五輪塔が置かれている。				11 A-1

番号	名称	所在地	建立時期	概 要	在籍資料 の年号	指定 区分	参考 文献	備考 欄 番号
136	今津止井寺 五輪塔群	今津	室町～戦国	志比寿社本願地の西側に五輪塔群が置かれている。				11 A-2
137	浄光寺五輪塔群	今津	室町～戦国	浄光寺前の石岡周辺に空風輪が置かれている。				11 A-2 A-2
138	大國主神社五輪塔	鍋島	戦国	神社の石祠前に空風輪が置かれている。				11 A-2
139	鍋島御堂五輪塔群	鍋島	室町～戦国	御堂の側に五輪塔群が集積されている。水輪の1つに地蔵が浮き彫りされる。				11 A-2
140	鍋島墓地その1五輪塔	鍋島	室町～戦国	墓地の中に火輪が置かれている。				11 B-2
141	鍋島墓地その2五輪塔	鍋島	室町～戦国	墓地の中に五輪塔群が置かれている。				11 B-2
142	赤迫石岡五輪塔群	赤迫	戦国	石岡の中に五輪塔空風輪が入られている。				11 B-1
143	赤迫墓地五輪塔群	赤迫		墓地の中に五輪塔群が置かれている。				11 B-1
144	赤迫大神宮五輪塔	赤迫		大神宮の石祠の横に空風輪が置かれている。				11 B-1
145	犬丸鳥居跡五輪塔群	犬丸 鳥居		鳥居跡隣接の墓地内の一隅に五輪塔群が確保されている。				11 B-1
146	清造寺石塔群	犬丸		清造寺境内に五輪塔群などが点在する。				11 B-1
147	犬丸御堂五輪塔群	犬丸		犬丸城跡に立つ御堂の前に五輪塔群が置かれている。				11 B-1
148	菟旗神社五輪塔群	横野		神社境内の祭社横に空風輪が置かれている。				11 B-2
149	犬丸墓地五輪塔群	犬丸		墓地の側に五輪塔群が集められている。				11 C-1
150	横野墓地五輪塔群	横野		墓地の一隅に五輪塔群が集積されている。				11 C-2
151	横野御堂石塔群	横野		御堂の横に五輪塔群や石塔群などが点在している。御堂には2体の地蔵像？が浮き彫りされる。				11 C-2
152	横野無縁仏之墓 五輪塔	横野		「無縁仏之墓」碑の横に五輪塔群が置かれている。				11 C-2
153	上藤成地蔵堂 石道地群	三光 下深木	室町～戦国	下深木集落の北西の外れにある地蔵堂内に、申世に遺る可能性がある地蔵(顔は後様) などがある。また、堂の前には一石五輪塔1基がある。				11 G-1
154	北谷飯所・石祠群	三光 下深木	室町	飯所池が湧き出る一辺3mほどの墓壇の上に建てられている。その背後には五輪塔群が置かれている。	41			11 G-1
155	柳山家墓地五輪塔	三光 下深木	室町～戦国	墓地の中に五輪塔群が置かれている。				11 G-1
156	小畠五輪塔	三光 下深木	室町～戦国	北谷の谷口横に、小型の五輪塔がある。				11 G-1
157	源水墓地石塔群	三光 下深木	室町～戦国	在地蔵堂源水氏の墓地に、雲塔や宝篋印塔、五輪塔などがある。墓地は、散骨である深木様(ズリヤネ様)を先下る5段石階から位置する。上下2段にこの石塔が見られる。				11 G-1
158	正法堂地石塔群	三光 下深木	室町	長尺縁側に転換した対面が多く石塔群が点在する。最大6段の宝壇があったとされるが、現在は確認できない。	41			11 G-1
159	下深木地蔵堂 石道地群	三光 下深木	室町～戦国	御堂の中に、3面に地蔵を浮き彫りにした地蔵壇と、普賢堂像が並べられている。				11 H-1
160	永登五輪塔群	那馬深町 山口川永登	戦国期～武世	山国川の支流民川の上流の主要部が通る那馬深町沿いにあり、川を挟んで南側に長並柱がそびえる。五輪塔が2基ある。				16 A-4
161	小畠川石塔	山国町 小畠川	戦国	安山懸崖。塔身の西面に鎌倉、江島宅鹿失があるが、裏山から移動したと云う。				16 H-1
162	松原山宝篋印塔	那馬深町 北朝松原山	室町後半	松原山の山頂の宝篋印塔。塔身の外面に龍彫の文様。	3			16 B-6
163	松原山正平寺石塔群	那馬深町 中朝松原山	室町後半～戦国期	松原山正平寺の南側の奥庭の主要の近世墓地境内に点在。市有形の宝壇の1号は徳川家の角宝壇。2号は長壽の塔身である。また、周辺には五輪塔も点在する。	市有形 (指定)	3		16 B-7
164	万代家墓	那馬深町 中朝松原山		山国川の支流三尾河川の上流の丘陵斜面に建つ地蔵堂前に点在。鎌倉でできず対岸から移転。	3			16 B-8
165	甲斐原飯所碑と 周辺石塔群	那馬深町 大畠 飯所	虎北朝	国道212号沿いの杉原津原地区の寺町の裏の畑にあり、天満神社の寺壇の北側に点在。宝篋印塔の形に似てはいるが、隅飾りや小さい特徴がある。	指定 (国) 指定 (市)	市有形	3	16 F-7
166	元組石塔群	那馬深町 朝山馬元組		山国川の左岸の津本地区から朝山馬元組に遷じるとして5段の宝壇の横に五輪塔の残欠が点在する。				16 G-7
167	元組五輪塔	那馬深町 朝山馬元組		山国川左岸の津本地区から朝山馬元組に遷じるとして5段の宝壇におさまりがあり、その周辺に石塔の残欠が点在。				16 G-7
168	奥原五輪塔群	那馬深町 大畠 徳光寺 奥ノ原		文暦3では、小畠川の五輪塔二基を中心とし、周囲に5から以上の五輪塔の群が散在する。		市有形	3	16 G-7
169	西畑徳光堂石塔群	那馬深町 大畠 下畑		西畑徳光の奥庭。市道沿いにコンクリート製の宝壇の上に10段の石塔が並ぶ。一部は遺存は石塔である。埋入品が不明である。	3			16 H-7
170	平野氏御堂角宝壇	那馬深町 大畠 下畑		山国川に架かる奥角の石塔に形成される集落内の、奥畑平野原馬塚跡の南側にある平野氏の御堂に立つ。				16 H-7
171	宮竹原石塔群	那馬深町 大畠 下畑		山国川に架かる奥角の石塔に形成される集落内の、奥畑平野原馬塚跡の西側の宮竹原の奥に立つ。				16 H-7
172	奥原寺山門石塔群	那馬深町 大畠 下畑		西畑212号と市道に挟まれた山道の横断に上・中・下の三段に分かれて残る。宝篋印塔は下段で、大小二基あるが、裾輪光輪を欠く。中段は五輪塔が仏具に使用されており、上段は五輪塔が長い欄干に使用されている。なお、この石塔群に隣接して掘削工事が行われている。	3			16 H-7
173	雲神社境内宝壇	那馬深町 宮原		西畑212号沿いにある雲神社境内の阿弥陀堂の前に立つ。裾輪を欠く五輪塔。裾輪も当初とは異なる。				16 H-7
174	神台御堂	山国町 中津 神台		堂は石階の上におり前面に宝篋印塔、佛龕、宝壇の二つを兼ねた柱がある。				16 H-5
175	小谷湖園地石塔群	那馬深町 曾木下曾木	室町～戦国	下曾木集落の山園の小谷湖園地の後ろにある。宝壇は裾輪を欠く高さ1.16mで、蓋の柱が5本ある。	10			17 A-3
176	荒瀬窪次郎御堂 境内内石塔群	那馬深町 曾木下曾木	戦国期～	下曾木地区の集落内の置かれた近世～近代墓地内に点在				17 A-3
177	井本家墓境内石塔群	那馬深町 曾木下曾木	戦国期～	西畑212号西側沿いの井本家墓地内に点在				17 A-4
178	下曾木石塔群	那馬深町 曾木下曾木	戦国期～	長良川の東側の左手の上に五輪塔・角柱御堂が並ぶ。				17 A-4
179	熊秀碑御堂	那馬深町 曾木下曾木		熊秀碑にある妙月庵の岩陰内に小型の御堂が並ぶ。近世か？	10			17 A-4

塔形及び備体数																				
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				国庫塔	板碑	一石五輪塔	梵鐘塔	角柱塔婆	石燈	石動	その他の塔形	
元存	宝篋塔	火輪	水輪	地輪	元存	塔輪	笠	塔身	基壇	基壇	元存									塔輪
14																				
3																				
1																				
1	3	7	1																	
	1																			
3	4	1																		
11																				
1	4	2																		
2	6	2	2																	
	10	2	3			1														
	4	2																		
3																				
6	9	4	2												1					
	2	2	2																	
12	7	4	1											1						
2		1	1																	
															1					石仏
	2	2	1											2	1					
	1	2	1																	
1																				
	4	10	8		1								2	3	5	3				
	4	7	8	5							1	1	1	1						
																				笠塔婆・石仏
	5	5	5	5																
1				1							1									
																				1
5	2	2	2								2									
	1	1									1									
	1	1		1										1	1					2
	1	1		2																
				2																
2	5	5	5	5																
1	1	1		1	1						3									
											1									
	1	3	2																	
	30	30	30	30	2															
											1									
																				層塔堂2
2	2										1									
	2	2	1	1																
	1	4	1																	
5	2		1	1																1
																				5

番号	名称	所在地	建立時期	概要	古蹟資料 の年月	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
180	魏秀峰山崖碑碣群	本那馬深町 曾木青		魏の魏門車道から魏秀峰へ登る途中に小型の碑碣群存在。			10	A-4
181	魏秀峰鐘口石碣群	本那馬深町 曾木青		魏の魏門車道から魏秀峰への上りに宝雲の塔身や梵鈴が散ら。			10	A-4
182	魏の隋於寺跡の 五輪塔と石碣	本那馬深町 曾木青		村上雄雄の村上郡の敷内に高さ21cmの圓内径の大きな五輪塔があり、その周辺に滅阿字の五輪塔が並ぶ。さらに農家の種子倉があるが移築が立つ。村上郡は寺院誌(阿字)の伝承がある。			10	A-4
183	青塚塚石碣群	本那馬深町 曾木青		山田川の支流猪田川にかかる橋水橋の右岸にある御堂の南に並ぶ五輪塔を主体の石碣群。			10	B-4
184	古園部石碣群	本那馬深町 下飯野原		山田川の支流猪田川の右岸に並ぶ寒川集落の古園部の敷内に五輪塔に再構築。			10	A-5
185	芦水一石五輪塔	那馬深町 堀土芦水		山田川の支流三尾尾川に流れ込む芦水川沿いの芦水集落に遺した道路沿いの碣の上に立つ。			10	B-1
186	中尾屋多層石塔	那馬深町 三尾屋		山田川の支流三尾尾川沿いの鹿海集落上戸原集落がある。市内府2郡の境碑はこの道路沿いの中尾屋の北側に立つ。	市有形 3	17	C-1	
187	寛善寺跡石碣群	那馬深町 三尾屋寛善寺		寛善寺の中腰部の跡向に「1カコーシ」と記すお堂(遺構の礎石高)があり、墓塔を中心とする石塔群が並ぶ。五輪塔を中心とする塔群がある。完好性が低い。	3	17	C-1	
188	尾園部碑	那馬深町 三尾屋原田	南北朝	山田川の支流三尾尾川沿いの尾園部上戸原集落がある。尾園部集落はこの道路から少し離れたところにある。碣群は南朝群に属する。	市有形 3	36	C-1	
189	中村御石造佛塔 仙(西)光寺塔	那馬深町 戸原ノノ林		山田川と猪田川に挟まれ、城戸集落の南側にまたがる中村御の跡跡となつて存在。長巻城主野中兵衛善徳(仙光寺)と伝承される。	市有形 3	17	C-2	
190	水木の字塔	那馬深町 平田中ノノ馬場		尾井谷集落の本郷原集落にある赤ノノ上(古墳)と伝承される。の上に立つ。碣群の一部分を欠損。未詳。	3	17	C-2	
191	平田城石碣群	那馬深町 平田中ノノ		山田川に南に西の山塊から東に広がる尾井谷の先端が2本に別れ、平田城が築かれた。石碣群は北側の尾井谷の先端にある。	3	17	C-2	
192	福徳寺跡石碣群	那馬深町 平田西		山田川の西側に広がる水田とその西の山塊の境にある近世集落内に立つ。水田と鉄道の橋の構えの礎石でできず遺跡。	3	17	C-2	
193	雲天神廟の西面石碣	那馬深町 平田西		久保寺の山沿いの左手約200mの位置にある2層の碣群。下部の礎石にあたる。	3	17	B-2	
194	久保寺石碣群	那馬深町 平田西		久保寺の遺構沿いに並ぶが、寺は無くなっており、接近ができず。	3	17	B-2	
195	久保寺門前宝塔	那馬深町 平田西		山田川と沖津橋を橋架に見下ろす反屋先鋒部に立つ久保寺の門前の礎石の上に立つ宝塔。	市指定 (宝塔)	3	B-2	
196	中川原の飯塚と宝塔	那馬深町 多志田中川原		山田川の中洲にまたがる多志田中川原の多志田集落の西側に宝塔が並ぶ。宝塔の遺構は高く、遺跡は跡大塚が上位にある林奥に近世化。	3	17	C-2	
197	多志田神社前石碣群	那馬深町 多志田		多志田集落の中心にある飯塚(那馬深町西四十八ヶ所集落)の西側に立つ。宝塔の礎石は高く、遺跡は跡大塚が上位にある林奥に近世化。	3	17	C-3	
198	向野原西面碑	那馬深町 向野原ノノ		山田川の支流木ノノ川沿いにある舊野原集落山田集落の間の道沿いに立つ。宝塔の礎石は高く、遺跡は跡大塚が上位にある林奥に近世化。	3	17	D-2	
199	千人塚西面碑	那馬深町 下飯野原		山田川の支流木ノノ川と並行する道沿いの飯塚の村山に碑がありその上に立つ。半分に折れて倒れている。	市有形 3	17	D-2	
200	水取岩石碣群	本那馬深町 静水取		猪田川沿いに並ぶ五輪塔500と巨塔が静水取水地帯で合流する場所の碣群の碣群に小型の碣群を欠く五輪塔と宝塔がある。	3	17	B-4	
201	法津寺石碣群	本那馬深町 静水取		法津寺から静水取川に流れる静水取の正面上にお堂があり、2体の石碣がある。碣を立てた石は法津寺の遺構に属する。	3	17	B-4	
202	古園部の石碣群	本那馬深町 静水取		山田川の支流猪田川に合流する尾園部山田沿いに並ぶ市道沿いに並ぶ碣が並ぶ。丘腹の中間に現在無住の願所があり、境内に石碣群がある。	41	17	B-4	
203	智渡寺 法津寺石碣	本那馬深町 静水取		山田川の支流猪田川に合流する尾園部山田沿いに並ぶ市道沿いに並ぶ碣が並ぶ。丘腹の中間に現在無住の願所があり、境内に石碣群がある。	41	17	B-4	
204	法津寺 法津寺石碣	本那馬深町 静水取		法津寺の東山で、宝塔下を過ぎた古園部静水取川に倒れ、路筋十下に埋没した五輪塔がある。各部位に層があり、またまた石碣群が存在する。	41	17	B-4	
205	古園部西面碑	本那馬深町 静水取		古園部の岩壁に立つ。塔身の下に層化して九反が付く。	集有形 10	17	C-4	
206	古園部北壁石碣群	本那馬深町 静水取		古園部宝塔の北側の壁面に3ヶ所に分かれて存在する。A群は御堂跡沿いにある御堂跡で法津寺天香を彫り出している。B群は西向の御堂内の石碣群で五輪塔、宝塔、石碣で構成されている。石碣の向きは縦横混在である。C群は御堂跡沿いの五輪塔である。	集有形 10	17	C-4	
207	古園部西壁石碣群	本那馬深町 静水取	室町	碣群の東側の多志田沿いに南を、入口から順にA群・B群・C群とする。A群は五輪塔主体、B群は宝塔主体、C群は石碣群主体である(奥高)である。特にC群の五輪塔の礎石が法津寺の文書で明らかで、遺跡年代が明らかになる。現在は法津寺集落に属する。	正平17 (1362)	集有形 (古園部 静水取)	10	C-4
208	二五宮塚石碣群	本那馬深町 加田 町		猪田川左岸の飯塚集落の西側にある御堂(那馬深町西四十八ヶ所集落二十五宮塚) 前の五輪塔群。			10	C-4
209	静水寺御堂跡石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺	南北朝	静水寺御堂跡にあつた位置にあつた寺。寺は現在静水寺の御堂跡跡に並ぶが、石碣の中に石仏がある。多志田沿いに御堂跡があるが、礎石でできず、また、多志田沿いに石仏が埋めあつたが、現在は静水寺集落に属して展示されている。この石仏は法津寺に属する。	伝説3 (1491)	10	17	C-4
210	龍運寺門前入金 塚地内石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		ロープウェイの架、縦い龍運寺を縦に東西2群に分かれて並ぶ。東をA群、西をB群とする。A群は五輪塔が並ぶ。B群は、近世集落内に並ぶが、礎石でできず、また、多志田沿いに石仏が埋めあつたが、現在は静水寺集落に属して展示されている。この石仏は法津寺に属する。			10	C-4
211	龍運寺仁王門前 石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		龍運寺の龍運寺から仁王門にかけて、石碣が存在する。龍運寺御堂跡、御堂跡沿い、仁王門前の3ヶ所で、これをA群・B群・C群とする。A群は1層で、B群から組む可能性がある。C群は2層である。			10	C-14
212	龍運寺仁王門上室塔	本那馬深町 静水取 龍運寺	桃山-江戸初期	宝塔を上と、仁王門の南側に建てたそり立つ五輪塔の上に設置される。碣の中心は、仁王門の真上に見える。五輪塔の宝塔の形。名称は「三層の塔」に記述されている。			10	C-14
213	龍運寺 不動坂石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		龍運寺仁王門から不動坂の急斜面の歩道は、不動坂(古い名前)と呼ばれる。この歩道沿いにも石碣群が散見される。			10	C-5
214	龍運寺石仏と山田 石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		仁王門内に近世集落があり、その周辺に石碣群が散見する。中世末期から近世初期の可成り強く、全体的に小型である。埋もれもほとんど多くも土で覆われている。			10	C-5
215	龍運寺龍運寺石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		龍運寺仁王門から通門方向に少し離れた位置に碣群を築く。土台に1万石を敷きかかっている。この中や他に五輪塔がある。			10	C-5
216	龍運寺御堂跡石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		仁王門から不動坂(古い名前)を登りつづける歩道の裾野内に所在。龍運寺御堂跡の礎石に属する。			10	C-5
217	龍運寺石仏と山田 石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		本郷集落の西側に龍運寺を築きた約百体の石造龍運寺があるが、本郷集落に五輪塔が立つ。	伝説4 2	17	C-15	
218	龍運寺龍運寺山 田代住持墓石碣群	本那馬深町 静水取 龍運寺		仁王門から通門方向に向けて登ると、屋敷上に龍運寺御堂跡の礎石である龍運寺がある。この中に龍運寺の欠欠と宝塔と、石造三層の塔が立つ。龍運寺は全て彫刻であるが、10以上に中世に属する可能性がある。	10	17	C-15	

塔形及び部体数																									
五輪塔				宝篋印塔					宝海						間架塔	板碑	一石五輪塔	舞臺塔	角柱塔婆	石燈	石鐘	その他の塔形			
元作	空鐘輪	火輪	水輪	地輪	寛身	埋輪	空	塔身	華容	基座	充存	輪輪	宝珠	蓋									塔身	基座	基壇
													1	1				2							
1	3	4	13	4														1							
5	5	5	5	5																					
	1	1	1																	1					
	20	20	20	20	1		1							1						1					五重塔 三層塔
		1																1							
1	10	10	10	10							1			1	2										
			1								1	2													
1		2	2	1																					
2	1	1									1				1				1						
											1								2						
	10	10	10	10																					
					1																				
											1								1						
	15	15	15	15																					1
																				1					
	1							1		1															石仏1
																				1					總塔
											1														五重塔
	10	10	10	10																					
2	2	14	12	15							3	1		4	4	6									鎌倉仏・石仏 多数
			11	2	5			1	1																石仏
	4	5	2	1																					
											1														石仏
	15	10	18	1							2	1							1	3		1			
	2	10	6	5			2						4		1	2									
											1														
1			1	1	1															1					
1	5	5	5	5	5		6				1	5	5	5	5	5	5								
2		1	1																						石仏
																							1		石造羅漢像 顔石体
											1									10					三層塔

番号	名称	所在地	建立時期	備 考	登録資料の 年号	指定区分	参考 文献	現地 図番
219	藤澤寺指月庵石塔群	本郷深沢町 藤田 藤澤寺	室町	鎌倉寺本堂の裏側に焼失しているが経湾と梅月庵があった。石塔の一部はこの建物の礎石とみられている。その周辺には残存する宝篋印塔3基、五輪塔1基を中心とした石塔群がある。焼経塔の残欠は裏割と考えられる。	慶長2 (1688)	10	17 C-6	
220	井原地蔵堂彫像板石と石塔	本郷深沢町 井原井原	井原	文暦100、集落の奥側から山に入る小路を拓き築地があり、その傍らに開塔がある。かつては五重塔かと記述、母屋焼滅できず。		10	17 E-5	
221	橋ノ木遺塔	本郷深沢町 栗谷橋ノ木	栗谷	鎌倉寺の山麓にある近世仏塔に所在。			17 F-4	
222	高橋家墓地内石遺物	本郷深沢町 鎌倉寺 寺口	鎌倉	藤田川の上流名西谷川に合流する鎌倉の左岸に建つ。古庄屋の遺構と見られ、聖徳太子御遺徳に因り当地に傳来。		10	17 F-5	
223	浄観寺板碑・燈籠	本郷深沢町 西谷	西谷	鎌倉川の上流名西谷川の右岸、新道途中高橋塚から遺構を遺つた集落にある浄観寺の近世墓地内に残存する。			17 G-4	
224	河野経康近世墓地石遺物	本郷深沢町 西谷	西谷	3基あり、1基は塔身を欠く。また、3基とも相輪の相輪を欠く。経康の墓に由来し、早稲畑を造り直し安置。		10	17 G-4	
225	下筒ヶ原遺塔	本郷深沢町 西谷	西谷	鎌倉川の上流名西谷川の右岸の下高地区の水田中に残る石塔群。宝篋を中心に宝篋印塔と五輪塔の五輪塔で構成。		10	17 G-4	
226	下筒ヶ原の段石塔	本郷深沢町 西谷	西谷	鎌倉川の上流名西谷川の右岸、元永氏宗廟跡に因り当地に傳来。		10	17 H-4	
227	葉待寺石塔群	本郷深沢町 西谷 葉待寺	葉待	鎌倉川の上流名西谷川の右岸、西谷小学校の南南西側に所在元永氏宗廟に3輪塔3輪塔群。		10	17 H-4	
228	元永宗廟板碑	本郷深沢町 西谷	西谷	鎌倉川の上流名西谷川の右岸、西谷小学校の南南西側に所在元永氏宗廟に3輪塔3輪塔群。		10	17 H-4	
229	下筒ヶ原五輪塔	本郷深沢町 西谷 鹿丸	鹿丸	鎌倉川の上流名西谷川の右岸、元永氏宗廟跡に因り当地に傳来。		10	17 H-2	
230	相馬屋敷印塔	本郷深沢町 山形 鹿丸	山形	文暦3では太郎寺と伝えられ、相輪焼滅を欠く宝篋印塔を中心に五輪塔が並ぶとされている。		3	17 H-2	
231	鎌倉石岸石塔群	本郷深沢町 今行 天笠畑	今行	山国川の支流犀形川にかかる鎌倉の石岸の付近〜近代区副に並ぶ。			17 A-5	
232	藤田色深砂石塔群	本郷深沢町 今行 色深	今行	山国川の支流犀形川沿いの天笠畑、高麗塚に因り市道沿いにある藤田色の塔に並べられている。			17 A-5	
233	村岡家墓地石塔群	本郷深沢町 今行 鳥橋	今行	無縁塚内村岡家墓地内に2基並ぶ。			17 A-5	
234	今行鳥橋石塔群	本郷深沢町 今行 鳥橋	今行	鳥橋塚の東、谷川を渡り、鎌倉の麓の先頭、2本あるトモの木の前元近くに築塚と塔が並んで所在。近接して五輪塔が建ち上げられている。		10	17 A-5	
235	柳屋塔	本郷深沢町 今行	今行	鎌倉時代の僧人が手懸出した杉洞の穴に所在する層塔の上段に2基並ぶと周辺に五輪塔の残欠がある。		10	17 B-6	
236	藤成家墓地塔頭塔	本郷深沢町 藤成形の口	藤成	鎌倉川の上流、五輪塔の塔頭以上で構成される中層塔。宝篋の塔、弘安5年(1824)建立。自ら建立の塔に由来。	弘安5 (1824)	10	17 C-6	
237	藤原家墓地石塔群	本郷深沢町 藤原形の口	藤原	主要地方道宇佐郡藤原線沿いで、旧辰形小学校の敷地内にある山形の塔の先頭に置かれている。石塔の塔頭は焼失しているが、宝篋塔が建つ。宝篋に重宝の記年銘。	文明16 (1484)	10	17 C-6	
238	鎌倉の橋子焼入堂塔	本郷深沢町 堂塔	堂塔	文暦10では、茶畑の古い墓地の中に所在と記述、野のため焼滅できず。未確認。	永享2 (1430)	10	17 D-8	
239	鎌倉の妙堂石塔群	本郷深沢町 東谷 藤	東谷	藤田川の上流名である東谷川に合流する藤田川沿いの橋屋敷の奥側に残る五輪塔を主体とした石塔群。			17 E-6	
240	高橋家墓地御堂石塔群	本郷深沢町 東谷中手原	東谷	鎌倉川の上流名西谷川に合流する川出川沿いにある御堂塔(即高深第四十八ヶ所所置三十三番塔)周辺に石塔群。			17 F-6	
241	河出山宝篋印塔	本郷深沢町 東谷 川出原	川出	鎌倉川の上流名東谷川に合流する川出川沿いにある御堂塔(即高深第四十八ヶ所所置三十三番塔)周辺の石塔群。			17 F-7	
242	中河内宝篋印塔	本郷深沢町 東谷 中河内	中河内	文暦10では、東谷の御堂へ通る道からメガネ橋を渡ったところに鐘塔があり、その北側に宝篋が建ち上げられている。現況は道路が拡張され、メガネ橋も撤去している。石塔のみ確認。		10	17 G-8	
243	橋ノ木神佛塔	本郷深沢町 鎌倉	鎌倉	文暦10に堂のうしろの観音さんと呼ばれていると記述。橋の木の野良民に置くと、現在は、岩壁から林道が開闢されてあり、近くまで行けるが、長は徒歩で登る。			17 G-8	
244	遺立墓地五輪塔群	三光 上深木	三光	墓地の一角にまとめて置かれている。			18 A-1	
245	八幡寺鐘石塔群	三光 上深木 久保	久保	鎌倉寺(真宗)の前身の八幡寺(真宗:永正年間開闢)があったところに御堂がある。その西に石塔が置かれている。			18 A-1	
246	鎌倉家墓地五輪塔群	三光 上深木	三光	鎌倉の中に五輪塔火輪が所在している。			18 A-1	
247	深谷家墓地石塔群	三光 上深木	深谷	寺の奥の高台にある墓地に宝篋や宝篋印塔が立ち並んでいる。宝篋は求道堂である。		41	18 B-1	
248	畷石塔	三光 上深木	畷	畷村石塔であるが、畷と並ぶものとなっている。畷村には地蔵像を境内彫りする。		41	18 B-1	
249	吉野お堂石塔群	山国町 吉野	吉野	山口川の南側にあり、堂の南西側に石塔群がバラバラに並んでいる。			24 A-2	
250	吉野堂塔石塔群	山国町 吉野	吉野	堂の北側にあるコンクリート上に築かれたもの。すべて安山岩製。東側の遺構は遺構地境域から移したものの。			24 A-3	
251	田中藤氏宅西宮宝篋印塔	山国町 平小野	平小野	鎌倉466年の開闢。山国川を渡り下るす川岸に深沢氏の宝篋印塔の堂(高さ約40cm以上、幅約70cm)が今は埋れてあり、上段に五輪塔の宝篋印塔のものが。			24 B-3	
252	平小野石塔群	山国町 平小野	平小野	鎌倉466年の開闢。山国川を渡り下るす川岸に深沢氏の宝篋印塔の堂(高さ約40cm以上、幅約70cm)が今は埋れてあり、上段に五輪塔の宝篋印塔のものが。			24 B-3	
253	守実家宝篋印塔	山国町 中摩 守実	守実	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-3	
254	田中家北石塔群	山国町 中摩 守実	守実	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-3	
255	陶堂北石塔群	山国町 中摩 守実	守実	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-3	
256	花房屋敷塔	山国町 中摩 守実	守実	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-3	
257	山国元所産草塔石塔群	山国町 中摩 守実	守実	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-3	
258	成茂石塔群	山国町 藤野	藤野	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-3	
259	藤野水石塔群	山国町 藤野	藤野	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-3	
260	高船社宝篋印塔	山国町 宇宮	宇宮	鎌倉の上方、尾崎の先頭に宝篋印塔の基壇・堂があり、五輪塔の火輪がある。その西側の階層の上りきると尾崎の上段に神社がある。			24 B-5	

形 形 及 び 備 体 数															国産 材	数 個	一石 五輪研	奥跡 研	角柱 研	石 礎	石 殿	その他の形
五輪研					宝篋印塔					宝瓶												
完作	空懸	火輪	水輪	結輪	完作	船輪	並	蓮身	基礎	基礎	完作	燈輪	宝珠	並	蓮身	基礎	蓋頂					
2		1	1		3													1				
2																		1				附添
1	2	2	2																	1		附添
1	1																		1			附添
					2	1	1		1	1												
3	4	3	3	1	1											1						
7	2	2	2	2	2	1					1	1				1					1	1
																			3			
1		1	2																			
10	10	10	10	10	1																	1
1	2	3	4																			
6																						
2																						
7	7	7	7	7							1						1					
		7	3	3							1											
20											10											
2	5	5	5	5							4				1							
											1											
2	4	5	6	4																		
1	2	1	1																			
1	15	15	15	15			1	1														
					1																	1
5	6	6																				
											1											
3																						
10	12	9	4	6							9				3							1
3	3	1									1	1		2								
35	11	12									1			1								4
1							1															
	3	1	1				2							2	1							燈塔笠1
1							1		1													
2	6	6	2								1											1
					1		2	1	1	1												燈塔笠3
																						1
											1	2	1	1	1	1						1
1	1						1															1
												1	1	1	1							
							2		1													1

番号	名称	所在地	建立時期	概 要	石積資料 の番号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
261	明門寺石塔群	山田町 中津		信州では、「山田山の駅」に隣接する明門寺の安土寺、山崎塚の塚山に所在する石塔群。墓蓋開けの状態でため積近できず、未確認。				24 B-5
262	中津殿権碑	山田町 中津	戦国	遠路南浦に、続く奥尾の北側背後水田の畔に南向きに立つ。基礎石に埋め込まれるが、現状の高さ125cm、幅30cm、厚さ21cm。凝灰岩製で無銘。礎の中央は浅い。				24 B-5
263	坂本八代宅石塔	山田町 中津	戦国	鎌倉並石塔群の北側南民家の敷地にある。空塔宝珠の扉弁は緑色化。				24 B-5
264	観音堂石塔群	山田町 中津		堂の北東隅、清浄間に相輪を欠き四圍に太い梵字を山田前製の宝篋印造があり、南に親瓦葺袋の石塔群材が集められている。				24 C-3
265	寺川観音堂	山田町 中津	室町	湯沢河製の石塔群材が二つ組み合わされている。宝篋扉弁には梵字遺蹟がある。				24 C-5
266	香田宝篋印塔	山田町 中津	室町	扉弁・相輪は後補。高さ179cm。基礎は一段で閉石の基礎に高なる。身に虎頭彫の透彫。蓋は上下4層ずつの段がある。相輪は鐘花が彫刻。				24 D-5
267	高尾野五輪塔(西塔)	山田町 中津	室町	当初の形み合わせではない五輪塔ら草分があり、中央東西に並ぶ2輪が竹内形。西塔は筒状に石天降子の四角を刻す。高さ130cm(西塔)・125cm(東塔)。	市有形 (旧郡)			24 E-4
268	第6号霊場薬師堂の石塔	形無深町 金吉 行広橋っ野		山田川の支流金吉川川に架かる林弘儀宅前にある御堂(原馬深前西園八十八ヶ所霊堂六十七番霊場)前の五輪塔残欠。				24 A-1
269	飛瀬宝篋印塔	形無深町 堂吉 飛瀬		山田川の支流金吉川川の左岸の山頂いにある残存する宝篋印塔。水田中にあつたの孝徳和61年に寶篋印塔のため当地に移設。筒飾りに浮文を刻む。扉弁と基礎の間に二層の石花を刻む透彫がある。	市有形	3		24 B-7
270	御祖神社宝篋印塔	形無深町 金吉 山権		山田川の支流金吉川川から分岐する流石川の合流地点にある御祖神社境内に立つ。相輪と基礎を欠く。基礎の扉弁を欠く。	市有形	3		24 B-7
271	権権塚宝篋印塔	形無深町 大島 新藤野		文獻化によると、新藤野地区の権権塚にある。宝篋印塔の相輪の基礎を欠く。自然石塔壁には梵字が刻まれる。	市有形	41		25 B-1
272	新舞堂眞形宝篋印塔	形無深町 山移 池の権		下良田五輪塔のある真九兼唐西側の山中にある池の御集落の薬師堂前の宝篋印塔。早稲赤波込碑等石塔群の宝篋印塔と同じで、蓋に取はなく、筒飾りが小さい特徴がある。	市有形	3		25 A-1
273	原井石塔群	形無深町 山移 原井		山移川の石塔沼いに散在する原井集落の北側の笠尾原の上に砲を覺下ろすように立つ。石塔群は極小小型が多い。	市有形	3		25 A-3
274	大木霊門寺石塔群	形無深町 山移 大木原		主要地方御祖形馬深塚の東側の水田中に、各種石塔が6m×3mの範囲に集上げられている。龍門寺跡の伝承があり、康正二年銘の付いた石塔があるが、複製であらう。	市有形	3		25 A-3
275	堂平石塔	形無深町 山移 八木原		石塔は完好しているが、扉弁をコンクリートで固めている。宝篋はほぼ完好であるが、相輪を欠き、蓋に書いている。		3		25 B-3
276	伝徳神又兵衛権宗石塔群	形無深町 金吉 伊橋		山田川沿いに建てる宗徳神原形馬深塚にある伝徳神又兵衛の霊所。整備された墓所内に石塔が集積。		3		25 E-1
277	藤木宝篋印塔	形無深町 山移 藤木		文獻によれば、藤木地区山中に町内最大の宝篋印塔が存在。聞き込みをうかがうが、位置不明。				25 F-3
278	伏辺野礼所蔵の権碑	形無深町 西谷 伏辺野		43巻礼所蔵に所収。		10		25 A-5
279	倉曾権碑	形無深町 西谷		文獻10に記述があるが、場所を確認できず。		10		25 A-5
280	菅原石塔	形無深町 丸草原 家宅		深草集落の菅原弘業内にある御堂(原馬深前西園八十八ヶ所霊場八十三番霊場)の南にある小型の宝篋印塔の残欠。				25 F-5

形 状 及 び 備 考																			
玉輪等				宝篋印輪				宝冠				宝篋	板障	一石五輪等	解懸	角性	石種	石数	その他の形
瓦存	空裏輪	火輪	水輪	地輪	瓦存	相輪	笠	瑞青	基壇	基壇	瓦存								
															1				
	1	1					1	1	1			1	1						
	15	3	3	3			1	1	1			2	2	3					
		1					1						1	1					
							1	1		1									
	5	8	6	2								1							
		2	1																
	1	1			1									1	1				
	1	1	1		1														白然石塔等1
										1									
	7	5			3									1					
	10	10	10	10		7	7	7	7	7									
	1	2	1								1							1	
	8	7	10	7			1	1											
							1		1										
															1				石仏2
															2				
						2												1	

番号	名称	所在地	造立時期	概 要	在籍料額 の備考	指定 区分	伊勢 文庫	掲載 地図 番号
1	富岡佛碑	所浦	南北朝	侵入石の一対に石製とともに並べられている。中央で折れている大型高で、碑表に大きく十字の浅き彫りをもっている。種子屋新町ではなく高が91。			20	11 B-3
2	観音寺・真輪社 石塔群	下庄 本村	戦国	観音寺で、緊接する真輪社の境内に石塔群が存在する。中でも、溝の北にあり高野池には正堂五輪塔の胎室がみられる。	天正20 (1592)		11	11 A-3 11 B-4
3	布津集馬場跡地 石塔群	下庄 布津町	戦国	馬場跡地の久保家宗および大木家跡地に五輪塔群が確認できる。				11 B-3
4	下庄集馬場跡地 五輪塔群	下庄田	戦国	墓地中央に古墳跡地の南端をよく残す一角があり、その中央に五輪塔群が存在する。				11 C-3
5	木郎家墓地石塔群	下庄	江戸～近世初期	墓地中に石塔が並べ置かれている。特に、決壊定形跡の跡例がよく確認できる。				11 C-3
6	中野五輪塔群	中野庄	戦国	コンクリートの小さい墓群内に五輪塔群が置かれている。				11 C-3
7	森原家墓地石塔群	上野庄	戦国～近世初期	墓地中に石塔群が存在する。塔群には地蔵が追加されている。				11 C-3
8	天津園村公園境内 地蔵堂石塔群	上庄	戦国	コンクリート製小室内に石塔群が置かれている。五輪塔群や地蔵堂跡石塔群がみられる。				11 C-3
9	小野田家墓地石塔群	上庄	戦国	五輪塔群中に石塔群が置かれている。				11 C-3
10	養徳寺石塔群	上庄	室町～近世初期	境内の入りや生徳墓地に石塔がみられる。塔群は地蔵堂跡石塔群である。				11 C-4
11	広山神社家康塔	上庄	南北朝～室町	初輪の扉石にも欠く冨存の圓家塔が境内に単独で置かれている。		布形 田原塔		11 C-4
12	清水集馬場地石塔群	清水	戦国	近野墓地中に石塔群が存在する。石塔は地蔵と五輪塔のみである。				11 D-3
13	下佐野集馬場石塔群	佐野 下佐野	戦国	墓地内に石塔群が存在する。				11 D-3
14	森原家墓地石塔群	佐野 下佐野	戦国	墓地内に石塔群がみられる。				11 D-3
15	大橋川集馬場跡地 石塔群	大橋川	鎌倉～戦国	墓地内に石塔群がみられるが、調査中に掘る五輪塔群が埋まれている。				11 E-3
16	上野田集馬場跡地 五輪塔群	上野田	戦国	近世以降の墓地中に等に埋もれた五輪塔群が存在する。				11 D-3
17	横田家五輪塔群	上野田	戦国	享保2年(1717)塔をもつ冨存の石塔の横に石塔群が築かれている。				11 D-3
18	金剛寺石塔群	上野田	南北朝～戦国	金剛寺の歴代住職墓と木堂横に石塔群が築かれている。				11 D-3
19	上庄集馬場跡地 五輪塔群	城野	戦国	集馬場跡地の一角に五輪塔群が築かれている。				11 D-3
20	清水寺石塔群	清水	鎌倉～戦国	境内や作樂場、観音堂への石塔群などに石塔がみられる。中でも大型の角柱式塔や塔の上部に六つを身具形利用している半輪塔が境内にある。層石のものが2点みられる。				11 E-1
21	内尾家墓地五輪塔群	清水	戦国	墓地中に五輪塔群が存在するが、塔位置を一つではなく二つに異なる。				11 E-1
22	今仁家石塔	今仁	南北朝	長者の墓に隣接する五輪塔に宝篋身と墓群が別々に置かれている。同一個体かもしないが、それと隣接する部分が確認され、出土したと推定されている。				11 E-2
23	下今仁石塔群	今仁	戦国	山形跡地に石塔が置かれている。宝篋は冨存のものか確認する存在が、跡地の跡が異なる部分にみられる。塔群は二輪塔である。				11 E-2
24	光田寺佛壇と 周辺石塔群	伊野	鎌倉～戦国	宗門跡地跡地に2基の二層塔が並んで立てられている。その塔群には塔群がみられ、奥有りに指定されている。このほか、新井高次や木堂横の歴代住職墓をばしめとして、境内に石塔が存在する。	元禄6年 (1699)	養有形 (橋本)		11 E-2
25	佐野集馬場跡地 石塔群	佐野	戦国～近世初期	近野墓地中に石塔群が築かれたり、敷設したりしている。墓石の建立に際し、型取りされたものと考えられる。				11 E-2
26	春日神社石塔群	今仁 上今仁	南北朝～戦国	北山跡地に石塔が並べられているが、この中に宝篋身のものと考えられる宝篋が存在する。そのほか、境内西内丸墓の隅にも五輪塔群が存在する。				11 F-2
27	上今仁集馬場跡地 石塔群	今仁 上今仁	戦国～戦国	集馬場跡地の入口にある穴地蔵に石塔群が築かれているほか、墓地内に石塔が置かれている。				11 F-2
28	天竜寺家康塔と 周辺石塔群	赤坂	南北朝～近世初期	境内に南北朝期の二層塔や無縁塔の墓群が存在するほか、歴代住職墓地には戦国～近世初期の2基の冨存の無縁塔や、堀野の冨存の布形塔 2基のものが石塔群がみられる。無縁塔の塔体には高野池に、塔体跡は高野池に追加されたものである。			吉野形 (伊藤)	11 F-2
29	賢徳石塔群	赤坂 賢徳	南北朝～戦国	川のそばの水中に125m、高さ2.5m程度の塔があり、その上に石塔群が置かれている。塔群は高野池が埋められているが、高野池に隣りた大型高であり、その他の石塔群は戦国期のものである。				11 E-3
30	下元集馬場跡地 石塔群	下元寺	戦国	歴代葬された集馬場跡地の高所に石塔群が存在する。				11 G-4
31	正賢寺五輪塔群	飯流	戦国	伊豆石塔群や境内に五輪塔群が存在するが、他所から持ち込まれたと推定されている。				11 E-4
32	成内寺石塔群	上野 布津町	鎌倉～戦国	成内寺の門前・境内・歴代住職墓・歴代と各所に石塔群がみられる。中でも、門前の堀の隅に宝篋身型住職墓は鎌倉時代の塔を礎石として構築されたものである。	元禄4 (1698)		36	11 D-5
33	賢徳寺石塔群	下野	南北朝～戦国	南北朝期の元々の宝篋のほか、戦国期の石塔群が境内に点在する。				11 D-5
34	熊元寺歴代住職墓跡地 石塔群	下野庄	戦国	熊元寺境内の墓群に存在する歴代住職墓跡地の中央に五輪塔群の塔群が存在する。			11	11 C-4
35	熊元寺塔群と周辺 石塔群	下野庄	戦国～近世初期	境内に存在する開山塔と伝えられる五輪塔や鎌倉中興塔をもつ四脚 観音の塔群。およそ30年塔をもつ宝篋身型塔群をはじめ、本寺墓地内を中心に各所に石塔が点在する。	享保4(1719) 元禄30(1695)	熊元形 (橋本)	11-36	11 C-4
36	熊元家墓地石塔群	下野庄	南北朝～戦国	墓群内に前向きが異なる石塔が並べられているほか、跡地に墓地内に点在する。中でも入り口の大型宝篋は南北朝期に築かれたものである。				11 C-4
37	金光家墓地石塔群	高野庄	戦国～近世初期	近野墓地中に石塔群が置かれている。墓群は宝篋・塔身・中台が点在するが、同一個体であろう。			20	11 B-4
38	小畑家墓地石塔群	高野庄	室町～近世初期	初輪上りのみ欠く冨存の塔群と五輪塔群が置かれた墓地中に置かれている。			20	11 B-4
39	摩羅寺跡石塔群	高野庄	戦国～近世初期	寺跡とされる一角に摩羅寺や摩羅寺があり、その間に石塔群が置かれているが、塔は同一個体かもしない。				11 B-5
40	高野集馬場跡地 石塔群	高野庄	南北朝～近世初期	墓地の一角にコンクリート製塔、中野の石塔を築設している一角があり、五輪塔の中央には宝篋身型に異なる塔群もみられる。				11 B-4
41	大石家墓地石塔群	高野庄	戦国	築設された近世墓地中に石塔群が追加されている。				11 B-4
42	宗原寺境内墓 石塔群	高野庄	戦国	境内墓地の西側に石塔が点在する。中でも、天正7年塔をもつ地蔵堂跡塔群や永徳の塔をもつ宝篋身型塔群と紀伊屋塔群も築かれている。	宝篋形 (橋本)	天正7(1579)	11-20	11 E-5
43	興久寺跡石塔群	高野庄	戦国～近世初期	寺跡跡地の墓群に五輪塔群が置かれている。				11 B-5
44	高野神社伊豆集馬場 石塔群	高野庄	戦国	高野神社の伊豆集馬場に2基、高さ1m程度の塔があり、その上に宝篋の石塔群とともに中央の石塔群がみられる。				11 B-4

五輪結				宝重印地				宝箱						地形及び個体数						石種	石数	その他の地形					
充存	空黒前	火輪	水輪	地輪	充存	輪輪	空	塔高	基礎	基壇	充存	相輪	宝珠	空	塔身	基礎	基壇	圓座	塔碑				一石五輪塔	佛造	角柱塔婆	石種	石数
																				1							
1	8	7	7	5																							庚申塔1
	3	3	5																								
	1		1	1																							
	2	6	5																		8						
	1	1	3																								
	11	2	9																		2						
	2	1																			1						
	8	3	1																								
	3	2	2	1											2												
																			1								
	1	7	4																							1	
17	8	7	3																								
	3	3	3																								
	3	6	17																		1						
	2	2	1																								
	2	1	1																								
	5	8	16	1			1															2					
	2	1	1																								
	23	6	12	1								2									1		1				熊形
	9	15	10	9																							
																1	1										
	1		1								4										1						
	12	15	26	3								3	1	1	1						2		1				
	11	14	14	2							1	1			1							1					
		1	4	1							1																
	13	6	8	2								1	1														
	1		2	1			1						1							1	1		4				
	6	3	9	3																	1	1		3			笠形塔3
	5	4	3	2											2												
		2	4	3								1															
	9	1	16	2								1	1	1							2						
	1	2	3								1											1					笠形塔塔身1
	1	7	2	3												3											
1	3		2				1		1	1			2	1							7			1		笠形塔塔身1 兼塔1	
	8	20	20	22				1				4	3	3							1						
	8	2	15	1	1							1	2									1	1				笠形塔1
		1	1								1																
	8	6	8	5								1	1	1	1												
	13	11	30	8								3	4	3							1						
	4	1	4	1																							
	3	3	2	2								1			2							2					笠形塔1
	1	2	3																								
15	10	10	9			1			1																		

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍資料の 年月	指定 区分	参考 文献	現地 調査 番号
89	藤原東藤原地石塔群	西津	南北朝～戦国	製造された華成のちこち石塔が並んでいた。部材が散らばっていた。ほとんどが寛永期のものだが、五輪塔は南北朝に遡ると考えられるものもある。				11 E-6
90	熊動寺石塔群	別荘	戦国	境内の入口や水堂裏の奥代住居裏地に石塔群が並んでいる。墓地にある東塔は平石のみである。				11 D-7 11 E-9
91	吉用家石塔群	江森	戦国	惣地の奥の門の立廻の側に石塔群が並んでいる。				11 E-8
92	東家集石塔群	熊野	戦国	熊野集石塔群の西側に石塔群が並んでいる。				11 E-8
93	藤原寺六地藏 彫刻像と周辺石塔群	西津	南北朝～戦国	境内の奥の奥代住居裏地に石塔群が並んでいる。中でも、平石の六地藏彫刻像は、造りがみられるが彫刻不詳。石塔は彫刻のみである。			宇佐市 史跡 (六地藏 彫刻像)	11 E-8
94	熊動寺跡五輪塔群	別荘	戦国	寺跡がコンクリートで埋め立てられており、無縁塚群の一角に石塔群が並んでいる。また、惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 E-6
95	渡辺家集石塔群	四日市	戦国～近世初期	五輪塔に隣接した墓地に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-5
96	渡辺家石塔群	四日市	南北朝～戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-6
97	藤原集石地五輪塔群	熊	戦国	築成された惣地の奥に石塔群が並んでいる。				11 E-6
98	門屋寺石塔群	熊	戦国	境内の山門内付近に石塔が並んでいる。また、惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
99	早島集石地石塔群	早島	戦国	近世墓地中に石塔群が並んでいる。				11 F-7
100	東家集石塔群	上玉	南北朝～戦国	門前や境内に石塔が並んでいるほか、奥代住居裏地の奥にも石塔が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
101	光順寺石塔群	熊	南北朝～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
102	安徳寺石塔群	熊野	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
103	安徳寺石塔群	熊野	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
104	藤原集石地石塔群	熊野	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
105	藤原集石地石塔群	熊野	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
106	御所家石塔	別荘	戦国	境内の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-7
107	熊野寺堂室印面と 周辺石塔群	大塚	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-8
108	高松家集石塔群	大塚	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-8
109	弘法大師堂 五輪塔群	大塚	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-8
110	上田家石塔群	上田	南北朝～戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
111	山本集石地石塔群	山本	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-8
112	山本集石地 五輪塔群	山本	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-8
113	矢次家集石塔群	中津	南北朝	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-6
114	中津集石地 五輪塔群	中津	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-6
115	長福寺集石地石塔群	別荘	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 G-7
116	大神家集石地石塔群	法鏡寺	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
117	在野寺集石石仏と 周辺石塔群	法鏡寺	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
118	北家集石塔群	法鏡寺	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
119	堂橋寺石塔群	上田	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
120	法鏡寺集石地石塔群	法鏡寺	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 F-7
121	熊野集石地北墓 石塔群	熊野	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 E-7
122	熊野集石地北墓 石塔群	熊野	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 E-7
123	上田集石地石塔群	上田	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 E-7
124	熊野集石地五輪塔群	川部	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 D-7
125	熊野集石地石塔群	川部	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 D-8
126	熊野集石地石塔群	川部	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 D-8
127	日輪寺集石地石塔群	江津	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 C-8
128	熊野集石地石塔群	江津	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 C-8
129	江津集石地 五輪塔群	江津	戦国～近世初期	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 C-8
130	若八幡神社石塔群	江津	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 C-8
131	住江集石地石塔群	住江	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 B-7
132	長福寺集石地石塔群	住江	戦国	惣地の奥に並べられた石塔が並んでいる。石塔の間に石塔群が並んでいる。惣地の奥にも五輪塔群が並んでいた。新地入口に地蔵2体を置き形りしている彫刻がみられる。				11 B-8

番号	名称	所在地	建立時期	備 考	石鏡資料の 年号	指定 区分	参考 文獻	面積 (㎡)	備 考
133	四川結石石塔群	立吉町丁目	韓国-近世初期	石鏡群が3箇所集められている。表面が風化し、石群をどめていないものも多い。				11 F-8	
134	広平清経墓五輪塔	西船町	韓国	新羅川河畔に石塔とともに建てられている五輪塔である。本塔は高さ2m入り地盤面内にあつたものを再建したと見られる。				11 F-8	
135	神光寺石塔群	長洲 中町	韓国	境内に石仏を多く安置している小堂があり、その内側に石鏡群を置いてある。また、本堂前の二階の霊清閣内に石鏡群がみられる。小堂内に置かれている石鏡は一石以上のものである。		20	11 F-8		
136	伊弉利寺石塔群	江流渡	韓国	境内に石鏡群が5箇所集められている。石鏡は数個のみである。				11 F-8	
137	山田地石塔群	西沢	韓国	近世墓地中に石鏡群が置かれている。中でも、最も高く雄偉な石鏡は現在判別できないが、入字正統法によると紀年銘が読取されている。	天正5 (1577)	20	11 F-8		
138	国立歴史博物館 所在石鏡群	高橋	南北朝-韓国	長久元年銘の形有石鏡群、貞和4年銘をもつ角柱形石鏡をはじめとした石鏡群が保管されている。他鏡は加賀守が保管されている他北朝期の複製品である。	長久(1190) 貞和(1192)	豊後 石鏡群	24-40	11 E-6	
139	飯田地蔵堂五輪塔群	北宇佐	韓国-近世初期	水田の中の霊鏡に石鏡群が置かれている。				11 F-8	
140	北宇佐集落地 石鏡群	北宇佐	韓国-近世初期	集落中に石鏡群が散在する。				11 F-8	
141	永徳寺石鏡群	北宇佐	高市村-近世初期	境内に立置石鏡や境内奥地の下に石鏡群が散見される。奥地の石鏡は中世のものである。				11 F-8	
142	光興寺石鏡群	北宇佐	韓国	平瀬川の東岸である北宇佐の光興寺の境内であり、ここから石鏡群が平瀬川に漂されたものと見られている。石鏡群の中には天正9年銘をもつ石鏡や永徳10年銘をもつ石鏡の複製品がみられる。	天正(1581) 永徳(1567)	11	11 F-8		
143	北宇佐石鏡群	北宇佐	韓国-近世中期	奥の山、石鏡が集められている。中でも雄偉な2個とも自然石鏡であり、内1基には紀年銘がみられる。	寛永6 (1629)			11 F-8	
144	蓮泉寺五輪塔	北宇佐	南北朝	境内に1基の五輪塔が保存する。入字の簡略では2層塔とされているが、現在は1層のみである。		11	11 F-8		
145	今宮塚墓地五輪塔群	南宇佐	南北朝-韓国	近世墓地中に石鏡群が散在する。中には南北朝期に造られた五輪塔複製品がみられる。				11 F-8	
146	北宇佐集落地 五輪塔群	北宇佐	韓国	近世墓地中に石鏡群が散見される。				11 F-8	
147	北宇佐集落地 五輪塔群	北宇佐	韓国	近世墓地中に石鏡群が散見される。				11 F-7	
148	西光寺石鏡群	北宇佐	韓国-近世初期	境内に石鏡群が散在する。石鏡は数個のみである。				11 F-7	
149	成久橋南五輪塔群	南宇佐	韓国	近世の石鏡群とともに五輪塔群が置かれている。				11 F-8	
150	下坪田集落北墓地 五輪塔群	下坪田	韓国	墓塚群に置かれた近世墓地中に石鏡群がみられる。				11 F-8	
151	下坪田集落南墓地 五輪塔群	下坪田	韓国	墓塚群に置かれた近世墓地の山側に山石に選り石鏡群がみられる。				11 F-8	
152	田口寺墓地石塔群	下坪田	新町	境内にも石鏡群が散在している。複製品のものと考えられる石鏡の部分は、造形・彫刻からみると、真のものであろう。				11 H-6	
153	長興寺墓地石塔群	下坪田	南北朝-近世中期	墓塚の下側に石鏡群が置かれて2つの字に彫られている。真の五輪塔3基のうち1基は複製品と見られる。複製品は造形・彫刻からみると、真の複製品と見られる。墓塚の境目などに紀年銘がみられる。複製品は1基と見られる。	文安4 (1447)	11-20	11 H-7		
154	上矢部集落地 石鏡群	上矢部	韓国	築代造られた近世墓地中に石鏡群が散見される。				11 H-8	
155	加賀観音堂石鏡群	高橋	韓国-近世初期	小堂の境内にも石鏡群がみられる。中でも、堂内には石鏡の複製のみが点検されている。これは堂内から集められたものである。				11 H-8	
156	観音堂石鏡群	高橋	韓国	観音堂境内のコンクリートで囲まれた一角に石鏡群が散在しているが、他所から移されたものである。		20	12 C-1		
157	松崎神社石鏡群	高橋	韓国	境内の紀年銘のみならず自然石鏡群がみられる。	天正10 (1541)	11	12 C-2		
158	乙松神社石鏡群	徳木	韓国	境内の一角にコンクリートが敷かれ、近世の復元場とともに石鏡群が集められている。				12 D-2	
159	和氣集落地 五輪塔群	和氣	韓国	集落地の六地蔵がある場所に五輪塔群が置かれている。				12 E-2	
160	南宇佐集落地 石鏡群	南宇佐	韓国-近世初期	巨大な集落地中の集落の中に一石五輪塔があるほか、集落内に石鏡群が散見される。				12 F-1	
161	円満寺裏石鏡群	南宇佐	韓国-韓国	円満寺裏の墓地の中に中世の石鏡群がみられる。中でも、寛永20年銘をもつ石鏡群は大きく造られている。また、これ一基であったと見られる複製品もみられる。また、天正9年銘をもつ自然石鏡もみられる。	寛永(1620) 天正(1581)		12 F-1		
162	円満寺石鏡群	南宇佐	室町-韓国	山門前や境内に集落地中に石鏡がみられる。特に、円満寺の東等である正徳の光景から移されたといわれる石鏡群の中には天正9年銘をもつ石鏡や寛永20年銘をもつ石鏡の複製品がみられる。石鏡は境内から持ち込まれた複製品と見られる1基と見られる。	天正(1581) 永徳(1567)	11	12 F-1		
163	宇佐福智山下墓地 石鏡群	南宇佐	南北朝-韓国	整理されている宇佐神宮の神域の中に石鏡群が散見される。複製品は造形・彫刻からみると、真の複製品と見られる。				12 F-1	
164	圓通寺石鏡群	南宇佐	南北朝-韓国	境内の東と見られる境内の一角に石鏡群が置かれている。				12 F-1	
165	圓通寺墓地石鏡群	南宇佐	近世初期	墓地の境内に紀年銘をもつ石鏡の複製品がみられる。	元禄7 (1692)	20-36	12 F-1		
166	大森寺石鏡と 高田石鏡群	長宇佐	南北朝-韓国	大森寺境内に紀年銘をもつ石鏡群が置かれている。石鏡群が散見される。特に、境内の丘陵地に存在する天正の大型の五輪塔本堂は南北朝期に造られたものである。	天正7 (1574)	宇佐南 石鏡群	11	12 F-2	
167	南宇佐集落地 石鏡群	南宇佐	南北朝-韓国	近世墓地中に石鏡が置かれている箇所や、崩壊している箇所がみられる。五輪塔を主体とするが、中には一石五輪塔や石鏡の複製品がみられる。崩壊しているものの複製品は複製品と見られるが、複製品の中には天正9年銘がみられる。				12 F-1	
168	日足集落地石鏡群	日足	南北朝-近世初期	集落中の各所に石鏡群が置かれている。特に、墓下には大型の五輪塔の複製品と見られる。複製品は造形・彫刻からみると、真の複製品と見られる。				12 F-2	
169	真上集落地石鏡群	南宇佐	韓国-近世初期	手沖寺裏の集落地中に石鏡群が置かれている。複製品は造形・彫刻からみると、真の複製品と見られる。複製品の中には天正9年銘がみられる。	天正(1581) 豊永(1567)	11-36	12 G-1		
170	南宇佐集落地 石鏡群	南宇佐	韓国-近世初期	山中の集落中に中世の石鏡群が置かれており、その周辺に中世中に大量にみられる。近世や築代等の複製品が置かれており、複製品の中には天正9年銘がみられる。				12 G-1	
171	日足小堂石鏡	日足	韓国	小堂内に地盤面埋めが置かれている。				12 G-2	
172	地蔵院石鏡	日足	新町	境内の小堂内に彫刻院加東が置かれている。				12 G-2	
173	大塚寺墓地石鏡群	徳木	韓国	大塚寺墓地に石鏡群が散見される。石鏡は数個のみ、複製品は数個のみがみられる。				12 F-2	
174	圓通寺五輪塔	高橋	韓国	近世以降の石鏡が境内の隅に納められているが、その中に五輪塔本堂がみられる。				12 F-3	
175	圓通寺石鏡群	高橋	室町-韓国	本堂境内の石鏡群や境内各所、境内に集落地などに石鏡群が散在する。				12 F-3	
176	根本菩薩堂石鏡群	山光 坂本	韓国-近世初期	根本菩薩堂に川原石が納められているが、その中に石鏡群がみられる。				12 F-3	

塔形及び躯体数																			
五輪塔				笠原印塔				宝塔				国東塔	板碑	一石五輪塔	熊鷹塔	角柱塔婆	石槨	石闕	その他の塔形
瓦存	穿風筒	火輪	水輪	地輪	瓦存	線輪	笠	塔身	基壇	瓦存	線輪								
1	22	11	23	4								2							
		1	3																分塔塔1
	2	1	4															1	
		2																	笠塔塔1
	3	3	5	2															石柱塔婆
	1	1	3	1															
	2	2	3	1								1							
	29	8	28	1								3	2	2	1				
		2	3	1															
1																			
	1	1	2	1															
	1	3	2	2															
	1		1																
	2	5	10	2			2												1
	1		2																
	2	2	2																
	3	2	4	1															
	1											1	1	1					
	2	7	6	17	8			5	2			3	10	8	7				8
	1																		1
	4	6	3																7
	1	1																	
																			笠塔塔2
																			1
	11	2																	
		1	3	1															
	4	7	10																1
	7	3	6	3								2	1	1					2
	2	4	10	1	1		1				1	2	1						2
	1	4	6	4							1								1
	1	4	2	3							1	1							
																			1
	8	5	12	1															2
	5	3	8	4															1
																			3
																			自然石塔碑1
	28	41	40	11								1	14	7	1				1
																			1
																			石仏1
	2	2	2																1
																			1
	9	11	9	2															3
	3	2	2																1

番号	名称	所在地	建立時期	概要	百箇箇料の 年号	指定 区分	参考 文献	国 道 沿 道 の 番 号
177	岩積家石塔碑	比良 坂本	戦国	墓石に彫刻のかわりに五輪塔交角輪が彫せられている完全の宝篋印輪がみられる。			20	12 F-3
178	出光家墓地横石塔碑	比良 坂本	戦国	寛永の宝篋印輪を中心に彫刻に石塔部が直線している。宝篋印輪は彫磨が浅く残存している。			20	12 F-3
179	仲月庵墓地石塔碑	月山田	戦国	笠置様で、コンクリートが削られた墓地に石塔の部分が置かれている。彫磨は浅いものである。			12	6-3
180	青柳五輪塔碑	青森	戦国	溝高の角に大木が太く5m、高さ1.5mの塚があり、その上に石塔部が置かれていた。			12	D-1
181	友岡家墓地石塔碑	月山田	戦国	墓地入口の穴地蔵の間に仏字の形に築かれていた塚が崩壊中に彫刻が覆われた。			12	E-3
182	鳥家墓地五輪塔碑	西木	戦国	墓石中に五輪塔の彫刻が彫られている。平木の鎌倉石ででき、背が直線的である。			12	F-3
183	安部家墓地五輪塔碑	山	戦国	笠置五輪塔が置かれている墓地の一角に、五輪塔火輪が置かれている。			12	E-3
184	山原馬場石塔碑	山	戦国	真原塚入口の穴地蔵前に石塔部が置かれている。			12	F-3
185	両成石塔碑	両成	戦国	丘陵部に1〜4mの山が築かれている。一様に石塔部がみられる。かつて、墓石に存在していた「山ノ塚」の遺構を利用して移動されたものと考えられる。彫磨は浅く、中央 墓塔が凸つてみられるが同一形の彫刻の確証はみられない。		27	12	F-4
186	藤島寺石塔碑	両成	戦国	海霧寺本堂前、コンクリートで築かれた一角に石塔部が置かれている。笠置五輪塔の形であり、彫磨は浅く凸つてみられる。			12	F-4
187	吉水神社石塔碑	両成	戦国	宮水寺参道入口の狭い平野の中を築かれ、さらに10mほど下った溝の上に造られたり、彫磨が浅く残存している石塔部がみられる。埋もれている部分も掘り出された。彫磨は浅いのみがみられる。		27	12	F-4
188	築家家墓地石塔碑	石	戦国	穴石彫刻からなる墓石中に石塔部がみられる。彫磨は浅くしては田舎をわめてよくとどめているが、石塔部は彫磨が浅い。彫磨の形をたどっている。			12	E-4
189	福山金剛寺石塔碑	両成	鎌倉〜戦国	鎌倉時代の境内に仏の宝篋印輪があり、彫磨が浅く寛永の彫磨に似ている。宝篋印輪の彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存する平野の上段に築家家の墓石の彫磨が浅く残存している。		18	12	G-4
190	今山第一石輪塔	江東	戦国〜近世初期	墓石の一角に日本があり、その彫磨が浅く彫磨されている。その上に一石五輪塔が置かれている。			12	G-4
191	金丸宝篋印輪と周辺石塔碑	金丸	戦国	鎌倉時代に記号をもつ碑石の宝篋印輪と石塔部が置かれている。宝篋印輪は彫磨が浅く残存している。彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。	昭和三十二年(1961)	希聖堂(希聖堂)	11	12 G-3
192	岩寺前墓地石塔碑	金丸	室町〜近世初期	竹筒の横断面の竹筒内に平野を築き、石を刻いて置かれている。寛永の宝篋印輪と一石五輪塔の形である。彫磨は浅く、彫磨が浅いのみがみられる。		11-20	12	G-3
193	若木家墓地石塔碑と周辺石塔碑	西原野	室町〜戦国	丘陵地に存在する近世の石塔部からなる墓石中に彫磨の彫磨と宝篋印輪がみられる。各彫刻は入れ替わっている可能性も残るが、完全の彫磨である。彫磨の彫磨は浅く残存する可能性がある。		希有田(希有田)	20	12 H-4
194	松山家五輪塔	西原野	戦国	本堂前の横に五輪塔部が築かれている。			12	H-4
195	兼盛寺石塔碑	西原野	南北朝〜戦国	本堂前の横にコンクリートで築かれたり、石塔部を築いている。寛永の彫磨が浅く残存しているが、元禄の彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			20	12 H-3
196	千歳九家裏山石塔碑	内内	戦国	墓石から八幡神社に向かう石塔部の近世墓石に石塔部が置かれている。			18	A-4
197	初家寺石塔碑と周辺石塔碑	内内	鎌倉〜戦国	境内に彫磨の彫磨と石塔部を築き、その彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。	貞元(1346)	虎崎(虎崎)	30	18 A-4
198	中石塔碑	中	戦国	孝徳に近世の石塔部があり、その中に石塔部が置かれている。			18	A-3
199	山伏塚石塔碑	山伏	室町	山伏寺の境内に五輪塔部を築き、反時計回りに石塔があり、そこに彫磨の彫磨が置かれている。			18	B-3
200	園家堂石塔碑	相生	鎌倉〜南北朝	園家堂の境内に建てかけられているが、3面に彫磨している。他所から持ち込まれたものと見られる。			20	18 B-3
201	神澤寺石塔碑	相生	室町〜戦国	20m四方の石塔部を築き、その彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			18	B-2
202	山口家石塔碑	山口	南北朝〜戦国	山口家の境内に半米久く先帝の宝篋印輪(正安3年)が1基みられる。また、彫磨の彫磨は彫磨140cmを築き彫磨がみられる。この彫磨には正安元年彫磨があったとみられるが、彫磨は彫磨がない。その彫磨に石塔部が置かれている。	正安元(1291) 正安(1301)	希聖堂(希聖堂)	11	18 C-1
203	匠師堂石塔碑と周辺石塔碑	相生 匠師	南北朝〜戦国	寶篋印輪の彫磨にコンクリートで彫磨してあり、石を築き置かれている。2面の彫磨には彫磨があったとみられるが、彫磨には彫磨がない。彫磨の彫磨は彫磨に「穴地蔵」の彫磨が浅く残存している彫磨である。	応永(1379) 永享(1383)	希聖堂(希聖堂)	11-30	18 C-2
204	高倉自然石塔碑	相生 高倉	鎌倉〜南北朝	20m四方の石塔部を築き、その彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			20	18 C-3
205	山口石塔碑	山口	戦国	小塚に石塔部を築き置かれ、石塔は彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			18	D-1
206	山口石塔碑	山口	戦国	山伏の境内の横に彫磨と五輪塔部が置かれている。彫磨に「天竺」彫磨が置かれていたとみられるが、彫磨は彫磨がない。			11	18 D-1
207	山伏塚石塔碑	山伏	室町	本堂の前には彫磨の彫磨と石塔部が置かれている。彫磨は彫磨15cmあり、彫磨の彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			20	18 D-3
208	藤家石塔碑	山伏	鎌倉〜戦国	現代彫磨の彫磨と彫磨中に彫磨した彫磨の彫磨が置かれている。彫磨の彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			18	B-3
209	八幡神社石塔碑	山伏	戦国	社内の境内の一角に彫磨の彫磨と石塔部が置かれている。彫磨の彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			20	B-3
210	矢野家墓石塔碑	相生	戦国	矢野家の境内に彫磨と彫磨の中に彫磨の彫磨が置かれている。彫磨の彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。	弘安(1857)		11	18 D-2
211	宝剣寺墓地五輪塔	相生	戦国	現代彫磨の彫磨に彫磨に彫磨と彫磨の中に彫磨の彫磨が置かれている。彫磨の彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			18	E-1
212	藤家墓地石塔碑	西	戦国	小塚の境内にある彫磨の中に石塔部が置かれたり、彫磨に彫磨している。			18	F-2
213	河野家墓地石塔碑	相生	戦国〜近世初期	近世墓石中に彫磨が置かれている。彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			18	E-3
214	藤家墓地石塔碑	山伏	南北朝〜近世初期	石塔下に石塔部があり、石塔の彫磨に彫磨と彫磨、さらに彫磨が置かれている。	明徳(1667)		20	18 A-5
215	長福寺石塔碑	上坪田	戦国	境内に石塔部が置かれている。彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。	天正(1574)		11-30	18 A-5
216	上坪田馬場墓地石塔碑	上坪田	戦国	整理され置かれている近世墓石中に石塔部が置かれている。			18	A-6
217	上坪田石塔碑	上坪田	南北朝〜戦国	本堂の前には彫磨に彫磨に彫磨に彫磨が置かれている。彫磨の彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			20	18 B-6
218	上坪田東石塔碑	上坪田	戦国	コンクリートで彫磨した一角の彫磨に彫磨の彫磨が置かれている。彫磨の彫磨は彫磨に彫磨が浅く残存している。また、彫磨が浅く残存している。			18	B-6
219	下矢部東墓地	下矢部	戦国〜近世初期	境内に山石が置かれている中に石塔部が置かれている。			18	A-8
220	矢野家墓地石塔碑	上矢部	戦国〜近世初期	近世墓石中に石塔部が置かれている。			18	A-8

新 形 及 び 個 体 数																									
五輪切				宝篋印塔				宝塔				国楽塔	板碑	一石五輪塔	角柱塔婆	石碣	石敢	その他の塔形							
瓦存	宝篋輪	火輪	水輪	地輪	瓦存	形輪	笠	常身	基礎	基塔	瓦存	形輪	宝珠	笠	塔身	基礎	基塔	瓦存	形輪	一石五輪塔	角柱塔婆	石碣	石敢	その他の塔形	
1					1																				
11	6	7	4	1									1								1				
	1	1																			1	1			
5	2	2	1																		1				
12	5	8	6		1	1						1									1				
1	1		1																						
	2																								
		2						1													1				
7	7	8											2	1							1	3			
7	1	4	2										4	2							3	2			笠塔婆1
28	54	45	30										2	4						1	1	3			
1	3		1																						
					2																1	15			
																						2			
1	3		2	1																	1				笠塔婆1
24	14	21	15									2		7	1						2	1			
											1														
3	8	10	1																						
7	8	8	3		2	2	1														2	2			
	2																								
7	6	10	1			1																2			塔婆1
2	2	2	1																						
																						3			
																						1			
52	50	47	26		1	4		1						3							2				
	2	1									1											1			
3	12	13	10																			2			
																						1			
5	5	6	3																				1	1	
		1																				1			
																						2			
2	2										1														
1											1												2		
1	7	6	2																						
3	4		1											2											
																						1			
20	23	26	25			1					1	4	3	1							2		1		笠塔婆2
	1	2																				2			
1														1											
					1																			1	
7	8	13	14				1																		
1	3	8	3											1								4			
4	2	3	6									2	2	4	1						1				

番号	名称	所在地	建立時期	備 考	夜泊資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
221	新宮堂石塔碑	上玖那	戦国	小竜峯に石塔部材が埋蔵され、掘出されているが、本来の組み合わせではない。				18 A-8
222	上天孫御遺徳地 五輪塔	上玖那	戦国	現代化された近世墓地中に石塔部材が散見できる。				18 A-9
223	妙法蓮華寺南 山石塔	内内町 暫下	戦国～近世前期	妙法蓮華寺の手前山にあり、地蔵尊とともに立つ。東京府郡の依怙の塔の石に 同様、五輪塔の部材を置かれている。石塔の径は六尺で、表に彫刻を施している。				18 C-6
224	満下石塔と周辺 石塔群	内内町 暫下 満下	鎌倉	満下集落にあり、覆石を施している。彫刻の平・羅漢の上に前後に並ぶ。並・羅漢は五輪塔の石に施されている。		7-15		18 C-6
225	安富家墓地石塔群	内内町 安富 町	戦国～近世初期	新宮古墳群の安富町分墳に近世塔とともに立つ。				18 C-8
226	蓮華寺跡石塔群	内内町 小塚 ノ上ノ	室町	白雲寺町域内に石塔が散見できる。				18 D-6
227	蓮華寺跡五輪塔と 周辺石塔群	内内町 小塚 ノ上ノ	南北朝～室町	白雲寺の境内の中塚集落にある。蓮華寺は其西の古蹟で、いくつかの坊もあつた という。蓮華寺塔は、古内町の女子が築られ、地蔵に「宇佐宮御 蓮華 神 宮 蓮華寺大天門」の銘がある。	元禄2 (1331)	国形形 (五輪塔)	7-15	18 D-6
228	住吉社石塔群	内内町 小塚 ノ上ノ	南北朝～室町	住吉神社に隣接する住吉神社の参道脇と併行して宝篋印尊が並び、本堂直前に ともに五輪塔がある。参道脇の宝篋印尊は蓮華に反形をもち、横身の上には雄雉 四山の童子を並べ、雄雉頭は宝篋印尊に接合。五輪塔の上は蓮華の蓮葉が並ぶ。 五輪塔の水深から100mほど上った崖面に置かれており、宝篋印尊と五輪塔は欠損している。			7-15	18 D-6
229	北山五輪塔	内内町 北山 中廻	戦国～近世初期	北山の水深から100mほど上った崖面に置かれており、宝篋印尊と五輪塔は欠損している。				18 C-7
230	内庭宝篋印塔	内内町 暫下 野田	戦国～近世初期	川津氏の境内に建つ。自然石の上に、両柱、笠、忍草輪を施す。				18 D-6
231	石造彫刻不顕王立 五輪	内内町 小塚 山廻	室町	小塚集落から約1km離れた山廻の石塔群におおむねあり、そこを安置された五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。		無形形 類(五輪)	7-15	18 D-7
232	安富家横五輪塔	内内町 小塚 山廻	戦国～近世初期	小塚集落から約1km離れた山廻に祀られた石塔群である。				18 D-6
233	杉原家墓地五輪塔群	内内町 杉原 集落	戦国～近世初期	杉原の奥山(内内町)の集落にある杉原家墓地の中に五輪塔の部材が散見できる。				18 E-6
234	藤川家墓地石塔群	内内町 上塚 小塚	室町～近世初期	藤川家墓地の奥山に多数の石塔群が築かれて山廻りされている。墓石を置いた 塔に祀られたもののような。				18 F-3
235	上塚公民館石塔群	内内町 上塚 小塚	戦国	上塚公民館境内に積み重ねられた五輪塔の石塔がある。五輪塔や宝篋印塔で構成さ れている。				18 F-3
236	江戸家五輪塔	内内町 上塚 小塚	戦国～近世初期	公民館下の江戸家集落に石塔とともに建つ。				18 F-3
237	絹ノ原庄屋と周辺 石塔群	内内町 下駄木 原田	室町	豊原の地蔵にも五輪塔とともに建つ。塔身に「準堂立石一層」とある。高さ130cm、 幅40cm、厚20cm。	有形形 (五輪)	7-15	18 F-4	
238	龍崎寺石塔群	内内町 下駄木 原田ノ上	戦国～近世初期	龍崎寺境内、法蓮法師墓(宇佐市歴史資料館)跡の末の末の末に安置され、五輪塔 の部材が散見されている。		15		18 F-5
239	石川家墓地一石 五輪塔	内内町 打上り 原田	戦国	西宮の旧跡跡にある石川家墓地に建つ。自然石とともに五輪塔に祀られている。35cmほ どの一石五輪塔群である。				18 E-5
240	御堂家五輪塔	内内町 御堂 原田	戦国～近世初期	御堂家のかもの田の畔に立置塔、地蔵とともに五輪塔が埋蔵されている。				18 F-6
241	岩家寺遺徳堂地 と周辺五輪塔	内内町 小塚 山廻	南北朝	岩家寺の遺徳堂の中塚集落の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。		有形形 (五輪)	7-15	18 G-4
242	小塚集落五輪塔 と周辺石塔群	内内町 小塚 ノ上ノ	南北朝～近世初期	小塚集落の中心に、多数の石塔群が建てられている。宝篋、五輪塔、無銘塔、 地蔵、石塔の部材が散見できる。				18 G-4
243	山ノ下五輪塔群	内内町 下駄木 山ノ下	南北朝～戦国	下駄木ノ下/下から上総人に向かう道の先手山中に建つ。				18 F-4
244	福徳寺石塔群	内内町 二日市 原田	室町～戦国	福徳寺境内に建つ。その西に宝篋印尊、五輪塔がある。				18 F-4
245	伊東寺五輪塔	内内町 二日市 原田	戦国～近世前期	伊東寺境内に五輪塔の部材が埋蔵された。				18 F-4
246	阿勢御堂石塔群	内内町 小野川 原田	室町～戦国	小野川内集落の中心に、多数の石塔群が建てられている。村名の通り 高麗塔に祀られたもののような。	康永3 (1428)		7-15	18 G-3
247	笠原家遺徳	内内町 上塚 小塚	戦国～近世初期	上塚から小塚に向かう道の左側に建つ。				18 G-4
248	吉村寺遺徳堂地 と周辺石塔群	内内町 大野 原田	室町～近世前期	大野原の吉村寺の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。		有形形 (五輪)	7-15	18 H-4
249	大野見五輪塔	内内町 大野 原田ノ上	戦国～近世初期	大野見から小塚に向かう道の左側に建つ。				18 H-4
250	小塚五輪塔群	内内町 小塚 山廻	戦国～近世初期	大野見から小塚に向かう道の左側に建つ。				18 H-4
251	小塚五輪塔	内内町 小塚 山廻	室町	大野見から小塚に向かう道の左側に建つ。				18 H-4
252	真正寺聖石塔と 周辺石塔群	内内町 真正 原田	戦国	真正寺境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。	大永2 (1522)	有形形 (五輪)	7-15	18 G-6
253	藤原家遺徳	内内町 藤原 原田	戦国～近世初期	藤原家の境内に建つ。				18 H-5
254	藤原家の五輪塔群	内内町 藤原 原田	戦国	藤原家の境内に建つ。				18 H-5
255	藤原家の五輪塔	内内町 藤原 原田	室町	藤原家の境内に建つ。				18 H-5
256	日蓮中塚石塔群	内内町 中塚 原田	戦国～近世初期	日蓮の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。		7-15		18 G-6
257	大野家墓地 石塔五輪塔群	内内町 大野 原田	室町	大野家の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。		有形形 (五輪)	7-15	18 H-4
258	上野神社南宮印塔	内内町 上野 原田	戦国	上野神社の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。				18 H-4
259	藤原石塔遺徳	内内町 藤原 原田	戦国	藤原家の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。	弘治2(1550) 天正9(1581)	有形形 (五輪)	7-15	18 H-5
260	下市瑞徳仏	安心町 下市	鎌倉	下市町の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。				18 F-7
261	三女神社石塔群	安心町 下市	近世初期	三女神社の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。				18 F-7
262	藤原寺五輪塔群	安心町 下市	鎌倉	藤原寺の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。				18 F-7
263	水沼社石塔群	安心町 水沼	戦国	水沼社の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。				18 F-8
264	粟ノ本遺徳仏	安心町 粟本	室町	粟本町の境内に建つ。高さ165cm、幅40cm、厚20cmの五輪塔 とて元元頃の佛塔の跡とされている。高さ154cm、幅40cm、厚20cmの不顕王立の彫刻 に不顕王立五輪が彫刻されている。				18 F-8

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍焼物の 年号	指定 区分	参考 文献	焼物 調査 番号
265	広長寺興形宝印堂	安心郡 伊都 広長寺	戦国	中央部斜面の築地、正面は深い野字、裏面は後世附け「長元四年二月二十九日 善長石匠西行三郎景光」の太い銘。*	長元元 (1506)			18 F-8
266	数徳寺五輪塔群	安心郡 伊都	戦国	山麓にあったのが繁華だったもの。本堂裏の斜面に並ぶ。				18 E-8
267	久宝寺御寺石塔群	安心郡 久井 久宝寺	戦国	久宝寺と伝えられている。美濃郡の北側に一列に並ぶ。高さ50cmの一石五輪の 火・水・地輪は水平線が横貫する。				18 F-6
268	正覚寺御寺石塔群	安心郡 伊都 正覚寺	戦国	本堂の西に墓もあり、安心郡の石塔群が二層所に集められている。				18 G-7
269	真前古五輪塔	安心郡 伊都 真前	戦国	神社の西寄りに石塔・五輪塔がある所に五輪塔（笠置山神社、水輪は後世 附け）群が並ぶ。				18 G-7
270	中荘墓地石塔群	安心郡 中庄	戦国	真前郡の真先に、真前墓地の隅に安心郡石塔群が転がったり、組み合わさ りしている。				18 G-8
271	永福寺石塔群	安心郡 中庄	戦国	小塚に向かい、石塔を並べたに似て、石塔に付せ手取組したものがあふ。石 塔の基部が、至極円形と五輪塔を組み合わせたものがある。				18 G-8
272	中庄原墓地石塔群	安心郡 中庄	戦国～近世前期	耕作地の一隅に一層層に並んだ近世前期の二つあり、奇麗な石塔群が並べられて いる。すべて中央の位置を離れているように思われる。				18 G-8
273	中庄梵字五輪塔	安心郡 中庄	戦国	真前郡の真前に五輪塔五輪塔が並んでおり、大きいのは大きい二層の 梵字、小さいのは小さい梵字がある。どちらも安心郡。				18 G-9
274	双峰神社と周辺 石塔群	安心郡 由良 北朝～戦国	戦国	津田川左衛門の土手側の北側に小塚があり、真前寺の東側に並列4層があり、 津田川に移動して来たような五輪塔群・石塔群が並ぶ。			市報 (牧野)	18 G-8
275	大仏公園御寺石塔	安心郡 大仏	戦国	公園側の東側に集められたもので、安心郡では最大級の数直ですべて安心郡製。 笠置山神社には梵字が刻まれている。石塔は笠置山神社である。				18 G-7
276	安心郡千代板内石 塔群	安心郡 大仏	戦国	寛文4年に建てられた城主堀の安心郡千代板内弘光の陣がある公園の北側に、石 塔群が集められている。地盤には梵字の跡がある。			市報 (牧野)	18 G-7
277	大仏堂堀北石塔群	安心郡 大仏	戦国	大仏堂に北に行くと千手堂の南側に、五輪塔群が点在する。				18 H-7
278	大仏石塔群	安心郡 大仏	戦国～戦国	天正9年銘をもつ五輪塔をほしめ、五輪塔などの石塔群がみられる。	天正9 (1581)			18 H-7
279	西家寺石塔群	安心郡 兼良	戦国	五輪塔の水輪・火輪のやも、山石。				18 G-5
280	寿壽寺古社跡兼 石塔群	安心郡 吉野	戦国	小塚の南側に建てられた五輪塔・笠置山神社。すべて安心郡製。笠置山神社 跡地に梵字が刻まれている。				18 H-7
281	恒松公園御寺石塔群	安心郡 恒松	戦国	公園跡地の西側に一列に並んでおり、石塔群は門柱で上層に門内に梵字が 刻まれている。				18 H-7
282	蓮田御寺石塔	安心郡 兼良	戦国	蓮田川に開けたよしの山の上に南向きあり、石塔が向かって右に並べられて いる。				18 H-8
283	岩屋家墓地区域塔 群	正覚寺	戦国	谷田川の畔地に五輪塔群が並べられている。				19 A-1
284	上矢部郡御寺石塔	上矢部	戦国	矢部川明の支流の畔に相輪を欠く梵字の笠置山神社が建てられている。		20		19 A-1
285	地蔵堂石塔群	正覚寺	戦国～近世前期	小塚前に伊田川等の石塔群とともに笠置山神社が建てられている。				19 A-1
286	白山神社石塔群	正覚寺 台	戦国～近世前期	参道の石段を登りつめた所に小塚の御寺石塔群があり、本堂の南側に山石と 御寺石塔群が並ぶ。笠置山神社跡、笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。	天文五(1532) 天文三(1577)	11		19 C-2
287	正覚寺五輪塔群	正覚寺	戦国	真前郡の真前に石塔群が並ぶ。すべて安心郡製。				19 C-2
288	御寺石塔群	大光山	戦国～近世前期	焚火の跡から下る石塔群、御寺石塔群に自然石塔群が点在する。自然石塔群 は焚火の跡をまわって、笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。	明和(1764) 天明(1825)	11-36		19 B-3
289	御寺石塔群	南平寺 宇野野宮堂跡	南朝	宇野野宮堂跡の御寺石塔群にあって、また石塔群が並ぶ。自然石塔群 は焚火の跡をまわって、笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。	貞和(1362) 貞和(1362)	12		19 F-1
290	徳光寺石塔群	安心郡 恒松	戦国～近世前期	宇野野宮堂跡の御寺石塔群にあって、また石塔群が並ぶ。自然石塔群 は焚火の跡をまわって、笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。				19 C-2
291	大年古社跡兼石塔 群	安心郡 山重	南朝～戦国	山重から山重に旅する途中、大光山の南側に笠置山神社跡に大年古社跡、 境内の南側に中世・近世の石塔が並んでいる。うち、真前郡の御寺石塔群の 御寺石塔群が点在する。	正徳元(1334) 建永元(1324)	6	島本 (島本)	19 E-3
292	西原寺御寺石塔と周辺 石塔	安心郡 山重	南朝～戦国	本山に御寺石塔群、御寺石塔群が並ぶ。高さ256cm、境内に 御寺石塔群が並ぶ。笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。				19 E-2
293	安福寺石塔	安心郡 兼良	戦国	兼良の山麓に高さ2～3mもある安心郡の御寺石塔群が並ぶ。うち、1層に「七 日一輪塔兼門扉兼蓮花文兼二毛耳」の銘がみえたとされている。	文亀2 (1502)		市報 (牧野)	19 E-2
294	善達寺御寺石塔群	安心郡 兼良	戦国	文亀元年をもつ、笠置山神社跡に笠置山神社跡が並ぶ。	文亀光 (1501)			19 E-2
295	京石川石塔	安心郡 日吉	戦国	在田道の北方水田中にある方形石塔の中央に六角形の石塔が並ぶ。				19 E-2
296	巨摩寺御寺石塔と 周辺石塔群	安心郡 由良	南朝～戦国	藤人が善達寺跡から地蔵堂跡に移動したと伝えられている。紀年銘をもつ 石塔、指定されている御寺石塔である。	頼朝 (1189)	7	下野 内務省	19 F-1
297	佐田墓地自然石塔	安心郡 伊都	戦国	上記の南側に点在している。高さ50cm、笠置山神社跡。	天正7 (1580)			19 F-2
298	佐田神社	安心郡 伊都	南朝	佐田神社境内に3層の石塔と1層の石塔群が並べられている。うち紀年銘をもつ 石塔と丸形石塔1層の笠置山神社跡が指定されている。	文亀元(1302) 建永元(1324)	36-40	島本 (島本)	19 E-3
299	三層寺地蔵塔	安心郡 兼良 佐田寺地蔵堂	戦国	境内、笠置山神社跡に石塔が並ぶ。				19 F-2
300	笠置山神社 一石五輪塔	安心郡 吉野	戦国～近世前期	神社跡の西側にあり、高さ50cm安心郡製で笠置山神社跡。				19 F-4
301	唐切尾五輪塔	安心郡 兼良 唐切尾	戦国～近世前期	笠置山神社跡の南側に、笠置山神社跡の御寺石塔群が並ぶ。				19 F-4
302	定則寺石塔	安心郡 兼良 八丁	戦国	境内の中にかかると八丁の塔のたもとに、笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。 高さ100cm、笠置山神社跡。				25 C-8
303	真田寺御寺石塔群	安心郡 兼良 真田	戦国～近世前期	境内の中にかかると八丁の塔のたもとに、笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。 高さ100cm、笠置山神社跡。				25 C-8
304	山重神社と周辺 石塔群	安心郡 山重	戦国～近世前期	境内の中にかかると八丁の塔のたもとに、笠置山神社跡、笠置山神社跡が並ぶ。 高さ100cm、笠置山神社跡。				7-15 A-5
305	鶴巻堂宝塔	安心郡 山重	戦国	下流から順に、1つは笠置山神社跡、1つは笠置山神社跡、1つは笠置山神社跡。 高さ50cm、笠置山神社跡。				7-15 A-4
306	上上平等院	安心郡 山重	戦国～近世前期	上上平等院は塔の先にある笠置山神社跡の山に並ぶ。その左側に高さ約70cm の地蔵堂を建立し彫刻した彫像がある。その下に千手と如意輪菩薩像。境内 にも小型の石塔が並ぶ。				7-15 A-4
307	数徳寺六地蔵石塔	安心郡 山重 数徳寺	戦国	境内に数徳寺の境内に、六角の石塔が並ぶ。中世は一段かぶり出で、 下は筒形に、上は六角形である。高さ100cm。			市報 (牧野)	7-15 A-4
308	近藤家石塔宝塔	安心郡 兼良 市重	戦国	境内の近藤家石塔の境内に、六角の石塔が並ぶ。中世は一段かぶり出で、 下は筒形に、上は六角形である。高さ100cm。				7-15 A-5

形 形 及 び 数 数															国東 地	額 切	一石 五餘石	角 柱	角 柱	石 橋	石 段	その他の形 形
玉軸塔				宝篋印塔				宝篋														
元存	空堀跡	火輪	水輪	透輪	元存	相輪	笠	塔身	蓋	基壇	元存	相輪	宝珠	笠	塔身	蓋	基壇					
							1	1	1	1												
		4	3	3																		
																		1				
		6	2	9			1	1														
		1		1								3	1									
		1		1														1				
		13	9	16	10		9	6	3			15	2									
				2																		
		13	18	17	11		3	1	2	1		1	3	2			6					
		22	43	53	15					1		10	7	1				1				
		4		1	1		1		1			2	1									
		2										1										
		9	3	1	3						1							2				
				2								1										
		1	1				1	1					1									
		4	6	2	2			1					1	1				2				
																		3				
		1	1	1																		
					1																	
		5		2								1	2	2				2 3				
					1													29				
		3	3	3														1				
																		自然石塔跡 野石1				
		3	4	3		1	4	8	6	3		5	3	1				1				
		10	6	18	2							9						5 1				
		1	4	1			1	1	2		1		2	2								
																		自然石塔跡1				
																		1				
																		1				
		1	3	2		1	1	1	1									1 1				
																		3 1				
		13		2		5	1											1				
				1														1				
													1					1				
		8	14	15	24													角宝篋1				
		8	13	6	2						1	2	1	1				1				
				1								1	1	2	1							
																		4				
																		1				
											1											

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍料額の 年号	指定 区分	参考文献	備註 地図 備考
309	中尾家墓地五輪塔	県内町 舟橋	戦国～近世初期	斎庭平塚の山腹にある墓地に地定と定んで五輪塔が建つ。火・水輪のみ。碑には 舟橋				28 A-5
310	加東家墓地石塔群	県内町 舟橋	戦国～近世初期	中尾家墓地の南の山にある加東家墓地で近世初期の墓に達し、宝篋、一石五 輪塔、五輪塔がみられる。				28 B 28 A-5
311	永楽大寺跡石塔群	県内町 舟橋	高野一戦国	東山川にかかる水櫃壺を穿った先の山腹に、永楽大寺跡群が石塔の間に五輪塔 があり、水櫃壺を穿った奥壁に宝篋や五輪塔が建つ。		12		28 A-5
312	藤原寺跡の五輪塔	県内町 大門	戦国～近世初期	藤原寺跡の南のさざし下にある藤原の墓に、宝篋印塔は藤原の墓に向かって宝篋 の上に五輪塔とともに建つ。				28 B 28 B-2
313	下瀬ノ上五輪塔	県内町 下瀬ノ上	戦国～近世初期	大門の南、庵門付近にある藤原の墓に五輪塔が建つ。				28 B 28 B-3
314	富原石塔と周辺 五輪塔	県内町 富原	戦国	大隈宮の西防犯堀を隔てた所に、富原宮に隣つ、円形の中央と土・石塔を載せる。				28 B-3
315	西原石塔	県内町 西原	戦国	藤原社跡の南邊を上った西原に建つ、蓋石八角で六地蔵石(石ノソウ) 高野川 河川の西文学堂と隣り、延長10cm、蓋石10cm。		11-12		28 B-4
316	新藤原家墓地と周辺 石塔群	県内町 新藤原	室町	真藤原寺の石塔を建ったところに新藤原の石塔あり、左に宝篋と五輪塔が置かれて いる。宝篋の奥壁は一石作り出し、やや下すまじりの地盤は石塔を二階とする。 奥は軒口二階の屋根が、石塔は五輪塔が並んである。		11-12		28 C 28 C-2
317	佐藤家墓地石塔群	県内町 舟橋	戦国～近世初期	舟橋の舟橋(久保)の山腹にある佐藤家の墓に集められた五輪塔が並ぶ。				28 B-5
318	大塚家墓地五輪塔	県内町 舟橋	戦国～近世初期	佐藤家跡の南の山腹にある大塚家の墓に隣つ、舟橋の南から置りした土の 礎、礎の上に五輪塔。				28 B-5
319	納戸家宝篋印塔と周辺 五輪塔群	県内町 舟橋	戦国～近世初期	舟橋東部の山腹の山腹に並べられている。元元は墓地に石塔があったとの伝承 がある。宝篋印塔の奥壁は二階で二つに分れて、宝篋がある。五輪塔がある。				28 B-5
320	小野家墓地五輪塔群	県内町 舟橋	戦国～近世初期	舟橋の舟橋(久保)の山腹にある小野家墓地に五輪塔五輪塔が並ぶ。				28 B-5
321	野原家五輪塔群	県内町 舟橋	戦国～近世初期	舟橋の舟橋(久保)の山腹にある野原家の墓に集められた五輪塔が並ぶ。				28 B-5
322	西光寺跡石塔	県内町 月夜	室町一戦国	西光寺跡(田原寺跡) ともに門前瓦葺の西光寺跡に隣り建つ西光寺跡に石塔が ある。地盤を高く築き上げられた宝篋、石塔、五輪塔の群が並ぶ。		11-12		28 C-2
323	西光寺跡の石塔群	県内町 月夜	室町一戦国	西光寺跡を高く築き上げた西光寺跡に隣り建つ西光寺跡に石塔が並ぶ。				28 C-2
324	徳合寺境内石塔群	県内町 下原	室町一近世初期	下原良の徳合寺の境内に集められた五輪塔や石塔の群が並ぶ。				28 D-3
325	下原豊後宮 五輪塔群	県内町 下原	戦国～近世初期	下原良豊後宮の社殿跡に石塔ととも五輪塔が並べられている。				28 D-3
326	西宮寺境内五輪塔群	県内町 西宮	戦国～近世初期	西宮寺本堂跡の生け垣のなかに五輪塔が並ぶ。				28 D-4
327	岩間家墓地石塔群	県内町 漁師	室町一戦国	漁師の岩間家にある岩間家に建てられた石塔群。岩間家宝篋印塔、東光寺跡群 及び下瀬石塔が並ぶ。宝篋印塔は蓋石を欠き、石塔は中倉である。地盤は 石塔の奥壁及び中倉の奥壁に石塔が並ぶ。石塔の奥壁は石塔が並ぶ。		11-12		28 D-3
328	瀧岡中江石塔	県内町 流架	室町一戦国	半江(江)の瀧岡中江に建てられている。蓋石、中倉、蓋石は蓋石で、中倉を欠 く。蓋石は上下二階で石塔の奥壁に並ぶ。石塔の奥壁は石塔が並ぶ。				28 D-3
329	大塚家墓地石塔群	県内町 舟橋	戦国～近世初期	藤原寺跡の南の山腹にある大塚家の墓に集められた五輪塔が並ぶ。そこらから 下に下りて上りていくと石塔の群が並ぶ。				28 C-4
330	元木家墓地石塔	県内町 漁師	戦国～近世初期	藤原寺跡の南の山腹にある元木家の墓に集められた五輪塔が並ぶ。五輪 塔の奥壁は石塔が並ぶ。				28 C-4
331	宝篋寺跡石塔と周辺 石塔群	県内町 下原	戦国～近世初期	宝篋寺本堂の舟橋に隣り建つ舟橋の自然石塔群で、南に「宝篋寺跡群一石 塔」 蓋石山宮公元、天文十九年(享徳一十八日)とある。その中央に、一石 塔が寺跡の舟橋に隣り建つ。	天文19 (1386)	自然石 塔群 (宝篋 寺跡)	11-12	28 D-4
332	安佐家石塔群	県内町 下原	室町一近世初期	安佐氏の本拠地山宮にあり、舟橋で4m四方の石塔群を作り、その上に石塔群がある。 現状では宝篋、五輪塔の群が並ぶ。				28 D-4
333	重茂家石塔群	県内町 下原	戦国～近世初期	重茂氏の墓にあり、宝篋、五輪塔の群が並ぶ。				28 D-4
334	緒方家石塔群	県内町 土師	南北朝～室町	上原良と河原の間に建つ土師家の墓に集められた石塔が並ぶ。舟橋の舟橋及び舟橋 と、三石塔の群がある。舟橋は五輪塔であるが、舟橋及び舟橋は欠けている。				28 E-3
335	西原福地の中 五輪塔群	県内町 西原	戦国～近世初期	西原福地の山腹にある西原福地の山腹に集められた五輪塔が並ぶ。				28 E-2
336	西原福地の五輪塔群	県内町 西原	戦国～近世初期	西原福地の山腹にある西原福地の山腹に集められた五輪塔が並ぶ。				28 E-2
337	大塚寺跡宝篋印塔と 周辺石塔群	県内町 西原	室町一近世初期	大塚寺跡(大塚寺跡)の南に宝篋印塔が並ぶ。南に宝篋印塔とともに五輪塔が並 ぶ。宝篋印塔は舟橋である。舟橋の舟橋は舟橋である。				28 E-2
338	西原福地五輪塔	県内町 西原	戦国～近世初期	西原福地の山腹にある西原福地の山腹に集められた五輪塔が並ぶ。				28 E-2
339	永楽五輪塔群	県内町 舟橋	戦国～近世初期	舟橋の舟橋の山腹にある永楽家の墓に集められた五輪塔が並ぶ。				28 E-2
340	海真石塔	県内町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある舟橋家の墓に集められた石塔が並ぶ。舟橋の舟橋は舟橋 である。舟橋の舟橋は舟橋である。舟橋の舟橋は舟橋である。	永正5 (1506)	舟橋 (舟橋)	11-12	28 F-5
341	海真家墓地五輪塔群	県内町 舟橋	室町	舟橋の舟橋の山腹にある海真家の墓に集められた五輪塔が並ぶ。				28 F-5
342	海真家墓地五輪塔	県内町 舟橋	室町	舟橋の舟橋の山腹にある海真家の墓に集められた五輪塔が並ぶ。				28 F-5
343	相田石塔	県内町 相田	室町	舟橋の舟橋の山腹にある相田家の墓に集められた石塔が並ぶ。舟橋の舟橋は舟橋 である。舟橋の舟橋は舟橋である。舟橋の舟橋は舟橋である。				28 G-2
344	大塚寺石塔群	県内町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある大塚家の墓に集められた石塔が並ぶ。舟橋の舟橋は舟橋 である。舟橋の舟橋は舟橋である。舟橋の舟橋は舟橋である。				28 A-7
345	光勝寺石塔	安心郡町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある光勝寺の墓に集められた石塔が並ぶ。				28 A-7
346	藤原公氏五輪塔	安心郡町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある藤原公氏の墓に集められた五輪塔が並ぶ。				28 A-7
347	平等寺石塔	安心郡町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある平等寺の墓に集められた石塔が並ぶ。				28 B-6
348	坪の本堂塔	安心郡町 舟橋	室町	舟橋の舟橋の山腹にある坪の本堂の墓に集められた石塔が並ぶ。				28 B-7
349	小野家墓地石塔群	安心郡町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある小野家の墓に集められた石塔が並ぶ。				28 B-7
350	聖光寺石塔群	安心郡町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある聖光寺の墓に集められた石塔が並ぶ。				28 B-7
351	新藤原家と周辺 石塔群	安心郡町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある新藤原家の墓に集められた石塔が並ぶ。				28 B-7
352	真藤原石塔	安心郡町 舟橋	戦国	舟橋の舟橋の山腹にある真藤原家の墓に集められた石塔が並ぶ。				28 C-6

造形及び備体数															国東 塔	椀 鉢	一石 五輪塔	兼 胎塔	角柱 塔婆	石 碑	石 塔	その他の塔形
玉輪塔				宝篋印塔				宝塔														
寛存	宝篋輪	火輪	水輪	地輪	寛存	胎輪	塔身	基壇	基壇	寛存	胎輪	宝珠	塔身	基壇								
	1	1								1												
	2	3	3	1								2				1						
	9	13	41	19						1	1			1		2						
					1					2												
	2	1	3																			
	1	2															1					
																	1					
	7	10	8	5						1	1											
		3	6	5									1									
	1	1	1	1																		
					13	2		1	2	1						1						
	2			3																		
	5	8	13	5																		
	8	14	9	10	1					1			1				2					
	10	14	8	1									1									
	1	3	8							1							1					
	2	4	3																			
	1	2	2	2																		
	13	11	9	7		1	1		1				1									
		3	3	1													1					
	1	12	17	5			1			1		1	1	1								
	1	1	1				1	1								1						
		3	2	2		1	1	1	1		1		1				自然石塔婆1					
	6		7	2									1									
	2	3	1							1		1	1									
	2	1	2	3						1			1	1			兼塔1					
	12	9	4	1													1					
	5	3	4	2																		
	12	16	4	4			1	1	1	1		1										
	1	2																				
	5	1	5	4																		
																	1					
	2	3	3	3																		
										1												
																	1					
																	2					
		1	2														1					
	23	45	35	8		5	4	1	4	1		20	1	7	5		塔婆宝篋1・523・基壇1					
												1										
	3		12							1		2	1	1								
	3	3	2			1											兼塔1					
	3	2	17	2		1	1				4		5	2								
																	2					

番号	名称	所在地	建立時期	概 要	在籍料の 年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
353	南光寺石塔群	安心院町 松本	戦国	仁王一対が境内に安置される寺院で、背後の崖に五輪塔一室塔・石塔がある。				26 B-8
354	多仏石幢と両辺石塔群	安心院町 英の口	戦国	小さい彫刻の先頭部を削り出して平地を盛り、帯有形の石幢をはじめとした石塔群がみられる。寺域があつたらしい。塚部の北東部の塚にも石塔がみられる。15世紀後半とされる。		市形形 (石塔)		26 D-8
355	水華石塔群	安心院町 水華	戦国	阿蘇山の山崩れ、水漲の害、害を置つた場所に移動されたもの。				26 E-7
356	上内河野山崩壊石塔群	安心院町 上内河野	戦国	荒廃の崩壊跡を二層に造じた境内に石塔群が散見する。宝篋印に似て文字彫りがある。				26 E-7
357	寺の高石階地帯地石塔群	安心院町 上内河野	戦国	移転されたもの。崩壊箇所、上部が折れた「元永三年壬申」の紅線がみえる石塔が数枚あり、壊れておらず。				26 F-7
358	上内河野石塔群	安心院町 上内河野	戦国	鎌倉時代の水田を後の西郷の農圃と川との間に移設されたもの。				26 F-7
359	西福寺(龍静堂跡)石塔群	安心院町 豊石	戦国	50mくらい奥に高砂定があつたが構造工学的ため現在の北米丸西側面に石塔群を移転。3段区がある。竜爪印彫は文字がある。				26 F-7
360	西福寺石幢	安心院町 豊石	戦国	六角形六地蔵「摩羅淨住持門遍珠淨門各々堂位妙花雲身付大永五元乙未正月念四日」の刻字がある。安心院跡、高さ175cm。	大永5 (1526)			26 F-7
361	豊石権造五輪塔群	安心院町 豊石	戦国	80m東にあつたが、震災直後に移転されたといわれている。				26 F-7
362	明治神社石塔群	安心院町 山ノ口	戦国	本陣の下段面に集積されている。				26 G-6
363	御堂石塔群	安心院町 御本堂	戦国	近世以前の墓地の南西側に二次的に集積されている。				27 A-1
364	東渡橋南石塔群	安心院町 橋本	戦国	国境部地区の一角に島状の高まりがあり、石塔が集積されている。梵字彫造のある石幢。西側の月輪内に仏像が深く彫られた地蔵像の石彫彫材がみられる。				27 A-1
365	御本堂前庭と周辺石塔群	安心院町 橋本 前庭一帯	戦国一帯	住持御堂の境内に重畳に二層に非帯有仏像群がある。上層部1200cm、下層部650cm。H45cm (42?) [元永三十五年(1428)戊午二月]の彫造がある。石塔群は崖下部の崖の上、路肩に順直に置かれていた。このほか石塔群もみられ、元永石塔をもつ二層五輪塔や大永石塔をもつ三層宝篋印も存在する。	元永3 (1428)	戦史		27 A-1
366	橋本公民館石幢	安心院町 橋本	戦国	公民館の北東部に近世の地蔵2層と並んで六角形の石幢が置かれていた。頂上は彫りもつ。				27 A-1
367	千宝堂石塔群	安心院町 橋本千宝	鎌倉一戦国	二層塔。上部には佛造の空2層のり、1層が地立で彫られている。佛身円筒形で首飾彫り、宇佐赤山地区宝篋印と同じ。首飾彫の佛は一層の彫り出し。	元永2 (1322)			27 A-1
368	教覚寺出所石塔群	安心院町 橋本	戦国	本堂北側の広場に水筒2層が並んで置かれていた。				27 A-1
369	越島寺跡石塔	安心院町 東原	戦国	寛政中期崩壊という寺跡で、文政三年頃崩壊された鎌倉時代の地層群の僅量瓦に高さ150cmの宝篋印がある。				27 A-2
370	尾立石塔	安心院町 尾立	南北朝	塔の中心、下層30cmが壊れた幅103cm、高さ165cm、西面中央上部・右面下部に塔文の彫り文字をもつ石塔。		市形形 (石塔)		27 B-1
371	正徳寺南西五輪塔	安心院町 尾立	戦国	塔の南側に五輪塔群が移集されている。全て安心院製。				27 B-1
372	大洞神神社宝篋印塔	安心院町 尾立	戦国	上層塔階以上を欠く疑わぬ宝篋印塔がある。				27 C-3
373	六郎丸腰中庭	安心院町 六郎丸	近世初期	堀込築込腰中庭が立つ。神古の遺は昭和元年。	明治元 (1868)			27 C-3
374	津野橋南東五輪塔群	安心院町 六郎丸	戦国	津野川北七条新築木橋に3基の安心院製五輪塔が並べられている。				27 C-2
375	安養寺石塔群	安心院町 六郎丸	戦国	コンクリートブロックの小室内に、宝篋印塔・石幢・石塔群があり、南面に好むて家造・五輪塔彫材がある。				27 C-2
376	修徳寺堂一石五輪塔	安心院町 修徳	戦国	安心院の北にある正徳の北端、水門に接する石塔の上二層区である。安心院製。高さ125cmと44cm。				27 D-1
377	修徳橋南東石塔群	安心院町 修徳	戦国	修徳橋の南東端に五輪塔群と組み合わせた六角柱石幢の群がある。すべて安心院製。				27 D-1
378	成親院石塔群	安心院町 成親	戦国	橋本川の南側に平地があり、東 近現代地蔵・石塔群に分かれている。宝篋印彫身の上に相輪状頂部で彫削に仏像を彫り出し、重層をもつ塔がある。				27 D-1
379	光臨寺石塔群	安心院町 六郎丸	戦国	本陣の南東部、崖の間に六角形塔身の上に六角形の仏像を彫り込んだ四角い形の彫り出し2層。宝篋印がある。				27 D-2
380	五郎丸石塔	安心院町 五郎丸	戦国	遺構風の南方水田に、墓室置物の隅に収めたように塚状彫造の石塔群が集積されている。				27 D-2
381	山田家石塔	安心院町 六郎丸	戦国	津野川河畔、民家の南側に安心院製の宝篋印・五輪塔群がある。				27 D-2
382	若杉石塔群	安心院町 若杉	戦国	築地集積で築台地に移動集積した石塔群である。				27 D-2
383	鹿々木家石塔群	安心院町 若杉	戦国	鹿々木氏宅南に築地集積で立つ。				27 E-2
384	丸田五輪塔群	安心院町 南郷	戦国	西村氏宅南側に道路を隔て建て集積されている。				27 E-2
385	堂橋五輪塔群	安心院町 南郷	戦国	小室前に安心院製の五輪塔群が彫集されている。地輪に彫集。				27 F-2
386	柳田家墓地石塔群	江津賀	戦国	崖段と並べられた墓壇内に石塔群が彫集されている。地輪のものも多く、本来の彫り合わせではない。				11 C-8
387	東林寺輪石塔群	上田	戦国	奥に裏段の上や覆石を輪置地の間に石塔群が彫集されている。中でも、一石で彫られた宝篋印には「聖一」地蔵と彫削し、彫削がみられるが、彫削不備である。				11 E-7
388	柳田家墓地石塔群	中津	戦国	近辺墓地の一角に石塔が彫集されている。中でも永正銘の紀年銘をもつ妙壽堂は正徳に地蔵3層を浮彫りした特徴的なものである。	永正10 (1513)			11 G-7
389	青森集落墓地石塔群	青森	戦国	墓地中に数8m、高さ2mの塔があり、その間に石塔群が彫集されているほか、墓地中に散在している。				12 D-3
390	青森集落墓地五輪塔群	青森	戦国	墓地中に五輪塔の彫材が散在する。				12 D-3
391	仲舟庵五輪塔群	河生川	戦国	仲舟庵の前に五輪塔大塔が1点あるほか、庚申橋際に五輪塔群材が彫集されているが、彫集は本来のもてではない。				12 E-3

塔形及び個体数															国庫塔	板碑	一石五輪塔	無縁塔	角柱塔婆	石幢	石鐘	その他の塔形
五輪塔					宝篋印塔				宝塔													
完存	空風輪	火輪	水輪	地輪	完存	塔輪	笠	塔身	華蓋	基壇	完存	塔輪	宝珠	塔身	塔檐	基壇						
	1	2	3	5								4	4	1	1							
	5	24	17	12			3	1				4	1	7	3	4		1	遺跡等1			
	9	15	10	17								6	3		4		1					
	12	21	14	6			3	1	2			7	2	5	3							
	24	18	15	19			5	2	2	2		3	2	8	2	2						
	1											1	2	2								
	15	12	17	8			2	2		2												
			1										1						遺4			
	9	10	9	13																		
	4	1										1	1						遺1			
	1	5	4	2		1	1						1									
	1	8	13	11		1	4	9	2			1	1		1				3			
	8	14	13	17		2	1	2	6			1	7	3					1			
																			1			
													3	1	1							
	2																					
										1												
	3	1	1	1																		
							1	1	1													
																			遺申塔3			
	2	3	2	3								1	2	1								
	1			1															板碑状地蔵1			
		2		2														2				
		2		2															1			
	4	5	3	5			1	1				2	1	1					3			
												2	1	1					2			
	1	4	2	1			2															
	1												1	1								
		6	15				2	2	1			1	3	1								
	2		2	4								1	3									
		3	1	4																		
		3	2	3																		
	2	3	3	2								2	1	1								
	4		5	1															空塔婆1			
	1													1					空塔婆1			
		3	2	4														3				
	1	1	2	1																		
	1	1	1	1																		

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍資料の年号	指定区分	参考文献	国史記号
1	光徳寺横屋地五輪塔	西浜		墓地の中に五輪塔が並置されている。				1 H-2
2	密院寺石塔群	鴨池		田の小さな畦上に再建済 (設置の可能性) が立ち、真面に五輪塔群が置かれている。				1 H-2
3	龍侍墓地五輪塔	貞日		墓地の中に一石五輪塔が置かれている。				1 H-3
4	徳永家墓地五輪塔群	日野 御堂		別荘入口の墓地の前に五輪塔が並べられている。また、墓を境に下層にも配置した石塔がある。				5 D-8
5	水ノ下園集落と 滝原寺石塔群	日野 水ノ下	南北朝～戦国	5層の斜面のテラス上に、園集落を中心として多くの石塔が並んでいる。中でも南側の塔が11層と高く、その中には彫刻が施されている。また、東側に2層の石塔が並んでいる。また、園集落は、パワースポットの霊場である。また、園集落の南と西に石塔群が点在している。多摩川には大型の宝篋印塔の遺構がある。	文化20 (1953)	市指定 (国庫蔵)	4	5 D-8
6	西村家墓地石塔群	日野 西村		東岸南側の丘腹にある広い墓地の南に五輪塔群が点在している。宝篋の蓋と思われる反転蓋もある。				5 E-8
7	西村家墓地五輪塔群	日野 西村		東岸南側の丘腹にある墓地の一角に五輪塔群が集中している。				5 E-8
8	米沢寺石塔群	日野 三友	鎌倉～戦国	参道、境内に石塔群が点在する。また、境内にある歴史的建造物の墓域にも石塔がある。中でも、寺域内にある三層宝篋印塔は第一級の彫刻が失われているが、後醍醐天皇御即位の御慶賀の御慶賀のものである。				5 E-8
9	円勝寺夜山園地 石塔群	日野 中村	南北朝～室町	丘陵やや登ったところにある園地の一角に中伊石塔が立ち並ぶ。多くは最初の塔のみが石を欠けているが、2層の宝篋印塔は無損のままと思われる。				5 E-8
10	高年寺石塔群	日野 中村	南北朝～室町	平野部の園集落に中伊石塔が点在している。また、園集落の南に宝篋印塔が点在している。宝篋印塔は大型の宝篋印塔の遺構である。				5 E-8
11	中興玉光徳五輪塔	中興玉		光徳寺の南に五輪塔群が点在している。				5 F-7
12	中興玉江戸五輪塔	中興玉		江戸幕府時代に五輪塔が立てられている。				5 F-7
13	真玉庁舎前墓地 石塔群	中興玉		市役所真玉庁舎の西側にある墓地の中に、五輪塔や宝篋の塔が点在している。				5 F-7
14	中興玉化浄堂墓地 五輪塔	中興玉		化浄堂の南に五輪塔群が立てられている。				5 F-7
15	中興玉御堂墓地 石塔群	中興玉		園地入口のところにコンクリートで覆われた五輪塔群や宝篋 (宝篋) が点在している。				5 F-8
16	真島墓地五輪塔群	中興玉		墓地の中に五輪塔群が点在する。また、経路と思われる小川の遺構がある。				5 G-8
17	西郷谷谷部 五輪塔	中興玉 西郷		市の南側に五輪塔群が点在している。				5 F-8
18	地蔵堂石塔群	西興玉	鎌倉～戦国	特設されたと思われる場所に宝篋が点在する。その南には一石五輪塔や五輪塔群が点在している。				5 G-8
19	西興玉阿弥堂 石塔群	西興玉		阿弥堂の南に宝篋印塔と宝篋 (現一個体)、五輪塔群が点在している。				5 G-7
20	西興玉山石塔群	西興玉		広い園地に、多数の一石五輪塔や五輪塔群、さらに宝篋印塔や四つ葉草の宝篋が点在している。宝篋印塔は大型の宝篋印塔の遺構である。				5 G-7
21	真玉氏墓地石塔群	西興玉	室町～戦国、近世初頭	真玉氏 (西興玉氏) の南側にある真玉氏墓地には、宝篋印塔や宝篋、宝篋印塔の塔が点在しているが、コンクリートで固定されるなど彫刻の磨耗は顕著である。	市指定 (国庫蔵)	4	5 G-7	
22	大村御堂五輪塔群	西興玉 大村		御堂に一石五輪塔や五輪塔群が点在している。				5 G-7
23	真玉寺石塔	西興玉 大村	室町	真玉寺の南に立つ。二階に六地蔵を雕刻する。他の二階には中興玉と円勝寺を彫刻する。	文化20 (1953)	市指定	4	5 G-7
24	小泊家墓地五輪塔	西興玉 大村		東玉寺の南にある墓地の中に五輪塔群が点在する。				5 G-7
25	真玉八幡社園地 石塔群	西興玉		真玉八幡社の南にある園地に立つ大型の宝篋印塔、灯籠や石塔のために真玉が彫刻されている。	市指定	4	5 G-7	
26	徳久寺五輪塔群	西興玉 徳久		徳久寺の南に一石五輪塔や五輪塔群が点在している。				5 G-7
27	三井寺石塔群	中興玉 庄屋	南北朝～室町	庄屋敷の西側にある三井寺の南に大型の宝篋印塔が立つ。宝篋を欠くかぼた形。また、境内には大型の宝篋印塔の遺構や五輪塔群が点在している。				5 G-8
28	庄屋跡地石塔群	中興玉 庄屋		庄屋跡にある墓地の中に、石塔が点在する。				5 G-8
29	庄屋跡口家石塔群	中興玉 庄屋		井口家跡地に石塔が点在している。				5 G-8
30	庄屋跡下石塔群	中興玉 庄屋		丘上の神社境内に、五輪塔や小形宝篋の塔が点在している。				5 G-8
31	井ノ口家の宝篋	西興玉 湯原	南北朝	井ノ口家のある平場に2層の宝篋の遺構が立つ。		市指定	4	5 H-8
32	新田家石塔群	中興玉 常盤の 北庄	南北朝～室町	石塔内にある新田家の石塔群を中心に、周囲に大形の宝篋2層や宝篋などが入り込んでいる。コンクリートで固定。				4 5 G-8
33	安徳寺園集落と 石塔及び石塔群	中興玉	南北朝～室町	安徳寺の南側にある園集落と石塔が点在している。境内には小型の宝篋の遺構もある。	市指定 (国庫蔵)	4	5 G-8	
34	真島社五輪塔群	真島	室町～戦国	真島社に一石五輪塔と五輪塔群が点在している。				5 H-6
35	龍石寺人形の家 石塔群	龍石	室町～戦国	元の「龍石寺跡」に五輪塔や宝篋が点在している。何らかの御堂などがあつたと考えられる。彫刻は小型。五輪塔は2層は四角の宝篋印塔の遺構である。				5 H-6
36	牛嶋園地五輪塔	香々地 牛嶋		墓地の中に五輪塔群が点在している。				5 A-2
37	八幡社園集落	貞日 牛嶋	戦国	参道を入った所にある。宝篋上部を欠く。全体のバランスが悪いので、近所の園集落のものか。				5 A-2
38	新庄堂石塔群	貞日	鎌倉～戦国	園集落跡地に、宝篋の石塔と共に園集落と思われる反転蓋と五輪塔群が点在している。宝篋で文字を刻いた宝篋印塔の遺構 (宝篋) もある。				6 A-2
39	新川田園集落 五輪塔	香々地		園地の中に五輪塔が点在している。				6 A-2
40	樋ノ口園集落	貞日 樋ノ口	室町	園地の一角に園集落の遺構と五輪塔群が点在している。[文庫10年]の図は現状と異なっている。	文化10 (1476)	30	5 A-2	
41	大神宮下園地五輪塔	香々地	戦国～近世初頭	大神宮下の園地に一石五輪塔が点在する。				6 A-2
42	寺井家墓地五輪塔	香々地	戦国～近世初頭	寺井家墓地に五輪塔群が点在している。				6 A-2
43	樋ノ口園集落石塔群	貞日 樋ノ口	室町～戦国	園集落跡地の一角に園集落が立ち、その間に五輪塔が点在している。宝篋の山にある宝篋にも五輪塔が点在する。				30 6 A-2
44	叶渡園集落石塔群	香々地 叶渡	室町	園集落跡地に園集落と五輪塔群が点在しているが、園集落は背後の丘陵の中にあつたといわれる。		市指定 (国庫蔵)	30	6 A-2

番号	名称	所在地	遺立時期	概要	後継資料の年号	指定区分	参考文献	国指定番号
45	船丸神社石造群	船々地	戦国～江戸初期	船丸神社の基に石神が立ち、横の船丸家墓地には五輪塔が存在する。				6 A-2
46	今農家遺構	船々地 河津	新町	2段の階梯で、遺構を復元した土の盛りが美しい。下の土層には、横張瓦葺の盛り込みの中に四角の礎石を認む。		赤羽形	30	6 A-2
47	田中砥五輪塔	見目 田中	南北朝～室町	塔名を名とする足中郡に置かれている。火輪には四葉に梵字を刻む。				6 A-2
48	田中五輪塔群	見目 田中	戦国	遺構 やすみ形」と呼ばれる塔地に五輪塔が置かれている。胎かすと累りがあるという。			30	6 A-2
49	田中池遺構	見目 田中	南北朝～室町	田中五輪塔の裏にある田中池の跡に、半分ほど塔中に埋まっていた輪塔が立っている。水溜りとしての遺構も残るものか。				6 A-2
50	石町後堀五輪塔群	見目	戦国	輪塔や五輪塔などが石町地区に建てられているが、独立考古発掘調査時に比べ胎かすと累りが少ない。多くは中田の惣屋敷家墓地から移されたもの。			30	6 A-2
51	見目辰中系西室塚	見目	室町	塚の内に石室部が遺構されている。				6 A-3
52	宮庄徳備石塔群	見目	戦国	三方方角塔の裏りに石塔が築かれている。ほとんど近世のものだが、1点五輪塔が空風輪塔がある。				6 A-3
53	三安五輪塔群	見目 三安	戦国	田の一角に五輪塔が並べられている。			30	6 A-3
54	中山経途堂遺構五輪塔群	見目 中山	新町～戦国	経途堂北側の田の一角に五輪塔が築かれている。				6 A-3
55	中山経途堂石塔群	見目 中山	室町～戦国	経途堂境内に大仏の御堂跡が立ち、他に両面堂や五輪塔が置かれている。			30	6 A-3
56	三光寺石塔群	見目 片山	南北朝～戦国	三光寺境内に石塔が存在している。主に、東側に並べられている。		新編 国指定 要項	6	6 A-3
57	兼降北墓地石塔群	見目 兼降		日光寺遺構の裏に大仏の土、石塔が置かれている。また、大塔の少し上の墓地の一角に一石五輪塔が並べられている。				6 A-3
58	兼降南五輪塔群	見目 兼降		墓地の中に五輪塔がある。				6 A-3
59	坂本家墓地石塔群	船々地 周年寺	戦国	宝篋印塔を中心として、多くの石塔が立ち並んでいる。輪塔は小型で、堂塔は小型の基壇がある。		新編 国指定 要項	30	6 A-3
60	周年寺天満社五輪塔群	船々地 周年寺		安楽寺の天満社境内に五輪塔群が並べられている。大型の塔をきむ。				6 A-3
61	安楽寺五輪塔群	船々地 周年寺		安楽寺境内の一角に五輪塔が築かれている。船々地町では国指定塔身があるとなっているが、確認できなかった。				6 A-3
62	安楽寺入口石塔群	船々地 周年寺		安楽寺参道横に、国指定と思われる遺構と五輪塔が置かれている。国指定にあつたとされる国指定塔身と異なるものか。				6 A-3
63	中山摩積五輪塔群	船々地 周年寺		中山町の南に、一石五輪塔が2基ある。				6 A-3
64	五郎丸不動堂石塔群	船々地 五郎丸	戦国	不動堂境内に石塔が並べられている。国指定遺構は新の形が多く、よく似ている。五郎丸国指定と共通するものもある。			30	6 A-3
65	五郎丸墓地五輪塔群	船々地 五郎丸		東原からやや山に入った所にある墓地西側に五輪塔群が存在する。				6 B-3
66	竹田津家墓地宝篋印塔	見目 伏原	戦国～近世初期	竹田津家の墓地に立つ。胎輪下の隅化平圓形が形を呈する。		赤羽形	30	6 A-3
67	東野庵石塔群	見目 東野	戦国	東野庵境内に五輪塔や宝篋印塔がある。			30	6 A-3
68	堂園五輪塔群	見目 堂園	戦国	堂園家菩提寺の横に2基の五輪塔が立つ。			30	6 A-3
69	見目中山塚入口石塔	見目 三安	近世初期	塚の傍に立つ。塔身は瓦材。				6 A-3
70	見目川南墓地五輪塔	見目 堂園	戦国	塚の傍に1基の一石五輪塔が立っている。				6 A-3
71	徳丸園東塔	見目 徳丸	戦国	塔の横に塔輪の下半と堂基壇以下を欠く圓東塔と一石五輪塔が立っている。		天正2 (1574)	30	6 A-3
72	見目川南墓地五輪塔	見目		塚地の手前に水輪塔が置かれている。				6 A-3
73	堂園墓地五輪塔	見目 堂園	戦国	某家墓地内に五輪塔が1基ある。				6 A-2
74	見目水踏遺五輪塔	見目		水踏の裏に五輪塔が置かれている。				6 A-3
75	見目赤中塚群五輪塔	見目		赤中塚が立つ跡の墓地に、一石五輪塔1基がある。				6 A-3
76	見目塚田入口五輪塔	見目		塚田の入口に五輪塔群が置かれている。				6 A-3
77	見目長谷ゲートボール場五輪塔	見目 長谷		ゲートボール場に五輪塔が置かれている。				6 A-3
78	一ノ瀬家菩提堂石塔群	見目 一ノ瀬	新町～戦国	菩提堂の裏に、石塔群が並べられている。			30	6 A-3
79	見目佐藤家墓地五輪塔群	見目 長谷	戦国	塚内に石塔群が点在している。				6 A-3
80	長谷寺五輪塔群	見目 長谷	戦国	長谷寺の裏の一角に五輪塔が築かれている。				6 A-3
81	御堂石塔群	見目 御堂	戦国	御堂遺構センター前に、石塔が並べられている。自陣は2基のみ。以前はさらに国指定2基があったが、国指定国費付田舎の区画に写されている。			30	6 B-4
82	カランパズ母塚五輪塔	見目 御堂	室町	パズ母塚に五輪塔が置かれている。あまり風化していないので、磨崖塔だったものか。磨崖塔。				6 B-4
83	円通庵南塔	見目 中	戦国	円通庵の境内に輪塔を欠く圓東塔が立っている。			30	6 B-1
84	橋本邸前五輪塔	見目 小内川	戦国～江戸初期	遺跡の石塔の上に五輪塔が置かれている。				6 B-1
85	小内川墓地五輪塔群	見目 小内川		墓地の西外れにある墓地の中に五輪塔が存在している。				6 B-2
86	小内川五輪塔群	見目 小内川		沼津川に架つた遺跡に一石五輪塔が2基が置かれている。				6 B-1
87	秋成五輪塔	見目 秋成		沼津川に架つた遺跡に五輪塔群が置かれている。				6 C-1
88	秋成御堂石塔群	見目 秋成	室町	御堂境内の御堂の中に、新編と五輪塔が置かれている。堂塔の輪塔は大型で、国指定のものか。また、塚の裏にも五輪塔がある。				6 C-2

番号	名称	所在地	成立時期	概要	在籍料 の番号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
88	池海岸墓地五輪塔群	羽衣中		墓地の隅に五輪塔群が置かれている。				6 C-2
89	秋成墓地五輪塔群	河津 秋成		墓地の中に五輪塔群が築かれている。				6 C-2
91	琴平富士石塔群	上善々地	室町～戦国	琴平街道内の路傍に分けて分布する。石塔は数基に五輪塔や宝篋印塔形塔、小の石塔が混在している。①宝篋の塔に五輪塔、宝篋印塔、石塔、宝篋が築かれている。②宝篋西側の竹林中に五輪塔、石塔、丹土石塔がある。		30		6 B-3
92	早田御堂石塔群	上善々地 早田		早公後継廟の御堂に、宝篋の遺構と寶篋、五輪塔群が築きあがられている。宝篋は宝篋と習われ、宝篋(大塔)と宝篋(中塔)は別構体。				6 B-3
93	瀬野御供五輪塔群	上善々地 早田 前庭		塔の 向に宝篋と五輪塔群が築かれ、祀られている。				6 B-3
94	鹿屋敷上石塔群	上善々地 早田 前庭	室町～戦国	鹿屋敷の広帯に並ぶ御堂の傍に一基の一石五輪塔が築かれている。経緯には「アノ」の字を要する。				6 B-3
95	鹿屋敷御堂塔及び 五輪塔群	善々地 早田	南北朝～戦国	「鹿屋敷」と呼ばれる一角に大型の御堂(鹿屋敷)を中心とした3基の御堂や五輪塔が並んでいる。御堂は御堂と並びまたは併置できながったが、御堂の周囲によると五輪塔は30基以上ある。	西2 (1339)	30		6 B-3
96	早田天満社石塔群	善々地 早田	室町～戦国	早田の天満社に宝篋や五輪塔などがコンクリートで囲まれて並んでいる。				6 B-3
97	一丸石塔群	上善々地 藤子	戦国	丸石工であった一丸家の跡に石塔が並んでいる。				6 B-3
98	秋本御堂石塔群	上善々地 秋本	室町～戦国	秋本の奥にある御堂に十五仏を祀った宝篋と三尊御堂などがある。また、その奥の山越のところに御堂と呼ばれる御堂があり、中庭に石塔が並んでいる。			本誌 (1355)	6 B-3
99	下笠石塔群	上善々地 下笠	戦国～一次石塔	御堂の一角の境内に石塔が並んでいる。すべて塔の組みあわせは築かれていない。相違は御堂のもの。				6 C-3
100	教王寺石塔群	上善々地 下笠	戦国	教王寺境内に宝篋と宝篋印塔の群を築きあがった塔が立つ。				6 C-3
101	海蔵寺石塔群	上善々地 三角	室町～戦国、近 世石塔	境内に宝篋にある御堂に五輪塔の群が並んでいる。その後の境内には山女などの石塔遺構群、外には石塔十基の群がある。御堂の境内には石塔や大型五輪塔がある。門前の御堂には自然石塔が、門前には地蔵遺構2基がある。		30		6 C-3
102	川原寺宝篋	上善々地 洲上	室町	川原寺境内に立つ。塔の向は西、塔身が伸びる。		南南	30	6 C-3
103	志摩前廣地石塔群	朝来 今庄	戦国	志摩前廣地の境内にある御堂の入口付近に五輪塔がある。宝篋は宝篋の遺構を良好に残す。				6 C-1
104	長谷寺石塔群	朝来 長ノ平	南北朝～室町	三小中学校校庭を跨る丘の上に長谷寺境内に、三小塔や宝篋、宝篋印塔などが建てられている。宝篋印塔は別の塔の遺構の可能性がある。		30		6 C-1
105	御木原五輪塔群	朝来 中村		御木原の境内に五輪塔群が築かれている。				6 D-1
106	寶篋寺五輪塔群	朝来 中村	室町	寶篋寺境内の一角に一石五輪塔が並んでいる。				6 D-1
108	中村地蔵堂石塔群	朝来 中田	去来～一次石塔	地蔵堂に宝篋印塔や御堂などが築かれている。石塔は宝篋印塔。		南南 宝篋印	30	6 D-1
109	講五輪塔群	朝来 講	戦国	妙法蓮華寺から川津まで南側の境内にある宝篋印塔と五輪塔と宝篋印塔の群が並んでいる。五輪塔とした中に宝篋が混在している。				6 D-2
110	妙法蓮華五輪塔群	朝来 講	戦国	妙法蓮華寺に五輪塔群が築かれている。				6 D-2
111	比呂下石塔群	小畑 比呂下		境内川に向かって並びつる小さな五輪塔群(水源地水篋あり)に、多くの五輪塔が並んでいる。塔に並んでいるものもある。				6 E-2
112	梅村石塔群	小畑 古吉	室町～戦国	梅村(「梅村寺」の前身の梅村と書かれる場所)に、小型の宝篋や五輪塔が築かれている。梅村寺の宝篋印塔はここから離れたものといわれている。				6 D-2
113	梅松寺石塔群	小畑 大平	室町期	市有りの宝篋印塔は小字「古吉」の梅松村から持って来たもの。塔には他に五輪塔がある。		南南 宝篋印	30	6 D-2
114	梅子地蔵堂印塔	羽衣 遠ノ尾	戦国	宝篋印塔の群が2基分散している。				6 D-2
115	秋葉社石塔群	小畑 赤池	室町～戦国	秋葉社境内に、さらに社殿裏の丘の上に3基の石塔がある。			30	6 E-2
116	秋葉社横断地石塔群	小畑 赤池		秋葉社の境内に五輪塔群が並んでいる。				6 E-2
117	五家寺石塔群	日野 横山	室町	五家の境内に一石五輪塔が、本堂裏に五輪塔群がある。また、境内にある石塔群は宝篋三尊堂(宝篋下式)は宝篋のもの。				6 E-2
118	小門家地蔵堂印塔	日野 横山	戦国	五家寺入口の宝篋印塔に宝篋が並ぶ御堂、御堂の北側に形り屋敷の中に地に五輪塔を並べあがっている。もうひとつ小門家の塔が「大塔」として建てられている。	天文18 (1549)	南南	4	6 E-2
119	小門家宝篋下五輪塔	日野 横山	戦国	小門家御堂がある丘下の境内に五輪塔が並んでいる。				6 E-2
120	久保堂宝篋印塔と 周辺の石塔群	日野 久保	戦国	宝篋印塔のある丘陵上に宝篋印塔がある。宝篋印塔と宝篋印塔の一段下の塔、あるいは宝篋印塔周辺の石塔が並ぶ。				6 F-2
121	横山御堂五輪塔	日野 横山	戦国	御堂境内に五輪塔群が築かれている。				6 F-2
122	山口御堂堂石塔群	日野 横山		宝篋印塔に宝篋と五輪塔の群が置かれている。				6 F-2
123	山口御堂堂上石塔群	日野 横山	室町～戦国	宝篋印塔の上にある塔の一角に石塔が並んでいる。				6 F-2
124	横山御堂堂石塔群	日野 横山	室町～戦国	宝篋印塔から見る境内の上、多くの五輪塔がある。多くは宝篋印塔の塔、宝篋印塔の塔の遺構から認められる。境内には御堂の遺構も残っている。		30		6 F-2
125	越路五輪塔群	上善々地 越路		越路の境内に五輪塔がある。宝篋印塔とした中に宝篋印塔のものもある。				6 D-3
126	日枝神社境内地蔵 石塔群	上善々地 長小野	戦国	広い宝篋の一角に小型の宝篋や御堂などの中に石塔が並んでいるところがある。御堂は御堂を欠く。一石五輪塔の つに宝篋と石塔もたっている。				6 D-3
127	椿ノ木五輪塔群	上善々地 長ノ木	室町～戦国	本堂裏に2.5m×4m程度の宝篋の南側の土の上に石塔が並んでいる。ほとんどが後の塔の形を欠きと考えられる。		30		6 D-3
128	日枝神社境内地蔵 石塔群	上善々地 長小野	南北朝～室町	日枝神社境内に宝篋印塔が並んでいる。塔身2つと境内に置かれている塔は2つは塔の形を欠く。		30		6 D-3
129	大方御堂境内および 石塔群	上善々地 長小野	室町	平安時代に建てられた御堂のあった場所に立つた御堂塔は、今は倒壊している。境内に五輪塔群が並んでいる。			30	6 D-3
130	東宮寺境内地蔵石 塔群	上善々地 芳井	南北朝～室町	北宮寺の境内にある石塔の周辺、およびその南側の丘陵上に多数の石塔が点在している。				6 D-3
131	今井御堂宝篋印塔 石塔群	上善々地 長小野	戦国	山中の境内のある平場に宝篋印塔2基、2層と一層の群が並んでいる。境内には宝篋の境内に宝篋、宝篋、宝篋印塔と宝篋印塔と宝篋印塔がある。		本誌 (1500)	30	6 D-3
132	くも窟御堂地蔵石 塔群	上善々地 石仏	平安～鎌倉	江戸時代の御堂を祀る御堂の跡に置かれている。自然石(高さ70cm)に境内の御堂の跡を浮き彫りにする。				6 D-3

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍料の 年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
133	楢原家墓地石塔群	上野ヶ池 野上ノ平	長小 延暦一統	中山家墓地の中や上集にある墓地に、大塚宮東遷遷を初めとした中世石塔が多数建てられる。			30	6 D-3
134	中山家園地石塔群	上野ヶ池 野上ノ平	長小 貞和～近江初統	長小野の奥家と竹田川を挟んだ反対側(西側)の山腹にある中山家園地に、園地境が成立立。1層は基壇下部に蓮華形が立つ。			30	6 D-3
135	大山坂社五輪塔	高 前田	室町一統	大山坂社の石垣に並んで一石五輪塔が建立されている。				E-3
136	前田家徳弘前庭石塔群	高 前田	建永～正徳	高前山から入ったつらみ、ある庭面に小さな辺の石を4層の形取り、中に人物像を浮き彫りにする。建永で(元禄九年)と記す。周辺に五輪塔や石塔がある。	元禄9 (1692)		6 E-4	6 E-4
137	奥前田五輪塔	高 前田	室町一統	あじ加賀内に五輪塔群が置かれている。			6 E-3	6 E-3
138	前田五輪塔	高 前田	室町一統	奥前田に宝珠形石塔が置かれている。塔身には小さく文字が彫られる。雲々塔形塔である。前田家墓所と見られる。			6 E-3	6 E-3
139	前田墓地石塔群	高 前田		薄刀塔群と並ぶ前田家墓所の墓地に、小型の圓形石塔や五輪塔などが存在する。			30	6 E-4
140	清盛寺跡石塔群	高 前田	戦国	清盛寺跡と並ぶ前田家墓所に宝珠形塔が置かれている。墓所のある山頂に石塔がある。			30	6 E-4
141	赤鹿園地石塔群	高 前田	南北朝	現在は大塚原跡に建てられているが、もとは赤鹿園(橋本)のあった「赤鹿」にあつたもの。薄刀塔群に併せ、基礎が細く、輪軸は豪華であるが、古形を持つ。			6 E-4	6 E-4
142	坊尾園地五輪塔	高 坊尾	戦国	坊尾園地跡に突き出した石に宝珠形石塔が浮き彫りされ、高前に五輪塔塔身が点在する。			30	6 E-4
143	中山山頂入口五輪塔群	高 坊尾		竹田川と西栗川に挟まれた丘陵の先端部に五輪塔がある。				6 E-4
144	道徳石塔群	高 坊尾	室町一統	道徳院跡に石塔群が置かれている。高前に五輪塔や小型五輪塔が置かれている。				6 E-4
145	新園地五輪塔・石塔群	高 坊尾	戦国一統	竹田川と西栗川の合流点に近い丘陵部に、円軸と薄刀の五輪塔(三層にわたる)と、基礎五輪塔が置かれ、その前庭に宝珠形塔(高麗石の華蓋があると思われる)や板石、五輪塔などが集中して建てられている。ただし、多くは破壊されている。	寛永10 (1662)	30	6 E-4	6 E-4
146	谷ノ原園地・鹿鹿園地石塔群	高 坊尾	南北朝～室町	谷ノ原の先陣の御社跡に併せて、2対の男女像と形相違を浮き彫りにする。横には宝珠形の石塔と薄刀塔がある。高前に五輪塔や宝珠形塔がある。谷ノ原の奥には建永で(元禄九年)と記す。周辺に五輪塔や石塔がある。	元禄9 (1692)	30	6 F-4	6 F-4
147	堂園地五輪塔	高 坊尾	室町一統	堂園地跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
148	勢ノ木園地五輪塔	高 勢ノ木	室町一統	勢ノ木の園地跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
149	日笠堂五輪塔	高 日笠	室町一統	高麗石の五輪塔1基、厚い石の石に6層が彫られる。高前に五輪塔や石塔がある。				6 F-4
150	坊中石塔群	高 日笠	戦国	坊中園地跡の南に、石塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
151	坊中野園地石塔群	高 日笠	戦国	坊中園地跡の南に、石塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
152	十邊石塔群	高 十邊	室町一統	十邊園地跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
153	高前馬場公園橋上園地石塔群	高 高前	室町一統	高前馬場跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
154	雲仙寺石塔群	高 高前	室町一統	雲仙寺跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
155	実相院石塔群	高 高前	室町一統	実相院跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
156	六所神社石塔群	高 高前	室町一統	六所神社跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
157	雲仙寺墓地石塔群	高 高前	室町一統	雲仙寺跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
158	影平堂五輪塔	高 高前	室町一統	影平堂跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
159	上坊中五輪塔群	高 高前	室町一統	上坊中跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
160	跡花園地石塔群	高 高前	室町一統	跡花園跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
161	鳩尾塔ノ本石塔群	高 鳩尾	室町一統	鳩尾塔跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
162	長原野五輪塔	高 長原	室町一統	長原野跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
163	松ヶ崎五輪塔群	高 松ヶ崎	室町一統	松ヶ崎跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
164	熊鷹公園入口園地五輪塔	高 熊鷹	室町一統	熊鷹公園跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
165	志大波家園地	高 志大波	室町一統	志大波家跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
166	田の口五輪塔	高 田の口	室町一統	田の口跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
167	高前堂五輪塔石塔群	高 高前	室町一統	高前堂跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
168	高前堂五輪塔	高 高前	室町一統	高前堂跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
169	山神社五輪塔	高 山神	室町一統	山神社跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
170	古権堂石塔群	高 古権	室町一統	古権堂跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
171	西高寺園地石塔群	高 西高	室町一統	西高寺跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
172	西高寺跡石塔群	高 西高	室町一統	西高寺跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
173	多宝院堂五輪塔	高 多宝	室町一統	多宝院跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
174	田ノ口五輪塔	高 田の口	室町一統	田の口跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
175	山田家園地五輪塔	高 山田	室町一統	山田家跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4
176	野野山園地五輪塔	高 野野	室町一統	野野山跡に五輪塔が置かれている。高前に五輪塔や石塔がある。				6 E-4

番号	名称	所在地	造立時期	備 考	石積資料 の年号	指定 区分	参考 文献	指定 地区 番号
177	慶喜社石塔群	城前 下城跡	室町～戦国	寛永寺社の境内の一角に不揃いが並べられている。地元の人の話では、江戸の工事中にも出たものを、持ってきて並べたものという。				11-1
178	瀧前公園石塔群	西成玉 池畔		また瀧前市宝印瓦尾にあつたもの(別冊「有形」)を、正面の真上打に移植、並べたもの。後の講かたむせ堂の石塔の石。			赤石形 (宝印瓦)	11-1
179	三社稲荷堂石塔群と 五輪塔群	城前 下城跡	室町～戦国	神妙寺の稲荷堂に、寛永の宝印瓦が1層ずつ。その横や、お勢寺の並ぶに宝印瓦が多数ある。内、一石五輪塔の1層には、短期の宝印瓦が1層だけ並んでいる。			赤石形 (宝印瓦)	4
180	聚石神社石塔 五輪塔	城前 下城跡	室町～戦国	寛永寺社石塔の石が並べられている。この場所は、高麗堂を築いた場所であるという。				11-1
181	宮本五輪塔群	城前 下城跡	戦国	宮本堂地下や壁に五輪塔が点在している。				11-1
182	安野宮地五輪塔	城前	戦国	墓地の中に石五輪塔と五輪塔群がある。				11-1
183	東勝堂石塔群	城前	室町～戦国	東勝堂の境内に石塔群がある。稲荷堂は鎌倉と相模が良く伸びる。				11-2
184	西宮五輪内家石塔群	西成玉		片降跡にある堀内家墓所に稲荷堂と五輪塔群がある。			川島形 (高麗堂)	4
185	清台寺石塔群	城前	南北朝～室町	福清寺遺構の西側に宝印と宝印印塔(福清寺宝印塔)が立つ。その後には寛永(1層は宝印)や五輪塔が、さらに境内や長山に五輪塔がある。宝印は大體で造式である。			赤石形 (宝印)	4
186	城前フ子石塔群	城前	南北朝～戦国	清台寺東側の段中庭(稲葉で覆われた)や、からしん寺の境内の宝印塔で造られた石塔を1層間に集めている。宝印や大型の五輪塔、6層塔や3層塔、一石五輪塔などがある。五輪塔は宝印の上に立てたものもある(高麗堂)。				6
187	からしん寺と城前 遺跡石塔群	城前	室町～戦国	河津川に沿った高麗の間に幅約2.4mの礎を穿ち、内側に丸彫りの男女両面像を彫り出し、奥は佛身子を穿ち、縁部には宝印塔が並べられている。また、高麗で削ったものは、宝印の裏に埋め込まれ(40層?)なみ、五輪塔や宝印の裏に並べられている(福清寺)。出土石塔は城前フ子石塔群にある。				6
188	清台寺向かい墓壇 石塔群	城前	室町～戦国	清台寺向かい側に、ある墓壇の墓壇に石塔が並べられている。				8
189	第十字堂遺構墓壇と 石塔群	城前	南北朝～室町	清台寺向かいの墓壇の北首より高約90cmの高麗堂がある。その下や西側に、一石五輪塔や五輪塔群が点在する。向かいの墓壇もあったものだろう。				4
190	堀内家墓壇石塔群	城前	室町～戦国	清台寺向かい側の山脚にある墓壇に、及びを築いた一石五輪塔がある。				4
191	応龍寺石塔群	大高塚 小内内	鎌倉～戦国	応龍寺には本堂南辺、所有する宝印塔や石塔とされる一石五輪塔などの石塔群がある。特に本堂南辺に多く並べられている。			赤石形 (高麗堂)	4
192	堂の遺跡石塔	大高塚 小内内		高麗の穴と石塔や石塔に十玉や六地蔵などの宝印塔がある。			赤石形 (高麗堂)	4
193	応龍寺境内の石塔群、 宝印	大高塚 小内内		奥の所に高麗塔などの石塔群がある。宝印塔は以上で落下している。				6
194	上真玉小学校跡地 五輪塔群	東土 下東土		小学校跡地の裏にある西側に一石五輪塔や五輪塔群が点在している。早瀬が削り込まれており、向かいの墓壇があったものであろう。				4
195	中寺地蔵堂、 稲葉御碑と石塔群	東土 下東土		寺を少し入ったところの平塚の間に稲葉御碑、稲葉御碑と石塔を並べ、向かいの墓壇は稲葉の御碑を見る。また、南側には稲葉御碑や石塔などの石塔も多数ある。また、やや下った家の裏にも五輪塔群が見られる。			赤石形 (高麗堂)	4
196	堀の遺跡石塔	東土 下東土		東土堂境内に五輪塔群や一石五輪塔がコンクリートで覆われて隠れている。				8
197	身渡神社境内石塔と 宝印塔及び石塔群	東土	南北朝～室町	身渡神社境内の境内に「ナリ」の虎形を並べ、また、持石の石塔には二つの礎を穿ち、中に宝印塔が埋め込まれる。また、持石の石塔には大の宝印塔と宝印印塔が並べられている。遺跡に小型宝印塔の礎がある。				4
198	身渡神社東邊堂仏と 石塔群	東土 下東土	室町～戦国	遺跡地にある遺跡に、稲葉の石塔を埋め込み、中に宝印塔を埋め込む。中には宝印塔が埋め込まれておらず、宝印塔も埋め込まれておらず、宝印塔の礎を削りとした石塔が並べられている。				6
199	樽堂入口石塔群	東土	室町～戦国	樽堂入口の「一休庵」の境内に多数の石塔が点在している。仏められたものもあるかもしれないが、当初のものが多いであろう。また、樽堂の裏側に五輪塔がある。				6
200	慶堂五輪塔群	東土	高野～戦国	慶堂本堂前の堀に五輪塔が並べられている。				8
201	佛堂寺石塔群	東土	南北朝～室町	山門前に五輪塔や宝印塔が集められているが、多くは高麗の講かたむせ堂に欠けている。本堂前には宝印や宝印印塔、五輪塔が並べられている。				4
202	身渡神社石塔群	東土 上東土	南北朝	上東土の身渡神社本堂の裏と下土に大の宝印塔と宝印印塔の礎が点在している。				6
203	大杉堂石塔群	東土 上東土	南北朝～戦国	大杉堂境内にある御堂の境内に宝印塔などの中心石塔が点在している。宝印印塔は御堂を欠く。前記の遺跡。				8
204	小河川神社 宝印塔	東土 上東土	戦国	山神川階段下参道脇に立つ。宝印を欠く。扉前に宝印塔の礎を削る。	永正13 (1516)	高麗形		6
205	玉津山神社石塔群	玉津 志平区	南北朝	志平区13号境内にある玉津地区の山神社境内に五輪塔、一石五輪塔が点在。	建永4 (1341)			12
206	馬場御石塔	玉津 志平1区		志平町の日蓮道に、ある高麗の遺跡に石塔、御堂、御堂を欠く、並べられている。				12
207	長岡御石塔	玉津 志平2区	由北朝初	文政のよると、御堂と同じ形式の御堂と、二層塔で高麗の遺跡の講式が削り込まれた高麗。				12
208	法華寺石塔群	玉津 下町		法華寺境内にある法華寺の参道入口にある石塔や御堂に並ぶ。				12
209	中之原御石塔、 石塔群	新玉 中之島	南北朝	中之原御の境内に並べた石塔群。全て移されたもので、一部が中庭から持ち込まれたもの。特に1層に並べたものは1341の石塔は天守府参道跡の裏に所在したが、洪水で流出したと記述。	建永4 (1341)			12
210	高麗御手石塔群	城前 野地		高麗御の遺跡跡地にある高麗御の境内に点在する石塔群である。				12
211	本町2区集会所跡地	本町		川島川沿いの本町2区集会所跡地にある高麗御跡地である。				12
212	福南大明神社石塔群	福南		福南御本所中心の主要地方法蓮御本所跡地にある西に二層の御堂に並ぶ高麗御跡地にある。				12
213	野地石塔群	高麗 野地		野地地区内の御堂とその堀に石塔群がある。				12
214	正徳寺遺跡境内 石塔群	高麗 本町		正徳寺を削り、高麗の遺跡跡地に五輪塔、一石五輪塔が点在。				12
215	正徳寺境内石塔群	高麗 本町		高麗地区の寺である正徳寺の御堂と本堂南辺に五輪塔などの石塔が点在、石塔は高麗の石。				12
216	鶴林入金部地石塔群	赤松 赤松		鶴林寺の東北角にある近世墓壇内にある数々の石塔群。				12
217	三次堂遺跡 一石五輪塔	玉津 志平町3区		市街地の三次堂の敷地にある高麗御の遺跡と高麗の御堂に並ぶ。				12
218	長円寺の石塔	玉津 町上254		豊後高田市の中心街を南下する高麗の御堂の境内に点在。				12
219	草池遺跡 その五輪塔群	草池		草池の中に五輪塔群が点在している。中に、五輪塔を削いた高麗堂を穿ち取りしした高麗(高麗?)がある。再記は遺跡地。				12
220	高麗御地石塔群	東土	室町～戦国	高麗御の中に五輪塔群が点在している。中に、五輪塔を削いた高麗堂を穿ち取りしした高麗(高麗?)がある。再記は遺跡地。				12

番号	名称	所在地	建立時期	概 要	当該資料の 年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
221	春日神社五輪塔	津島 古城		春日神社境内に一石五輪塔が立っている。				12 A-7
222	西貴由石塔群	早川		西貴由系境内に五輪塔部材と非違(即来塔)の遺構群が散らかれている。				12 A-6
223	横野墓地五輪塔	横野 横野		墓地の中に空風輪が散らかれている。				12 B-9
224	近広共興墓地石塔群	近地		墓地入口の六柱墓域に宝篋印塔や五輪塔が散らかり、墓地内の一帯に五輪塔部材がまばらに立っている。				12 B-6
225	海神社石塔	早地		海神社境内に経緯(約10m、w=44cm)が立っている。				12 B-6
226	安部郡橋五輪塔	早地 若浜		安部郡の橋に空輪が置かれている。				12 B-6
227	早地墓地その2石塔群	早地		早地の入口に石塔部材が並べられている。空輪は宝篋印塔に集めている。				12 B-7
228	早地下野郡五輪塔群	早和 下野郡		下野郡集落の中央部の十字路近くに見える。近世の可能性強い。				12 C-6
229	貴布栲神社石塔群	美和 美和		神社境内と裏手の畑の中に埋没しているのを見える。				12 C-6
230	伊東園氏北石塔群	美和 美和		美和の丘陵上から南の水田部へ下る急坂の右手の土手の上にある。近世の漢字碑など立つ。				12 C-6
231	善寺寺石塔群	早和 上野郡		善寺方面の五輪塔を中心とした石塔群。一部近世を含む。				12 C-6
232	善寺石塔群	早和 上野郡		善寺方面善寺の境内に立ち並ぶ石塔群。南の道沿いに経緯が4基並ぶ。				12 C-6
233	上野郡山神社境内 石塔群	早和 上野郡		早和の水田部を貫下する五輪の石塔群にある山神社境内に横並びで建てられている。				12 C-6
234	野守田重徳石塔 石塔群	早和 野守/下 1004号地	高野一高野	野守田重徳石塔を模した石塔の周辺に五輪塔などが散らかり、重徳石・重徳石・重徳石は集落の間に並ぶ。	戦後(1949) 昭和41(1966) 平成1(1990) 天下(1996)		豊後志 市存続	12 D-7
235	雲阿弥陀院阿弥陀院 石塔群	早和 雲	高野一高野	集落の外れにある阿弥陀院境内に石塔阿弥陀院が安置されている。雲阿弥陀院の境内に集落がある。				12 C-7
236	藤甲家墓地石塔	早田	藤岡	早田の丘陵上にある藤甲家の墓地内に宝篋や五輪塔が点在。	天正6 (1578)			12 C-7
237	松田石塔群	早田		文禄19の分布図に宝篋、五輪塔が点在と記載。埋没品のため未確認。			19	12 C-7
238	虎崎社五輪塔群	早田		早田川沿いの早田の集落を南に見下ろす五輪上の神社の境内に散見。				12 C-7
239	北崎家墓地石塔群	早田 藤岡田		文禄2の分布図に宝篋、早田川沿いの水田を南に見下ろす五輪上の神社の境内に点在。				12 B-8
240	北崎氏御前宝篋印塔	早田 八坂神社下		北崎氏の墓先に宝篋印塔の塔が点在する。				12 C-8
241	八坂社石塔群	早田 八坂神社 牛瀬	藤岡	八坂社参道の石塔の参道に並んで置く。宝篋に非違。	天文8 (1539)			12 B-8
242	藤岡堂石塔群	早田		藤岡堂の裏手の山林の中に一新採掘しなが多数点在。				12 B-8
243	寺ノ上藤岡堂石塔群	早田 寺ノ上5号地	藤岡	藤岡堂の裏手の山の上に宝篋が点在している。早田川沿地であった藤岡氏の墓所と見られ、「藤岡」の遺構がある。	天正10(1582) 天正11(1583)		本有記	12 B-8
244	藤岡氏墓域(妙賢寺) 石塔群	早田 妙賢寺		妙賢寺本堂西側の墓域内に点在。藤岡氏の墓所。藤岡堂の宝篋と礎石部も存在。				12 C-8
245	妙賢寺石塔群	早田 妙賢寺		妙賢寺(藤岡氏)境内に点在。藤岡堂は、早田の山に集落があり、宝篋の南に宝篋印塔の塔が点在。				12 C-8
246	藤地石塔群	早田		藤地境内に宝篋の塔があり、その周辺に石塔を散見。宝篋部は移動した可能性が高い。				12 C-8
247	野守田重徳石塔群	早田 藤		野守田重徳の境内に点在。周辺は宝篋部を築地。				12 C-8
248	藤岡船社の石塔	早		藤岡地区の藤岡船社の社殿の石塔下に点在する石塔の残欠。				12 C-8
249	東見塚家墓地 五輪塔群	早		文禄19で藤岡家、一石五輪の報告があるが、五輪塔12基分の内蔵は一石五輪塔。現状は墳墓、土塔、石塔遺構で確認できず。			19	12 C-8
250	大聖賢寺境内石塔群	早田 北部		藤岡堂、安部郡沿いにある大聖賢寺の境内に石塔群が点在。				12 D-5
251	徳島地主人堂境内 石塔群	早田 早田		徳島地主人堂境内にある徳島地主人の近世墓地内に五輪塔の空風輪を主体とした石塔が複数。				12 D-5
252	北の辺遺構石塔群	早田 北の辺		北ノ辺地区の遺構集落の徳島地主人の墓地の境内に宝篋を刻み並ぶ塔を置く。				12 E-5
253	善寺寺石塔群	早田 南野		善寺寺の集落と境内に分かれてある。周辺は宝篋部集落が点在してあり、宝篋の石塔群はその跡に出土したものを集落。境内の石塔群は集落の跡と想定。				12 E-5
254	古高野前入会館境内 石塔群	早田 早田		古高野の遺構集落に入会館境内に点在する。				12 D-6
255	早田石塔群	早田 中央部		藤岡地区の藤岡北側の藤岡沿いに石塔群が点在し、立ち並ぶ。				12 D-7
256	早田寺石塔五輪塔群	早田 早田		早田寺境内石塔群の集落を挟んで北部の竹林の中に石塔があり、宝篋と宝篋の塔。近世の山形、形にも宝篋の塔が点在。				12 D-7
257	早田寺境内五輪塔 石塔群	早田 早田	藤岡	文禄19に早田寺境内に宝篋、宝篋印塔等境内に宝篋と宝篋の塔(近世)に宝篋と宝篋が点在と記載。	天文2(1556)		19	12 D-7
258	早田寺境内集落 石塔群	早田 早田	早田	早田寺と山神社の境内に宝篋などの石塔が立つ。宝篋の遺構には経緯用の塔がある。				12 D-7
259	大村山福徳寺 宝篋印塔	早田		文禄19に大村山福徳寺境内に宝篋の宝篋を刻み並ぶ宝篋印塔が1基と報告。			18	12 F-6
260	安部郡石塔群	早田 丸山		丸山地区の安部郡の早田に宝篋印塔を基上部に宝篋2輪塔を基上部に設置。				12 E-6
261	丸山三叉路石塔群	早田 丸山		丸山地区の集落境内の三叉路の集落にあり。				12 E-6
262	早田前入口 石塔群	早田 西川		早田の早田丸山に宝篋沿いの西川集落の境内にある宝篋の塔に立つ。				12 F-6
263	光門家墓地境内 石塔	早田 西川		光門家の墓地境内に宝篋の塔が点在。				12 F-7
264	河内保良園家集落 五輪塔	早田 大村下		河内保良園の集落境内に宝篋と宝篋の塔にあり。				12 E-7

番号	名称	所在地	建立時期	概要	古記録の 年号	鑑定 区分	参考 文献	国 庫 地 籍 番 号
265	唐ノ御堂石塔群	小田原 下平	鎌倉~室町	唐造地蔵小田原縁道の石塔の入口がある。小田原の石塔を成し、見下ろす御堂の周辺に、巨大な瓦葺きと石塔を中心に、五輪塔が散在する石塔群。御堂は陶板・窓の一の欠損・屋根を欠く。窓は内側に、通ると思われる地蔵像2体が残る。	延慶3 (1310)	彫刻形 塔形有		12 C-9 12 E-12 12 E-8
266	白鳥神社境内石塔	小田原 寺田		寺田地区の桂川沿いにある白鳥神社の境内に立つ。群石塔遺構。				12 E-8
267	内野入籠地内五輪塔群	小田原 内野		小田原の内野地区を見下ろす入籠地内に点在する。				13 E-8
268	淨国寺境内石塔群	小田原 上村		主要地方遺跡後鳥羽院東縁段に上り集積して大きくカーブする遺構内にある浄国寺境内や附近に点在する。				12 E-8
269	下黒土段南端石塔群	黒土 下黒土	室町	段で崩れ残された段段上にコンクリートで囲められて並べられている。				13 A-3
270	福貴庵屋仏	黒土 下黒土	南北朝	黒土川の下流にそそり立つ小高い山頂の中心のテラスに遺構がある。全て深い彫りで不彫刻ノ、六脚舎、六地盤、豊妙門などを含む。		史跡史	4	13 A-3
271	瑞雲寺石仏・五輪塔群	大川 瑞雲寺		朝倉御簾屋敷には後に集った首領層を中央に準体丸彫りの石塔を安置する。南東の入口には一石五輪塔を中心とした石塔群がある。				13 C-1
272	慶雲寺跡石塔群	築地		慶雲寺(舊瑞雲)跡で、又新10に五輪塔群は境内、唯跡の南西を欠く因襲塔は門前の遺構にあると記述。寺址は寺塔が現存し、崩壊しています。				13 C-1
273	入倉入籠地五輪塔群	大川		入籠地跡の小田原御堂で御堂川に五輪の北西側に下りる深谷の北側御堂の近世遺構内に点在。歴史に遺没するが9世紀頃と推定。				13 C-1
274	崇法寺石塔群	大川		大川の肥後寺の境内に石塔群が散見。関東風の石塔と屋敷・中層部分も存在。この遺構群と大きさが異なる石塔塔部もあり。				13 C-1
275	保本宅石塔	大川		保本宅跡小田原縁道の橋本邸の跡後に散見。				13 C-1
276	河野宅石塔	大川		唐造地蔵小田原縁道の河野邸の入口周辺に散見。				13 C-1
277	十王岩屋石仏・五輪塔群	大川		御堂川に合流する日平川にかかる唐造地蔵小田原縁道の土境の上にある十王陣内とその境内に点在。				13 C-1
278	南持庵石塔群	大川	室町~戦国	大川の河口付近から西に丘陵の中腹を流る川筋沿いに地帯群がある。石塔はそれの形に成立し、集積する。南端は土壁を築き、橋脚は八角塔型。	天永3(1396) 天正9(1581)			13 C-1
279	出口五輪塔群	大川		文獻19に高度の美形の並立に五輪塔部分と記述。現在は唐造段中層木葺き塔のため確認できず。		19		13 C-2
280	八幡宮遺跡唐塔	新緑		田原邸の遺構と反瓦も瓦葺利用し、神社の拝殿跡の半水塔として存在。				13 B-1
281	松行田遺跡	松行		文獻19の分布図で御堂八幡社の東北方内の山中で確認されているが、現在は唐造で確認できず。		19		13 B-1
282	金宗院跡石塔群	松行 金宗院		大友氏の家屋で、彫石を築成とする武弘氏の遺構群。本堂は唐造遺構し、石塔物のみ残る。				13 B-2
283	テウ五輪塔群	松行 堀ノ内		龍皇寺遺跡地の北流岸に点在。残存はなく、焼欠が散見。				13 B-2
284	龍皇寺園跡の石塔群	新緑 堀ノ内		龍皇寺高院の基壇地蔵小田原縁道を併せて南側の水田の畔に並ぶ石塔の群を成す。				13 C-2
285	花ノ木園唐塔	長谷庄 花ノ木		文獻19に、豊後川川北側の山中に立地。1層は前輪欠と記述。樹木茂密のため確認できず。		19		13 B-2
286	福田園跡五輪塔群	長谷庄 福田		福田園は唐造遺跡完成の中央。現在は竹丛中で石塔の彫りが残されている。文獻19に彫りは唐造を意味し和彫りするが確認できず。				13 B-3
287	仏堂坊跡五輪塔群	長谷庄 石川		文獻19に天永寺二塔の仏堂坊跡と記述。遺構は唐造段中層木葺き塔に石塔がある。		19		13 B-3
288	天念寺石塔遺跡	長谷庄 下長谷庄		天念寺南の長谷川川沿いにある西御簾屋敷と遺跡の間に点在。				13 B-3
289	若竹石塔群	長谷庄 若竹		唐造の天念寺跡に隣り唐造と唐造跡小田原縁道の交差点の北側に点在。塔に覆われ、さらに多く遺構の可能性あり。				13 A-3
290	西の坊跡五輪塔群	長谷庄 下長谷庄	戦国	文獻19にて天念寺十二塔の西の坊ノ坊跡で、遺構に面した塚跡に、三塔の形跡とした仏堂に約5m、天正8年の年紀と5mの法名が彫刻されたものと、西側の仏堂の跡のみと記述。今後発掘のため確認できず。	徳永5(1627) 天正5(1580)	19		13 A-3
291	門の坊跡五輪塔群	長谷庄 下長谷庄		天念寺二塔内ノ門跡遺跡で、材料内に五輪塔の彫りが散見。草木繁茂のため、不彫刻も残り。確認された点跡以上が確認。				13 A-3
292	川中不彫塔	長谷庄 上長谷庄	室町	唐川川の石仏に不彫刻王を中心に約400個の石塔・彫り遺構の三塔が群れる。				13 A-3
293	大洞坊跡五輪塔群	長谷庄 下長谷庄 大洞		文獻19に天念寺十二塔の大洞坊跡に類似し残されている。遺構は唐造五輪塔群。下側に石塔があるも確認。		19		13 A-3
294	南流地蔵小田原縁道石塔群	長谷庄 下長谷庄		長谷川跡小田原縁道の北端。天念寺の惣寺塔の跡に立つ。上層中に発見されたもの。				13 A-3
295	妙法坊跡唐塔	長谷庄 下長谷庄		文獻19に天念寺十二塔の妙法坊跡。遺構は唐造段中層木葺き塔に5mの年紀や法名を彫刻し記述。山林中では確認できず。		19		13 A-3
296	二本坊跡五輪塔群	長谷庄 下長谷庄		文獻19にて天念寺十二塔の二本坊跡で、五輪塔部分、内3層(3層)が一石五輪塔。宝篋印塔部分の残欠。身持層部分と報告。草木繁茂のため確認できず。		19		13 A-3
297	天念寺本坊石遺構群	長谷庄 下長谷庄	室町	橋本邸に付いて寺の遺構に自ら寺塔が彫刻あり、その前に五輪塔と記述で残されたものも残り。文獻19には唐造と記述。石塔、一石五輪塔、唐造石塔群を並べたものが、彫刻の不彫刻石塔以外には確認できず。	建武5 (1338)	彫刻形 石塔		13 A-3
298	唐造石塔石塔群	長谷庄 下長谷庄		文獻19に唐造遺跡の石塔群と記述。唐造塔の痕に位置するが今も確認できず。				19 13 A-3
299	丹波館跡唐塔・五輪塔群	長谷庄 下長谷庄 丹波館	室町	文獻19に天念寺十二塔の丹波館跡に面し並び残ると記述。	建武6 (1339)	彫刻形		19 13 A-3
300	龍門院跡の唐造印塔	長谷庄 下長谷庄		文獻19に唐造遺跡の唐造塔と記述。内層唐塔・唐造の奥に点在するが、確認できず。				19 13 A-3
301	慶法寺跡唐造印塔	長谷庄 下長谷庄		天念寺十二塔のひとつ慶法寺跡地蔵。小堂内に木彫仏を中心に石仏4体の並び、両側の石仏が半円形。周辺は文獻19の遺構群から推定され少量は確認。				13 A-3
302	龍造坊跡石塔群	長谷庄 下長谷庄		文獻19に天念寺十二塔のひとつ龍造坊と記述。長谷川川に架かる唐造遺構の南端で、月ノ口石塔の遺構は、山林の中では確認できず。				13 A-4
303	田口石塔	長谷庄 上長谷庄		文獻19に長谷川川の南端。唐造塔の痕と記述。彫刻の独特のため確認できず。				19 13 A-4
304	一ノ五輪塔	長谷庄 一ノ五		文獻19の分布図に唐造地蔵小田原縁道にて確認されているが、現在は唐造で確認できず。				19 13 A-4
305	惣九家郷地五輪塔群	長谷庄 一ノ五		文獻19に唐造地蔵小田原縁道の惣九家郷地内に確認されているが、現在は唐造で確認できず。				19 13 A-4
306	大洞石塔群	新緑		主要地方遺跡後鳥羽院東縁段に、唐造と唐造に築かれた唐造塔と唐造の唐造印塔の並立一石五輪塔の石遺構群。				13 C-3
307	仏願寺五輪塔	新緑		仏願寺を囲む北西の土手跡地に立つ大型の一石五輪塔。				13 C-3
308	新緑入倉入籠地西側五輪塔群	新緑		新緑地区の近世御簾屋敷の北側跡地に形成される。その中でも西側の遺構群内に点在する五輪塔群。				13 C-3

番号	名称	所在地	建立時期	概要	石積調査 の番号	指定 区分	参考 文献	現地 調査 番号
309	新堀入会墓域 五輪塔群	新堀		新堀の長教寺前の斜面にある古墳群の中に点在。				13 C-3
310	長安寺九文代助 石塔群	新堀		石塔群は本堂西側の墓手の崖。本堂前の石塔は文暦5に1970年代に長安寺の墓山口から移設と云ふ。		5		13 C-3
311	高田新堀 石塔群	新堀		主要東方遺構を福寿院境内の日蓮道の埋没遺構跡部にある一石五輪塔と推定。				13 C-3
312	本田家五輪塔群	加礼川		長安寺北側の巨匠築石に算まれた本田家の墓境内に点在する石塔群。新堀入会墓地の赤に属する。西塔は春日社遺構を移設か？				13 C-3
313	春日社遺構	加礼川		春日社境内には赤塔群。本田家五輪塔群内にコンクリートで覆われた石塔があり、1989年以降に移設？。				13 C-3
314	鶴入会墓地東崖 石塔群	加礼川 鶴		文暦19に彫刻に優る孤塔。2階塔を移設と記述。今回は遺構を特定できず。				13 C-3
315	新堀川から 石塔群	大力 新田		新堀川から新田川に視上上げた。長堀の北側斜面に点在する石塔群。				13 C-3
316	散田五輪塔群	大力		伊田神社下。豊後東の北部に大量の五輪塔が散在。調査整備は明らかに本堂にあったが、調査位置に移設。転写は3階の石塔。				13 C-3
317	長安寺参道入口 石塔群	加礼川 彦山		長安寺参道の入口の高岡周辺の石造物群。近世か？				13 B-4
318	長安寺谷の坊跡 石塔群	加礼川 彦山		彦山地区入会墓地に湧出る山津川河口に石塔群が散在。遺構整備の影響で、文暦19の塔群は不詳。				13 B-4
319	長安寺オト野塚塔群	加礼川 彦山	近世移築	長安寺参道の石塔の上同じ年代初の移築の塔群を多数数築立。	歴長15 (1610)			13 B-4
320	長安寺千歳坊 五輪塔群	加礼川 彦山		文暦19千歳は長安寺未明と記述。石塔に浮彫五輪塔。今回は立ち入りせず。				13 B-4
321	長安寺引寺跡 宝篋印塔群	加礼川 彦山		長安寺参道北側に造成された長安寺本願寺と指定される平塚塔に属する。				13 B-4
322	長安寺外園五輪塔群	加礼川 彦山		文暦19に長安寺北方100mの園道端と記述。社の塔は北は現在延喜寺遺構 聖徳になっており、確認できず。また、長安寺の北側にある社跡を覆う下層の入口には2階あり。転写は3階の石塔。	19			13 B-4
323	長安寺六所権理 国庫塔	加礼川 彦山	鎌倉末～南北朝	長安寺の上流にある六所権理社の境内に立つ。完全形であるが、塔身の下は花崗岩のみで、塔冠を欠く。	奥有形			13 B-4
324	長安寺社東端の 浮彫五輪塔群	加礼川 彦山		長安寺の北側にある社東端の本堂前の石塔の南側に浮彫五輪塔と石塔がある。田楽の安室守と大石の参道にも見られる同様の塔あり。塔群には遺構の礎石。				13 B-4
325	長安寺六所権理参道 五輪塔群	加礼川 彦山		長安寺本堂北側の六所権理社に隣り参道周辺に一石五輪塔が点在。文暦19に三輪塔14部分とあるが確認できず。				13 B-4
326	長安寺本堂跡石塔群	加礼川 彦山	戦国	長安寺本堂の北側に並ぶ完全形の石塔群。宝篋印塔に転写して転写。	正中2 (1564)	奥有形 (宝篋印塔)		13 B-4
327	長安寺彦山入会墓地 五輪塔群	加礼川 彦山		長安寺下の彦山地区の朝陽の麓に入会墓地があり、その中に五輪塔群が散在。				13 B-4
328	琴の組石塔群	樽ノ木 琴の組		琴の組集落の上にある近世集落内に点在。				13 D-3
329	琴の組一石五輪塔	樽ノ木 琴の組		文暦19の分布図には宝篋印塔とあるが、現状は移築品で一石五輪塔が遺構立つ。	19			13 D-3
330	日本兼光寺 石五輪塔	新堀 甘木		主要西方遺構を新田町集落にある甘木集落の中央にある兼光寺跡にある一石五輪塔。				13 D-3
331	阿形家塔群と宝篋印塔	新堀 甘木		甘木集落の東北部にある阿形家の集落の田舎の奥に宝篋印塔と石塔が並び立つ。				13 D-4
332	姫塚五輪塔群	新堀 白塚		新田川に伝説で元禄徳文所伝の彦山山腹に塚に一群をなすと記述があるが、山の北斜面に僅かに僅かに20mの範囲に石塔の群が点在する。				13 D-4
333	百々塚五輪塔群	新堀 百塚		文暦19に伝説五輪塔群の彦山山腹に五輪塔群が点在すると記述。地盤調査と計測によるためかなり推定できず。	19			13 D-4
334	グランド石塔群	樽ノ木		新田川から新田町集落山津川の又川橋の南端、河原町の前の新田町に点在する石塔群。				13 D-4
335	ザラし両面塔群	樽ノ木 樽	鎌倉末～南北朝	長崎町山津川沿いに立つ舟形両面塔群。安山石製で、両面に3文字の梵字が刻まれる。遺跡工事に伴って本来の場所から少し動いている。	奥有形			13 D-4
336	標の岩上五輪塔	樽ノ木 樽		集落内の巨岩の上立つ。				13 D-4
337	大跡堂石塔群	樽ノ木 樽		新田町山津川沿いの大跡堂から散在する。遺構品に五輪塔・宝篋・宝篋印塔がほとんど立つ。また小石塔の遺跡跡り遺し上にも五輪塔と五輪塔群。現状は遺跡改良工事で変質している。2階の石塔群。				13 D-4
338	彦山神社宝篋印塔	樽ノ木 樽		文暦19に山神社の参道沿いにありと記述。山内化して推定できず。				13 D-4
339	山口古石塔群	樽ノ木 樽		長安寺の外。西ノ宿定地に散在。自然石による墓域上に五輪塔3群を中心として五輪塔・石塔が点在する。文暦19では中央の空石塔を欠く五輪塔に梵字を採り出し、2階に大石塔を並べると記述。				13 D-4
340	ヤゴロウ塔群	樽ノ木 樽ノ宿		西ノ宿地区の西側を流れる利川の西に南端に点在した本宮が点在。この本宮を覆う遺構の石塔に彫刻があり、彫刻で彫られ、散在している。				13 D-4
341	樽ノ宿北崖石塔群	樽ノ木 樽ノ宿		樽ノ宿集落の西側の谷を穿った地形にある集落の周辺に石塔群が点在。				13 D-4
342	樽ノ宿入会墓地 五輪塔群	樽ノ木 樽ノ宿		樽ノ宿地区の奥にある近世集落内に点在する。				13 D-4
343	中州の山五輪塔群	樽ノ木 樽ノ宿		樽ノ宿集落の西側の谷を穿った位置にある小山の山頂部。五輪塔群が塔群に集まっている。石塔は墓域のみ。				13 D-4
344	樽ノ宿塔群	樽ノ木 樽ノ宿	南北朝	樽ノ宿集落の西側の谷に石塔があり、その参道沿いに二階塔群1層と石塔群2層がある。旧塔は近年使用されておらず。参道は山内川。二階塔群の梵字は鎌倉である。二階塔群は新田町集落。	正中2 (1326)	奥有形		13 D-4
345	河野家遺構 五輪塔群	樽ノ木 樽ノ宿		樽ノ宿集落の南側。文暦12に樽ノ宿集落の中世葬と記述。山内化して推定できず。				13 D-4
346	通船寺跡五輪塔群	加礼川 中平	戦国	文暦19と文暦26に彫刻があり、入口の無縁塔に文暦55の年号。高岡が築かれる位置に立つ跡の集落跡を築ると山林の入口。	天正5 (1577)	19-28		13 C-4
347	中平一石五輪塔	加礼川 中平		高田町集落沿いにある下ノ坊石塔群から上に続く参道と斜面沿いに東西に並び立つ石塔と石塔にあり。文暦19に中平の年号。高岡が築かれる位置に立つ跡の集落跡を築ると山林の入口。				13 C-5
348	下ノ坊跡石塔群	加礼川 中平		高田町集落沿いにある下ノ坊石塔群から上に続く参道と斜面沿いに東西に並び立つ石塔と石塔にあり。文暦19に中平の年号。高岡が築かれる位置に立つ跡の集落跡を築ると山林の入口。				13 C-5
349	尾上集落東石塔群	一級 尾上		文暦19に長安寺跡に梵字の彫刻あり。新田川から突出した尾上にある。遺構整備は彫刻に優れており、ブロンズ造りの彫刻が遺る。塔群2階を推定。	19			13 C-5
350	墓の坊跡五輪塔群	加礼川 新田		彦山の北側にいる入会墓地の上方に遺構もある。石塔群はさらに約50m上方の山腹に立つ。調査整備は少しの石塔群の周辺には一石五輪塔が点在する。五輪塔群は鎌倉末～南北朝に属している。				13 C-5
351	加礼川新田五輪塔	加礼川 新田		五輪塔が1層塔か？。遺跡整備は当地に移動の刻印性が強い。				13 C-5
352	三輪寺参道五輪塔群	加礼川 新田		参道周辺の周辺と集落する墓地内に点在。				13 C-5

五輪塔										塔形及び塔体数														
五輪塔					室置印塔					宝塔					西東塔	幡神	一石五輪塔	熊籠塔	角柱塔婆	石種	石数	その他の塔形		
完存	空高輪	火輪	水輪	地輪	完存	燈籠	笠	塔身	縁壁	基壇	完存	幡輪	宝珠	笠									塔身	基壇
10	10	10	10	10														10						
	7	9	7	6									1	1	1	1								1
																			1	1				
10	10	10	10	10														1						
																								扁形塔碑
	5	2	3																					
50																		4	10					
													1											1
	3	8	8	7														2						
																		2						
																		2	6					1
											1													
	10	10	10	10															8					
																	1							
																			1					浮彫五輪塔
																			7					
1		1	1		2	1					1							2	1	1				
	4	1	1	1															4					
	3	1	3																1					
						1													1					
																				1				
	6	14	7	6															1					
	3	1	1	1															1					
																			1					
1																								
10	5	5	5	5	?							2			1			2	2	5	2			
						1													1					笠塔婆
	3	7	7	1	5							1							6			1		
	1							1																
	10	10	10	10															5				1	
	5	5	5	5		1	1																1	
																			3					
																			4	9				
10	5	5	5	5															1	2				
	1	1	2																	4	1			1
												1				1			3	1				
1	10	10	10	10																5				
1																								
1	1	1	2	1																10				

番号	名称	所在地	造立時期	概要	在籍資料の番号	指定区分	伊弉文獻	開闢時期
353	北の迫石塔群	須川 北の迫		主要地方道豊後川田回車線の並石塔道の西側の交差点にあり。				13 C-5
354	北の豊後遺石塔群	一畑 北の迫		北ノ迫地区の豊後遺跡の開闢期後の豊後遺跡の跡地に築きとれみ五輪塔を置く。				13 C-5
355	原・迫田山廻り石塔群	小田原 原		有形国の南側に柱があり、周辺に十五重、北側の神拜所の壁面に五輪塔の残欠が並ぶ。				13 E-1
356	原集落内石塔群	小田原 原		神集落の北端、原道北端小田原集落の南側の南側に(豊後)の残欠を中心に五輪塔・一石五輪塔が立ち並ぶ。納骨 跡地。				13 E-1
357	原集落内石塔群	小田原 原		原集落の南側に(豊後)に並ぶ迫田、市尺氏宅とその周辺に点在。				13 E-1
358	山ノ下石塔群	須川 山ノ下		須川の支流荒川山ノ下にある山ノ下集落の山神社の五輪塔群。別材が組みあわせて造らな。石塔は地蔵塔のみ。				13 E-1
359	地蔵堂石塔群	高 宮ノ原・中村		須川の支流須川山廻りの宮ノ原集落にある。お堂内に地蔵堂を中心に三体の仏像を祀る彌生仏があり、その横に経緯を記している。				13 F-2
360	宮ノ前石塔群	高 宮ノ原・中村		須川の支流須川山廻りの宮ノ前集落の西端にある。巨礫に梵字を組み、その周辺に五輪塔・一石五輪塔を置く石塔群。				13 F-2
361	了源庵五輪塔	須川 原口		文政9年中村のお堂(了源庵?)に五輪塔を置きと報告。			9	13 E-2
362	真ノ田仏舎	須川 真ノ田	南北朝	物置敷と五輪塔跡地で構成。聖徳太子と須川山廻りの山内に高麗調の五輪塔に建つ。	建設1 1534	高杉杉		13 E-2
363	南之坊跡石塔遺物	高 中村	戦国	高杉寺と川を隔てて南側にあり。石塔を拝見したが、河原五輪塔群とは非連続。	赤松10(1567) 天正15(1587)			13 E-3
364	釈迦堂跡五輪塔群	高 中村		高杉寺の西側に位置し、倉庫跡や車道から跡地を貫く中心にある石塔群。地上には数輪や五輪塔があるが、さらに埋没している可能性が高い。また、下の交差点に近いの東側の跡地にも五輪塔の跡地があり、跡地を掘らしたものであろうか。				13 E-2
365	高杉寺石塔群	高 中村	鎌倉～評定朝敵	高杉寺の参道に石塔や石輪。区画の大瓦の西側に国庫倉、立降塔が配置され、裏道や参道には数多くの五輪塔や一石五輪塔が点在する。大堂内に十五重、内側に地蔵堂(安永元年)があるが、内れも近くから持ち込まれたもの。	建設2(1841) 建設4(1243) 天文5(1566) 天文5(1566) 安永1(1808) 安永1(1808) 安永3(1807) 安永3(1807) 慶應8(1862)	高杉杉	13 E-2	
366	妙建坊五輪塔群	高 中村		折原から入る山道で少し離れた位置にある一石五輪塔と五輪塔で構成される石塔群。多に柱状すると彫っており、五輪塔は12層あり、6層のみ空室風を欠く。				13 E-3
367	高杉寺西之坊跡石塔群	高 中村		須川を挟んで、高杉寺の西側に(豊後)の石塔群。近世跡の中に五輪塔・一石五輪塔があり、周辺に石塔の跡地が残り、地蔵堂跡・土塔に造られている。				13 E-3
368	柏木家石塔群	高 中村		高杉寺跡地山道で須川の西側に須川に渡りた須川にある柏木家の五輪塔に石塔の跡地が残り。				13 E-3
369	海平野野原石塔群	高 海平	南北朝	高杉寺跡地山道で須川を挟んで、高杉寺跡地から須川の西側に(豊後)の石塔群。須川の西側に(豊後)の石塔群。須川の西側に(豊後)の石塔群。	建設2(1295) 建設4(1337)			13 E-4
370	海平野の一石五輪塔	高 海平		高杉寺跡地山道で須川の西側に(豊後)の石塔群。須川の西側に(豊後)の石塔群。				13 E-4
371	福寿石一石五輪塔	須川 岩屋		主要地方道豊後川田回車線の南側に(豊後)の石塔群。須川の西側に(豊後)の石塔群。				13 F-1
372	福寿石一石五輪塔	須川 岩屋		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 F-1
373	岩屋寺石塔群	須川 岩屋	室町	須川北側の石塔群跡地に(豊後)と(豊後)の石塔群があり、五輪塔や宝篋印堂の跡地が残り、宝篋印堂が1基立つ。	赤松3 (1426)			13 G-1
374	岩屋五輪塔	須川 岩屋		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-1
375	泉源寺石塔群	須川 泉源寺		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-1
376	泉源寺五輪塔	須川 泉源寺		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-1
377	泉源寺五輪塔	須川 泉源寺		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-1
378	泉源寺五輪塔	須川 泉源寺		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-1
379	清福堂五輪塔	池部 荒平		文政2では石ノ木集落内の清福堂に五輪塔1基、周辺には五輪塔群とあるが、位置を確かできなかった。	赤松 (1377)		9	13 G-2
380	荒平御堂石塔	池部 荒平	南北朝	文政2では石ノ木集落内の清福堂に五輪塔1基、周辺には五輪塔群とあるが、位置を確かできなかった。				13 G-2
381	河野神社五輪塔残欠群	池部 荒平		法隆寺を造ったコンクリート製の神体に五輪塔の跡地が点在。				13 G-2
382	大平自然標	池部 大平		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-2
383	大師堂石塔群	池部 野ノ木		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-2
384	鶴林道邊家遺石塔群	白糸 鶴林		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-1
385	河野神社石塔	池部 小嶋		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 H-1
386	河野神社石塔群	池部 小嶋	戦国	須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。	天文9(1540) 天文9(1540)			13 H-1
387	延壽寺石塔群	小嶋 小嶋	戦国	須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。	天文9(1540) 天文9(1540)			13 H-1
388	元宮彌生仏	高 宮田	鎌倉～南北朝	須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 G-2
389	安養寺石塔群	高 中村	戦国	須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。	赤松10 (1567)			13 G-2
390	大門坊跡石塔群	高 大門		須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。				13 H-2
391	大応寺石塔群	高 大門	戦国	須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。	天正15 (1587)			13 H-2
392	長野観音寺跡石塔群	高 長野	戦国	須川北側の石塔群跡地の中央に五輪塔の遺構があり、少し離れたところに宝篋印堂が1基立つ。	天正9(1581) 天正11(1583) 天正14(1586)			13 H-1

形状及び備体数																					
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				国東塔	観音	一石五輪塔	無縁塔	角柱透塼	石礎	石殿	その他の形状		
完存	空風塔	火輪	水輪	透塼	完存	増補	瓦	塔身	裝飾	層塔	完存									透塼	宝珠
			1								1		1				4				
		2	2																		
	3	2	3								2						1			十五尊・地蔵尊	
	1	7	15	9									1			1	2				
2		1	1	1																	
2		1	1														1				
																	1			磨崖仏	
	2	4	3														3			雲辺文字	
		1	1																		
8																	2				
																	1			浮彫五輪塔碑	
2	1	1											1				2				
60																2	4		1	1	笠塔婆(在銘)・地蔵尊・十五尊
12																	7				
1	10	10	10	10													3				
		1	1										1								
1	2	5	4	4							1	1					8	2			
																	1				
																	1				
	5	5	5	5	1																
		1	1		1								1	1						磨崖仏	
1	10	10	10	10																	
		4	1																	石仏	
	2	3	5	5																	
3																					
6																					
																				1	
	5	1	1																		
																	4				
5	1		1	1																	
1																					
10																					
	1	2	1		2						1									1	
																				鎌倉仏	
																	1		2	浮彫五輪塔碑	
20																	4	15		磨崖仏A	
10														1	4	10		1	1	1	浮彫五輪塔碑
4											1										鎌削五輪塔

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍料理の年号	指定区分	参考文獻	掲載地図番号
393	六井戸稲盛堂 一石五輪塔	真中 瀬戸		田楽瀬戸の六重塔のおまじり一基の一石五輪塔。				13 H-1
394	関戸の石堂印塔	真中 関戸		田楽真中の関戸地区生活改善センターの西側に建立つ小型の宝篋印塔。同地区の江戸家から移転の由来あり。				13 H-2
395	関戸寺跡石塔群	真中 関戸地区 戸内境内		田楽真中の二重八幡堂跡の広域内にある二重塔を中心に点在する石塔群。				13 H-1
396	宝珠院跡五輪塔	田楽小浜		文獻では寺跡跡の石塔。縮石が残る。簡草寺は昭和初年に廃寺と記す。山形碑木堂流のため未調査。			9	13 H-1
397	新道屋跡石塔群	真中 草場	南北朝	田楽真中の尾川左岸の畔に立つ宝篋印塔を中心、五輪塔の残欠等が点在。宝篋印塔の由来は未調査。	永享5 (1376)	市有物 (国庫印塔)		13 H-2
398	金塚寺跡石塔群	上野 観興		田楽上野の真道の丘段上の東端内にあった石塔群。現在は草堂のみが残つ。石塔は、その崩壊の遺せ石塔群の中に点在。				13 H-2
399	中恵寺石塔群	佐原 中恵寺		田楽佐原の色塚集落の東端にある石塔群が中心と見られ、境内には石造天王像や鎌倉時代の石塔が点在。境内に宝篋印塔や石塔はじめ、五輪塔群が点在。				13 H-2
400	宮多室宝篋印塔	田楽 内沢	戦国	田楽田楽の半谷集落内の宮多の石塔群の中に1基のみ残つ。	天正11 (1583)			13 G-3
401	野瀬野跡石塔群	田楽 下村	南北朝	田楽野瀬の田楽集落内にある五輪塔を中心とした石塔群が点在。多数的に石塔群を形成する。				13 G-3
402	大内宿野堂印塔・ 五輪塔群	一畑 堂石		堂石の上方。堂石集落の東方に位置があり、その間に五輪塔、前に宝篋印塔が点在。奥に大内宿野の中五輪塔。				13 G-3
403	佛堂寺跡石塔と周辺 石塔群	一畑 八ヶ平	室町	壊れてしまっている。本堂の西側に鎌倉元年・即永享元年の石塔の群。主要に佛堂寺跡の石塔群が多数存在。	建永(1336) 永享2(1454)	市有物 (国庫)		13 B-6
404	藤原寺跡石塔群	藤原 大堂		文獻では石塔群と一石五輪塔が13基存在と記述しているが、木村の記録と相違点があるため、詳細は不明である。				19 A-8
405	藤原寺跡石塔 宝篋印塔	平野 瀬平		文獻では高野山山頂近くに藤原寺跡と記述されているが、木村の記録と相違点があるため、詳細は不明である。			9	20 A-1
406	藤原寺跡石塔 唐土屋跡	平野 瀬平	室町	田楽平野の瀬平にある唐土屋跡と高野の五輪塔の残欠。	永享5 (1453)	市有物 (国庫)		20 A-1
407	真木大宮代文化公園 内石塔群	真木 真木		田楽真木大宮内の五代公園内に設置された石塔群。本来の存在は不明。				20 A-2
408	真木大宮代石塔群	真木 真木		田楽真木大宮代公園の東側の山内に点在する五輪塔を中心とした石塔群。草堂、思われるものをあつた多数的と推定。				20 A-2
409	真木大宮代石塔群	真木 真木		真道野田山集落内にある真木大宮代の石塔群の残欠。				20 A-2
410	龍野寺跡石塔群	真木 真木		田楽真木の龍野集落跡にある真木大宮代の石塔群の残欠。				20 A-2
411	藤原寺跡石塔群	真木 真木		田楽真木の龍野集落跡にある真木大宮代の石塔群の残欠。				20 A-2
412	藤原寺跡石塔群	真木 真木		田楽真木の龍野集落跡にある真木大宮代の石塔群の残欠。				20 A-2
413	城山跡石塔群	真中 城山	南北朝~室町	田楽上野の真道の南にある城山の中腹に、石塔に仏舎利が埋められた石塔(市有物)があり、その周辺に宝篋印塔(市有物)・宝篋印塔・五輪塔が点在。				20 A-2
414	上野高取五輪塔群	上野 高取		田楽上野の真道の南にある上野高取の南側に点在する石塔群。				20 A-2
415	上野阿波尾 宝篋印塔	上野 阿波尾		田楽上野の真道の南にある上野阿波尾の南側に点在する石塔群。				20 A-2
416	藤原寺入口石塔群	平野 大曲		田楽平野の真道の南にある藤原寺入口の石塔群の南側に五輪塔の群が点在。				20 A-2
417	平野地蔵堂 一石五輪塔	平野 大曲		田楽平野の真道の南にある平野地蔵堂の南側に五輪塔の群が点在。				20 A-2
418	熊山庵跡石塔	上野 高取	平安後期	田楽上野の真道の南にある熊山庵跡の南側に五輪塔の群が点在。				20 A-3
419	金高野地蔵堂	平野 大曲	南北朝~戦国	田楽平野の大曲にある金高野の石塔群。田楽真木を中心に五輪塔多数。中に五輪塔に佛舎利が埋められた石塔。				20 B-2
420	高野五輪塔群	平野 高野		文獻では、高野新道山集落跡にある高野五輪塔の群の西側の集落跡にある石塔群と推定されるが、詳細は不明である。				20 B-2
421	藤原寺跡石塔群 (藤原寺跡地蔵堂)	平野 堂代	室町	田楽平野の真道の南にある藤原寺跡の南側に五輪塔の群が点在。	永享33 (1461)			20 C-2
422	熊野高野石塔群	平野 高野	南北朝~戦国	田楽平野の真道の南にある熊野高野の石塔群。田楽真木を中心に五輪塔多数。中に五輪塔に佛舎利が埋められた石塔。				20 C-2
423	熊野高野石塔	平野 高野	平安後期	田楽平野の真道の南にある熊野高野の石塔群。田楽真木を中心に五輪塔多数。中に五輪塔に佛舎利が埋められた石塔。				20 C-2

番号	名 称	所在地	建立時期	備 考	在籍資料 の年号	鑑定 区分	参考 文献	記録 地図 番号
1	清正公神社宝篋印塔	松原	南北朝～室町	通達山の山頂に存在する穴倉の宝篋印塔である。清正公神社の御境内に位置する大型塔である。基壇部には彫刻の残欠がみられ、この宝篋印塔の礎石とは別のものも存在する可能性がある。			8	2 C-1
2	虎ヶ嶋宝篋印塔	松原	南北朝～室町	八重神社が存在する海を南下する小高い丘に穴倉の宝篋印塔が存在する。塔身には彫刻がみられる。			8	2 C-2
3	松原石塔跡	松原	戦国	運取給の途中に石塔跡が置かれている。				2 C-2
4	薄岸寺石塔跡	北浦	戦国～江戸初期	本堂跡の墓地内や墓地の石塔下に石塔跡がみられる。				2 C-2
5	真成寺石塔跡	西	南北朝～戦国	真成寺境内に石塔跡が点在する。				2 C-2
6	須賀堂宝篋印塔	須賀	南北朝～室町	3～4層の宝篋印塔の跡が置かれている。塔の造型のみの跡は分割集積によるものである。これらは異流石から持ち込まれたと推定されている。			8	2 C-2
7	城山五輪塔	北浦	戦国	又原から城山へ登る山道傍の嶺の石積みの中に五輪塔が積まれている。				2 C-2

形状及び備後数																									
五輪塔				宝篋印塔				宝塔					国幣塔	経碑	一石五輪塔	熊鷹塔	肉柱塔	石壇	石籠	その他の塔形					
梵存	空蓋縁	火輪	水輪	地輪	梵存	輪轉	笠	塔身	蓋	梵存	相輪	宝格	塔身	蓋	塔身	蓋	塔身	蓋							
5	6	2	4							3	1	3	5			3	1								
	1	1															2								
3	2	2															6								十五14
6	8	7	6							1		2	6			1				1					笠塔婆3
																1									
																1									
	1	1																							笠塔婆1
																	3								笠塔婆2
3	4	3	3							1	1	1					1								
1	1	1	1																				3		笠塔婆1
	2																								笠塔婆1
4	7	1	2														2	4							
2										2		2													
1	1																		1						笠塔婆3
9	10	5	1																						
2	1	1																							
4	1	2																							
25	17	15	18							1	6	13	12			6	2								
				1			1	1								2									
	1	1										1						1							笠塔婆1
																	2								
28	20	20	17							1		3	2	3		1	1	18		1					笠塔婆1
																							1		
1	2		3							1	2	1	1	3				1							
1	7	3	2									2	1					4	3	6					
2	3	4		3														1		1					
1																		2							石山1
99	124	107	105									2	30	13	2		4	1	15	4					
1	8	2	3														1		7						
				1						1		1	1				1	2							
2	5	5	5																	2					笠塔婆1
3	2	3	5										3	2											
2	2	2	2																1						
16	31	14	4							2				1		2	2	9							
2	6	2	1																1				3		
28	27	23	24							3	1	2	2			1		17				1			
1																			1						笠塔婆3
1																			1						

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍史料の 番号	指定 区分	参考 文献	国史 指定 番号
41	厚田家横五輪塔群	国東町 野田	戦国～近世初期	奥人の国東の一角に五輪塔の群が集まっている。				6 A-6
42	古森家横石塔群	国東町 野田	戦国～近世初期	奥人の屋敷の入口の側に石塔の群が散在する。				6 A-6
43	若井家墓地石塔群	国東町 野田	戦国	墓地の一角に石塔群が集まっている。				6 A-6
44	下長飯碑	国東町 野田	江戸～戦国	片降斜面に存在する5m程度の大型に5連の飯碑が横割られている。飯碑群である。			市有物 (石塔)	6 A-6
45	森田家墓地園塔群	国東町 野田	戦国	山中に集まっている近世前期に2層の石塔の園塔群がみられる。群がみられつつも、可能性もあるが、2層の石塔のみである。				6 A-6
46	下松跡石塔群	国東町 野田	戦国～近世初期	五輪塔跡に、百貫の漢字が刻まれている。その周辺に石塔群が散在する。石塔は数のみである。				6 A-6
47	野田桑原墓地石塔群2	国東町 野田	戦国～近世初期	近年整理された墓地に近世前期のものと混在している。				6 A-6
48	山口家横石塔群	国東町 野田	戦国～近世初期	塔の群に近世の石塔群とともに見られる。				6 A-6
49	荒木家墓地宝篋印塔	国東町 野田	戦国	塔の中にある近世墓地中に横割が一層片立している六弁の宝篋印塔がみられる。塔身の一部には地蔵を彫刻している。				6 A-6
50	野田桑原墓地石塔群	国東町 野田	戦国～近世初期	近年整理された墓地に石塔群が集まっている。				6 A-6
51	石室宝篋印塔	国東町 野田 石室	戦国	境内の奥の一角に宝篋印塔が横割で立てられている。その隣の民家の一角にも石塔跡がみられる。				6 B-6
52	伊賀宗元宮石塔群	国東町 野田	江戸～戦国	境内の一角に伊賀宗元の宮と並ぶ一角がみられる。石塔の群に石塔が横割で立てられている。				6 B-6
53	野田石塔群	国東町 野田	戦国	寺境内に近世の石塔群がみられる。その後ろに石塔群が横割で立てられている。				6 B-6
54	平等寺石塔群	国東町 野田	南北朝～近世初期	平等寺本堂の平野地に数多くの石塔群が横割で立てられているが、いずれも本堂の組合せではなく、後世、整理されたものである。南西の隅に一定距離の六弁の宝篋印塔に横割しては、六弁の塔身もみられる。塔身の宝篋印塔は横割で立てられている。宝篋印塔は宝篋印塔のみである。			市有物 (石塔)	32 6 B-7
55	小平飯碑	国東町 野田 小平	南北朝	平野を貫く下り丘陵段丘先端に市道直線が横割で立てられている。			市有物 (飯碑)	6 B-6
56	小塚田家墓地石塔群	国東町 野田	戦国	本陣跡に建てられている近世前期の石塔群が横割で立てられている。このほかにも小塚田家墓地に横割して、上に石塔群が横割で立てられている。				6 B-6
57	日出石塔群	国東町 野田 日出	戦国	平野を貫く下り丘陵段丘先端に横割の石塔群が横割で立てられている。塔身は横割が1つ、塔身のみがみられる。				6 B-6
58	白穴地蔵・周辺石塔群	国東町 野田 白穴	南北朝～戦国	平野を貫く下り丘陵段丘先端に横割の石塔群の2層の石塔群 (市有物) が横割で立てられている。その南西に南北朝の宝篋印塔と戦国前期の石塔群が横割で立てられている。			市有物 (石塔)	6 C-6
59	行常家横石塔群	国東町 野田	戦国	五輪塔の一角に、近世前期のものと混在している。横割は本堂の隅にはみられない。				6 B-7
60	17家横石塔群	国東町 野田	南北朝～近世初期	五輪塔の平野地に石塔に納められた十九の石塔と横割の石塔や、近年整理も漢字の塔群を横割してした石塔群がみられる。				6 B-7
61	了法大師横石塔群	国東町 野田	戦国	了法大師の塔が横割で建てられている。石塔群の一角に五輪塔群が横割で立てられている。				6 B-7
62	野田桑原墓地五輪塔群	国東町 野田	戦国	平野と丘陵の境目に平野地を横割し、形成している近世前期の五輪塔群がみられる。				6 C-6
63	真言寺跡園塔と周辺石塔群	国東町 野田 南北朝一帯	江戸～戦国	五輪塔跡に横割の平野地をつくり、塔にわたって石塔を横割している。下の階には横割の園塔群、また、上の階には石塔群を横割しているが、本堂の跡のみはみられない。園塔も本堂の跡のみでなく、表の階には横割の園塔群の跡のみである。			正平7 (1352)	24-31 6 C-7
64	鎌倉原印塔	国東町 萩原	南北朝	鎌倉原の一角に五輪塔跡に横割で建てられている市有物の宝篋印塔である。横割の石塔群の一角に横割の石塔 (一石六塊塔) と一石五輪塔が横割で建てられている。石塔は本堂と横割である。塔身は横割である。塔身は横割である。			市有物 (宝篋印塔)	6 A-7
65	一石六塊塔と周辺石塔群	国東町 萩原	戦国～近世初期	民家の一角に横割の石塔 (一石六塊塔) と一石五輪塔が横割で建てられている。石塔は本堂と横割である。塔身は横割である。塔身は横割である。			6 A-7	
66	小甲家墓地石塔群	国東町 萩原	戦国～近世初期	小甲家に隣接する五輪塔跡にある小甲家墓地に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。園塔群は横割の跡のみである。				6 A-8
67	横割園塔石塔群	国東町 萩原	戦国～近世初期	寺境内の一角に石塔が横割で建てられている。横割や横割が多く横割で建てられている。横割や横割は九輪塔群、横割や横割である。			市有物 (石塔)	6 A-8
68	河野家石塔群	国東町 千歳 下弘	戦国	奥人の屋敷の一角に石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。				6 C-7
69	下弘跡園塔群	国東町 千歳 下弘	鎌倉	塔の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。			市有物 (園塔)	24 6 C-7
70	千歳寺石塔群	国東町 千歳	平安～鎌倉	横割を欠く宝篋印塔であり、かつては千歳寺の境内の園塔群に横割で建てられていたもの。横割や横割に横割で建てられている。横割や横割は横割である。横割や横割は横割である。			市有物 (石塔)	24 6 D-7
71	千歳石仏	国東町 千歳	鎌倉	五輪塔跡に横割の平野地を横割し建てられた小室内に横割で建てられている。横割や横割は横割である。横割や横割は横割である。			市有物 (石仏)	22-34 6 D-7
72	匠の園塔群	国東町 千歳	南北朝～戦国	2つのに分かれて石塔群が横割で建てられている。中にも、横割や横割も横割の跡に横割で建てられている。横割や横割は横割である。横割や横割は横割である。				6 D-7
73	千歳五輪塔	国東町 千歳	室町	近年以降の石塔群ととも五輪塔群が横割で建てられている。				6 D-7
74	西行庵石室印塔と周辺石塔群	国東町 千歳	南北朝～戦国	「白河院」と呼ばれる浄土宗の西行庵に市有物の宝篋印塔を横割して建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。			市有物 (宝篋印塔)	22 6 D-7
75	千歳寺の横五輪塔	国東町 千歳	中世	千歳寺の境内に横割で建てられている五輪塔群であり、一石であることや横割の跡のみであることが特徴である。横割の跡には横割の跡のみである。横割の跡には横割の跡のみである。横割の跡には横割の跡のみである。				6 D-7
76	仁徳園塔および周辺石塔群	国東町 千歳	南北朝～近世初期	五輪塔跡の平野地にある弘法堂跡の周辺に横割の仁徳園塔群を横割して建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。			市有物 (園塔)	22 6 D-7
77	仁徳園塔墓地石塔群	国東町 千歳	南北朝～近世初期	弘法堂跡に隣接する横割であり、3層の石塔のある五輪塔群に五輪塔・一石五輪塔が横割で建てられている。横割の跡には横割の跡のみである。横割の跡には横割の跡のみである。横割の跡には横割の跡のみである。				6 D-7
78	大不動堂印塔と周辺石塔群	国東町 千歳	戦国～近世初期	大不動堂跡の南側に建てられた上弘跡の境内に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。石塔群の一角に横割の石塔群が横割で建てられている。			市有物 (印塔)	6 E-6
79	林野家五輪塔群	国東町 萩原 小田原	戦国	奥人の屋敷に石塔群が横割で建てられている。横割や横割は横割である。横割や横割は横割である。				6 C-8
80	坊中五輪塔群	国東町 萩原	鎌倉～戦国	萩原の境内から集められた坊中五輪塔群が横割で建てられている。			25	6 E-8

地形及び個体数																				
五輪塔				宝篋印造				堂塔				覆塔	板碑	一石五輪塔	角柱塔	石幢	石仏	その他の塔形		
瓦存	笠筒輪	次輪	水輪	地輪	瓦存	輪輪	笠	塔身	華蓋	基壇	瓦存								細輪	宝珠
1			4	3												2				
1	1	1	1	1														笠塔婆2		
4	7	4	4										2					笠塔婆1		
															2					
2	4	3	2													1	1			
																1				
1	2	1									1	2	1					笠塔婆2		
					1															
6	2	6	1													3		笠塔婆2		
1		1	1	1							1	1				1				
4											1									
1	3	3	1										1			2				
101	130	120	108	3	1	1				1	2	1/11	3	3	2	2	68	2	笠塔婆1	
																1				
2	3	3	1													1	1		笠塔婆3	
8	5	1	3												3	5				
4	15	5	3			1										13				
2	2	2														3	1		笠塔婆1	
16	20	13	8									1			1	6	12		十王丸、覆衣鉢1	
1	2	1	1													1				
				1												1				
9	7	3	4												9	1				
					1															
																1		1		
33	33	27	24			1	1	1	1	1	1	1	4	3		1	2		笠塔婆4	
27	33	27	13													14	5	2		
1					1															
																1				
											1									石仏1
																1	2			
1	1	1																		
					2											27				
																1				
31	31	28	26		1	6	9	3								8	83	1		
																				笠塔婆1
					1															
				1																
																1				
41	32	32	19														47			

番号	名称	所在地	建立時期	概要	資料の 年号	指定 区分	参考 文献	国東 地区 番号
81	戸戸寺堂壇と石塔群	国東町 戸戸寺	鎌倉末～近世初期	高麗朝の末に弘安8年と鎌吉の紀石塔をもつ宍倉の霊塔地(置屋文、延長3.2m)がみられるほか、奥の付近に文開10年経とも所存の石輪(置屋文、延長5.3m)がみられる。これは、奥の境内に元和4年経をもつ石灯籠(置屋文、延長1.9m)や歩道に文開の経をもつ正堂(置屋文、延長1.4m・坪数約1.25m)がみられる。この塔はに歩入口から約2kmに亘る歩道中や境内の隅に石塔が数箇所存在する。	置屋文(1262) 文開(1478) 元弘(1318)	国東市指定 史跡	24.25	6-E
82	内船角霊塔	国東町 戸戸寺	南北朝	戸戸寺前の山中から境内に置かれたと伝えられている。総高145cmを測り、各所に1字つぎ塗料印の痕が認められている。		国東市指定 史跡		6-E
83	文殊杵石塔群	国東町 大石寺	鎌倉～戦国	境内に指定されている永和4・5年経の石塔と石輪の石塔(置屋文)のほかに、伊原の石塔や六角塔跡に石塔がみられる。石塔には清涼願(置屋文)のものと想われ、摩多石塔に正堂である。	置屋文(572) 永和(1318)	国東市指定 史跡	23.24	6-G
84	宇原鎮護靈塔石塔群	国東町 成仏	戦国	山中の暮らした、埋もれて五輪塔、一石五輪塔、尖塔などの跡がみられるが、多数の遺物の跡がみられる。		国東市指定 史跡	27	6-H
85	朝日観音堂 堂壇印塔	国東町 成仏	南北朝	塔々塔の一角に近世の石塔群とともに存在する総高335cmを測る宍倉の堂壇印塔である。		国東市指定 史跡	27	6-H
86	城山園東塔と周辺 石塔群	国東町 成仏	戦国～近世初期	丘陵部に平地を削り、上段に市形形の4層の霊塔を築き、その下に重複した石塔塔を並べている。4層の霊塔は宍倉であるが、本来の組合せではない。		国東市指定 史跡	27	6-H
87	飯野神社裏石塔群	国東町 飯野	戦国～近世初期	飯野神社境内の北側の一角に石塔が並べられているが、本来の組合せではない。神社境内の西側奥の方に奥の隅に石塔群が築かれており、また、境内にも1層、2層の石塔が存在する。いずれも色所から推定されたものとみられる。		国東市指定 史跡	27	7-A-1
88	飯野寺石塔群	国東町 飯野	戦国	飯野寺境内の北側の一角に石塔が並べられているが、本来の組合せではない。神社境内の西側奥の方に奥の隅に石塔群が築かれており、また、境内にも1層、2層の石塔が存在する。いずれも色所から推定されたものとみられる。		国東市指定 史跡	27	7-A-1
89	丸小野堂壇印塔	国東町 飯野	南北朝～室町	露の露水に時降下のみを欠く宍倉の堂壇印塔が存在する。他所から持ち込まれたものであろう。		国東市指定 史跡	27	7-A-1
90	倉丸堂石塔群	国東町 飯野	戦国～近世初期	長倉の敷地の一角に石塔群が築かれている。		国東市指定 史跡	27	7-A-1
91	伊家園地石塔群	国東町 飯野	戦国～近世初期	山中にある高麗朝の石塔群が築かれている。		国東市指定 史跡	27	7-B-1
92	飯野氏宮石塔群	国東町 飯野	戦国	造成したミカン畑の畔に指定されている石塔群である。ミカン畑の中心には堂壇印塔も1層塔が並べられている。		国東市指定 史跡	27	7-A-1
93	飯野石塔群	国東町 飯野	戦国	平地部に4x5mの方形石塔をつくり、扉平川原石塔を置き並べ近世塔群とともに石塔を並べているが本来の組合せではない。中でも、2層の戦国朝の国東堂は宍倉であるが、これについても本来の組合せではない。		国東市指定 史跡	27	7-A-1
94	古森堂堂壇印塔 周辺石塔群	国東町 飯野	南北朝～戦国	個人の宅地内に宍倉の堂壇印塔と石塔群が存在する。		国東市指定 史跡	27	7-A-1
95	三ノ山石塔群	国東町 飯野	南北朝～戦国	塔の建の横に石塔群が築かれている。中でも、下段が併置した高麗朝の塔は扉平川原石塔である。		国東市指定 史跡	27	7-B-1
96	常念寺石造十王	国東町 飯野	戦国	境内の一角にある十王堂に近世以降の石造物とともに、宍倉で採掘された石造十王像が置かれている。		国東市指定 史跡	27	7-B-1
97	松林寺石塔群	国東町 飯野 上野原	南北朝～戦国	松林寺境内、山形形の石塔群(赤地(6)話)と石造近世(赤地(6)話)中、市形形の石塔群、高麗朝のものも、数多くの石塔群が並べられている。石塔(置屋文)のみである。	置屋文(381) 赤地(382)	国東市指定 史跡	27	C-1
98	天満社屋敷と周辺 石塔群	国東町 須磨 上坂	戦国～近世初期	天満社の一角には市形形の七層塔と石塔群が築かれている。七層塔の扉平川原の石塔は後塔である。		国東市指定 史跡	27	7-C-1
99	吉武家石塔群	国東町 須磨 上坂	戦国～近世初期	天満社に隣接する吉武家の倉庫跡に石塔群が築かれている。本来は天満社に存在するものと一緒に建てられたものか。		国東市指定 史跡	27	7-C-1
100	常光寺堂壇印塔	国東町 小島町 南北朝～室町	戦国	常光寺堂壇跡に市形形の宍倉の堂壇印塔が建てられている。		国東市指定 史跡	27	7-A-2
101	龍澤寺堂壇印塔	国東町 大船町	戦国	門前の石段下に比較的大型の宍倉の堂壇印塔が建てられている。		国東市指定 史跡	27	7-B-2
102	龍澤寺石塔群	国東町 大船町	戦国～近世初期	本堂南側の丘陵斜面に石塔群が建てられているが、本来の組合せではない。		国東市指定 史跡	27	7-B-2
103	日吉神社石塔群	国東町 大船町	戦国～近世初期	山頂上の山中にある石塔群の横にも塔が築かれている。		国東市指定 史跡	27	7-B-2
104	大船木石塔群	国東町 大船町	戦国	奥の隅の隅に石塔群が建てられている。扉平川原のものでもなく、扉平川原から採られた石塔群をもつ。		国東市指定 史跡	27	7-B-2
105	向田上飯屋園地 石塔群	国東町 向田	戦国～近世初期	摩多で分館された近世塔群の中に、近世の石塔群が建てられている。		国東市指定 史跡	27	7-C-3
106	向田石塔群	国東町 向田	南北朝～戦国	永徳と五輪塔の塔群に近世の石塔群とともに宍倉の堂壇や石塔群が建てられている。特に、大型の堂壇はよりよく南北朝朝の遺物の痕跡をもつものである。		国東市指定 史跡	27	7-B-3
107	龍澤寺堂壇印塔	国東町 向田	南北朝	龍澤寺境内に市形形の宍倉の堂壇印塔が建てられている。扉平川原のものでもなく、扉平川原で建てられたものである。		国東市指定 史跡	27	7-B-3
108	向田下飯屋園地 石塔群	国東町 向田	戦国～近世初期	砂丘上に築かれた近世塔群の中に、石塔群が建てられている。		国東市指定 史跡	27	7-B-4
109	永寿寺十五重石仏殿	国東町 南末	室町～戦国	境内の十五重の中に十重や石造塔壇、加形光背に3体つづき十二層浮屠を彫刻したもので、塔壇、堂壇とも彫刻したものがある。		国東市指定 史跡	25	6-A
110	藤原家跡石塔群	国東町 戸戸寺	戦国～近世初期	近世塔群の中に堂壇跡と五輪塔跡が認められている。		国東市指定 史跡	25	7-E-1
111	藤原家石塔群	国東町 戸戸寺	戦国	五輪塔跡と五輪塔跡が互に組み合わさって立てられている。		国東市指定 史跡	25	7-E-1
112	中之坊堂壇印塔	国東町 戸戸寺	南北朝～室町	「中の坊」と伝えられる宍倉家の跡に高麗朝の石塔と並べられている宍倉の堂壇印塔がある。		国東市指定 史跡	25	7-E-1
113	湯治家石塔群 と周辺石塔群	国東町 戸戸寺	鎌倉末～戦国	「湯治」と伝えられる湯治家の入口に市形形の宍倉の堂壇印塔(延長212cm)がみられる。宍倉の石塔、堂壇の遺跡も確認されている。また、下段3層、上段3層の塔形を造り出している。塔は高麗朝と高麗朝であるが、堂壇に火傷はない。		国東市指定 史跡	25	7-E-1
114	長倉寺石塔群	国東町 戸戸寺	戦国	境内の隅に石塔が建てられているが、いずれも本来の組合せではない。		国東市指定 史跡	25	7-E-1
115	藤原家堂壇印塔	国東町 末渡	室町	藤原家跡に近世以降の石塔群とともに建てられている宍倉の堂壇印塔であり、総高225cmを測る。		国東市指定 史跡	25	7-E-1
116	長輪寺石塔群	国東町 末渡	鎌倉～戦国	境内、向野院、高麗の石塔を納めた近世の石塔群に高麗、六角堂塔壇、五輪塔など4層が並べられており、その前に五輪塔、一石五輪塔なども建てられている。		国東市指定 史跡	25	7-E-1
117	上飯屋寺地蔵堂 石塔群	国東町 末渡	南北朝～戦国	一石五輪塔と南北朝朝のものと考えられる五輪塔地蔵がみられる。		国東市指定 史跡	25	D-2
118	末渡堂壇印塔	国東町 末渡	南北朝	境内の奥に築き上げ総高205.5cmを測る宍倉の堂壇印塔である。3層の塔形を造り出す下段下に2層の塔形がある。塔内には仏の像や浮屠があり、塔は下段3層、上段3層の塔形を造り出している。塔は高麗朝と高麗朝であるが、堂壇に火傷はない。		国東市指定 史跡	25	D-2
119	藤原家石塔群	国東町 末渡	戦国	2層の近世の石塔の横に本来の組合せではない五輪塔が建てられている。		国東市指定 史跡	25	7-D-2
120	大船寺石塔群	国東町 末渡	南北朝～戦国	山頂上の池や本堂裏に石塔がみられる。中でも本堂裏の堂壇印塔は南北朝朝のものであり、池の上に存在する3層の塔群も南北朝朝に築かれたものである。		国東市指定 史跡	25	D-2

形 形 及 び 體 数																									
五輪塔				宝篋印塔						宝塔					圓形塔	板碑	一石五輪塔	無縁塔	角柱塔	石幢	石殿	その他の塔形			
元存	空堀跡	火輪	水輪	地輪	元存	相輪	笠	塔身	基礎	基壇	元存	相輪	宝珠	笠									塔身	基礎	基壇
					1													4	1	1			1		仁王1財 羅漢塔3
												1									1				十王、仁王
					1																				
35	7	20	24			1							9	2	2	2		4							
10	30	14	21											1	2				2	2					笠塔婆2
10	1																						1		
					1																				
7	10	5	5																						
4	1		1									2			1			1	1						笠塔婆1
25	22	22					1												1	11					
36	32	33	22												2			2		2					
14	26	10		1																4					
19	14	6	2				1				1									8					
																									十王10
34	37	34	32	2										2	5				1	9	1		1		石仏2
3	3	4										1	3	4	5	4				1					笠塔婆1
3	4	3	5									1		2	2					4					
					2																				
					1																				
2	2	1	1									1								1					
2															2	1				2	3				
20	21	17	9																	1	4				
5	7	6	4	1											1						8				
		3										1	1							2					
					1																				
	2	1	1																		3				
												1													石仏16
					1																				
19	22	21	16	1								1								3	12				
8	7	7	5																	1	6				
					1																				
8	8	2																		1	3				笠塔婆1
					1							8									1				
					1																				
2	1	2	1																						
16	14	12		1																3	7				

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍資料 の年号	鑑定 区分	参考文献	現地 地図 番号
121	金剛寺石塔群	国東町 東浦	南北朝～戦国	門前参道入口と山門牌。境内の一角の3箇所に石塔が散在する。中でも、参道入口の宝篋印塔(南朝院)は円輪と笠のみが残るが、寛文であれば高さ2mを超える塔体である。				7 D-2
122	石行塚小堂 五輪塔群	国東町 東浦	戦国	小堂の塔に石塔群材が認められている。				7 D-2
123	大藏寺石塔群	国東町 東浦	南北朝～戦国	東浦川にまたがる中の大蔵寺跡とされる12×17.5mの範囲に石塔を推し、線迹に1か3つの主要部の石塔が並べられている。大蔵寺が焼失後に南方から集められたと伝えられている。		市史録		7 D-2
124	高懸堂石塔群	国東町 東浦	南北朝～戦国	鎮守堂前に石塔群材が密集されている。南北朝後半～室町前期の朝鮮産白磁石塔の中期のものもある。				7 D-3
125	八坂神社石塔群	国東町 東浦	戦国	境内緑地に石塔群材が散在する。				7 D-3
126	柳村家遺五輪塔群	国東町 東浦	戦国	大蔵寺の奥の畑に静内谷の異なる五輪塔群が並んでいる。				7 D-3
127	大日堂石塔群	国東町 浜	南北朝～戦国	大日堂の入口に南北朝期に造る稲輪を欠く宝篋印塔と、その奥辺に、戦国期の石塔群材が散在している。稲輪は、宝篋印塔の基礎の境に散らされている。				7 D-4
128	安養寺一石五輪塔	国東町 東野原	戦国	境内一五輪塔が基ある。				7 E-3
129	東原北極碑	国東町 東野原	鎌倉末～南北朝	2面の塔である。1面は中央を縦線部に分けたもので、両側から右が高さ180cm、左が高さ160cmを計る。他の1面は高低差3分の塔体をもつていて特徴的なものである。		市史録 (他冊)		7 F-3
130	深江遺碑と周辺 石塔群	国東町 深江	鎌倉～戦国	深江遺跡に付随する真言宗の塔碑であり、碑文に「万が一の摩訶菩提寺なりし、その下に撰文を刻置している(記号133cm)」とあり、石の裏面に西の方面の字が刻まれている。裏面は本来のものではない。	光暦2 (1327)	熊野新 (他冊)	26-38	7 E-5
131	政友板碑	国東町 赤黒堂	鎌倉末～南北朝	水田の畔時に大小の板碑が並んで立てられている。寛文ともマシの寛文塔子であり、大蔵寺群材、小が裏面にあらわされている。				7 F-4
132	長木家宝篋・稲荷神 と周辺石塔群	国東町 東野原	南北朝～戦国	元亨元年塔をもつ圓筒形の宝篋碑、元亨2年塔をもつ圓筒形の塔子の形をほし、元亨2年塔をもつ塔座、文和元年塔をもつ塔座など数多くの塔文をもつ石塔が認められる。この周辺や隣村にも石塔が散在する。	寛弘3(1312) 元亨元(1321) 元亨2(1322) 文和3(1314)	国史文 書院蔵 本(複製) (他冊)	24 35-38	7 F-4
133	吉祥寺五輪塔群	国東町 洲崎 寺山	戦国	境内に石塔群材が認められている。				7 G-5
134	成仏寺石塔群	国東町 成仏	南北朝～戦国	御代堂脇にマンの塔字種子が入る南北朝期の宝篋や、裏の面に寛文の宝篋印塔の痕跡があるほか、石塔群材が散在する。		27		7 H-1
135	山神社横板碑	国東町 成仏	南北朝	山神社境内西側の奥庭のすぐよ上距離147cmを誇る板碑が存在する。南北朝後半のものであろう。				7 H-1
136	金輪家横石塔群	国東町 成仏	戦国	石塔群の民家跡に石塔が並べられている。調査は本来のものではないが、調査後は寛文である。				7 H-1
137	下成仏五輪塔群	国東町 下成 仏	戦国	石塔群の水田に並んだ場所。石塔が並べられている。調査は本来の成仏の五輪塔群の塔に由来し、彫琢されたもので伝えられている。				7 H-2
138	下成仏自然石塔群	国東町 下成 仏	戦国～近世寺跡	山中の軒先に存在する1m程度の山石に山部一乗塔をもつ塔形塔を刻み、梵文を入れている自然石塔群が認められる。				7 H-2
139	小石塔群	国東町 小石	南北朝～戦国	草履塔の形状に石塔が散在する。				7 H-2
140	竹の七輪碑	国東町 下成 仏の 上の	鎌倉	農林工場のため、暴風の穴とともにもう白に損傷されている。縮小の形はほぼその寸法から推定される程度にまで縮小されている。	元弘3 (1333)	熊野新 (他冊)	35-38	7 H-3
141	見地家宝篋印塔	国東町 見地	南北朝～戦国	小倉家跡の宝篋印塔に並んで建てられている縮小3mを超える宝篋印塔である。本来は、山中に存在していたものを移築したものと考えられている。塔の基礎に赤子があがり、亀は寛文であり、彫刻は寛文が認められる。				7 H-3
142	小田御堂一石五輪塔	国東町 見地	戦国	一石五輪塔が国家儀に刻まれているが、高懸神社に等しい石塔は別のものと伝えられている。このほかにも数基存在していたとされるが、現在は建造してしまっている。				7 H-3
143	阿闍梨	国東町 見地	南北朝	石塔群跡に建て立てられている彫刻形のある塔である。塔高2.7mを測る大規模で、塔にはナリウの梵字種子が彫刻されている。その下に板碑がみられる。	建武元 (1344)	国史文 書院蔵 (他冊)	35-38	7 H-3
144	見地公民館 一石五輪塔	国東町 見地	戦国	近世の石塔群跡中に一石五輪塔の梵字が認められている。他所から持ち込まれたものであろう。		26		7 H-3
145	重木家旗石塔群	国東町 見地	南北朝～戦国	重木家跡の遺構に石塔群材が散在して置かれている。多くが戦国期の塔子であるが、五輪塔群材の中には南北朝期に造るものも認められる。				7 H-3
146	見地五輪塔群1	国東町 見地	戦国	石塔群に「染み石の塔をつくり、近世以降の石塔とともに五輪塔の塔座を並べている。				7 H-4
147	中倉殿蔵(稲荷神)	国東町 見地	戦国	奥家の扉に立てられている彫刻形のある塔である。高さ1.8mを測る宝篋印塔。その裏面にマン(梵字)の梵字種子と、その下に板碑がみられる。	享和2 (1325)	熊野新 (他冊)	35-38	7 H-4
148	見地五輪塔1	国東町 見地	戦国	奥倉背後の庭に並べられている宝篋印塔が基、富士石に並べられている。				7 H-4
149	見地五輪塔群2	国東町 見地	戦国	稲輪の水際に並んだ石塔群に石塔群材が認められている。				7 H-4
150	玉持寺寶篋印塔と 周辺石塔群	国東町 見地	鎌倉末～戦国	本堂前に市史の公の宝篋印塔(南北朝後半)とともに、御堂前に並ぶ大規模の宝篋印塔1基が認められている。塔文は成仏のみである。		市史録 宝篋印 (他冊)	37	7 H-4
151	見地石塔群	国東町 見地	南北朝～戦国	宝篋印塔群に並んで並ぶ宝篋印塔の塔身を欠く宝篋印塔があり、その周囲に戦国期の石塔が散在する。		市史録 (他冊)	37	7 H-4
152	見地五輪塔2	国東町 見地	戦国	玉持寺と小松神社を結ぶ川に架かる橋の途中に五輪塔群材が認められているが、他所から持ち込まれたものである。				7 H-4
153	浜崎組型五輪塔群	国東町 浜崎	平安2～戦国	水田に並んだ石塔群跡の中央に一石で彫刻された大型の宝篋印塔が基盤と認められているが、塔脚部の五輪塔群材や一石五輪塔が認められている。				7 H-6
154	岡山家墓前五輪塔群	国東町 浜崎	戦国	近世墓跡中に富士石があり、その前に五輪塔群材が散在する。				7 H-6
155	両子石籠・石籠	安曇町 両子 山内	室町	両子山下の風景印の傍家跡先に、石籠・石籠が1基1子ずつある。石籠は、彫刻の石塔に似ており、石籠の寸法が同じである。石籠には、寛文の梵字種子と、その下に板碑がみられる。石籠は六角形の彫刻塔に六角形が浮き彫りにされている。彫刻は、寛文と等しく「万二千(660)三三三」に刻まれている。	永仁3 (1406)	市史録 (他冊)	17-37	3-7 B-7
156	両子寺石塔群	安曇町 両子	鎌倉～戦国	八幡山古院の両子寺境内には、国史院のほか多量の五輪塔が境内内に点在する。大蔵寺から南へ入った石塔下に大型の四脚塔(寶篋印塔)がある。塔高345cmで、塔身は長方形である。寛文の年代は1333年(1338)の伊弉册史社寺境内に同じ形の塔を造るなど、寛文(1333)に由来する一寺が由来する(市史録)の塔がある。また、石塔を造った事上は、南北朝期の寺と推定される重木寺(両子町)がある。		市史録 宝篋印 (他冊)	17-24 25-37	3-6 B-8
157	大宮堂遺構と 周辺石塔群	安曇町 廻地 津田	南北朝～室町	高尾山麓の北方の遺跡部にある大宮堂遺構に、国東寺、五輪塔がある。		市史録 (他冊)	17-37	3-7 E-7

奇形及び簡体数																												
五輪塔				宝篋印塔					宝塔						宝篋塔	檜神	一石五輪塔	無縁塔	角柱経路	石幢	石殿	その他の造形						
穴存	空風輪	火輪	水輪	地輪	穴存	相輪	柱	塔身	基壇	基壇	穴存	相輪	宝珠	空									塔身	基壇	基壇			
	20	6	10			1	1																			1		
	1	4	2																									
	267	256	270				3	3	3			5		42	18	14										1	笠塔婆3	
	10	7	11	2								1				1					1	1						
	2	2	2	2																								
	8	2	2	4	1																							
	6	11	9	4																								
	18	23	18	15																								
		1	1																									
	8	6	6		1							5		8	9						1							
	12	10	6	6										2	2						1	2					笠塔婆1 地輪塔1	
	13	22	15	14																								
	12	18	16	18										1	1												自然石塔婆1	
					1																							
	6	1	3	3																								
	1	4	3	2																								
	1																											
	1	2																										
	5	5	5	2																								
	1	7	4	4											1													
		1																										
			2																									
	3																											
	48	46	42	37		1	1		1		1	2																
	1	2	2	1																								

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍料年の年号	指定区分	参考文献	掲載地図番号
158	大日堂重龍印塔	安岐町 明治 藤田	南北朝～室町	藤田山麓北方丘陵にある大日堂境内に安置印塔1基がある。総高さ210cmで、塔身正面に安置輪が浮き彫りにされ、頂部三曲に新羅(バク)、唐(ツク)、昇(ヤク)の字が彫刻されている。			37	13 E-7
159	江口家墓地石塔群	安岐町 明治 藤田	室町～戦国	藤田山麓西方の山中にある墓地で、平気墓と伝えられる石塔群がある。唐様、一石五輪塔が認められる。				13 E-7
160	龍泉寺石塔群	安岐町 明治 藤田 寺田	室町～戦国	龍泉寺境内正部に、龍泉寺一帯の境内と想われる空室の石塔群がある。しかし、寺域内遺構遺跡の中心部を占める石塔群は、龍泉寺境内にあり、本寺境内には石塔が安置されておらず、無縁塔3基、石刻1基、五輪塔4基が認められる。石塔については今と考えられる方位碑があり、側面に「千寿年廿五(1418) 龍泉寺三月二日」の紀年銘がある。	応永25 (1418)	市野形 (無縁塔)	17-26 34-37 39	13 E-7
161	東弘山石塔群	安岐町 明治 藤田	室町～戦国	中野弘山北方の東弘山にある。総高さ100cm程度の空室塔で、無縁を骨格とし五輪塔の形式で、塔身は佛具の文様による多様な小型の彫刻が施されている。室町～戦国時代の作であろう。			17-37	13 E-7
162	龍泉寺石塔群	安岐町 明治 藤田	室町～戦国	龍泉寺境内正部に、龍泉寺一帯の境内と想われる空室の石塔群がある。しかし、寺域内遺構遺跡の中心部を占める石塔群は、龍泉寺境内にあり、本寺境内には石塔が安置されておらず、無縁塔3基、石刻1基、五輪塔4基が認められる。石塔については今と考えられる方位碑があり、側面に「千寿年廿五(1418) 龍泉寺三月二日」の紀年銘がある。			17-37	13 E-7
163	寺岡遺構碑と周辺石塔群	安岐町 明治 小栗 寺岡	南北朝～戦国	木津大日堂遺構を安置した小室の墓に南北朝期の作と思われる石塔1基がある。また同様の石塔は、寺岡遺構跡の中心部を占める石塔群の一部として認められる。室町～戦国時代の作であろう。	元正13 (1385)	市野形 (無縁塔)	17-35 37	13 E-8
164	金南院跡塔塚と周辺石塔群	安岐町 明治 小栗 中台	南北朝～室町	中台遺構跡の跡地に空室塔があり、境内には無縁、五輪塔、五輪塔などがある。このうち五輪塔の左右側面に「永正十六(1519) 八月二日」の銘文が認められる。	永正16 (1519)	市野形 (無縁塔)	17-37	13 E-8
165	柳井田石塔群	安岐町 明治 藤田 柳井田	鎌倉～南北朝	丘陵上に所在する。石塔ととも刻されているが、この石塔1基は元永202cmで、塔身に文殊様(マン)と「長享元年(1321)八月朔日、のちみづから、また、この1基にも「大願」の彫刻がある。	元永元年 (1321)		17-37	13 F-8
166	柳井田石塔群	安岐町 明治 藤田 柳井田	戦国	柳井田遺構跡の跡地に空室塔があり、境内には無縁、五輪塔、五輪塔などがある。このうち五輪塔の左右側面に「永正十六(1519) 八月二日」の銘文が認められる。			17-37	13 F-8
167	志ノ尾墓地石塔群	安岐町 明治 藤田 志ノ尾	室町～戦国	沢尻尾の墓地に認められる石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 F-7
168	成瀬遺構印塔	安岐町 明治 藤田 成瀬	室町～戦国	成瀬遺構跡の跡地に空室塔があり、境内には無縁、五輪塔、五輪塔などがある。このうち五輪塔の左右側面に「永正十六(1519) 八月二日」の銘文が認められる。			17-37	13 G-8
169	成瀬石塔群	安岐町 明治 藤田 成瀬	室町～戦国	成瀬遺構跡の跡地に空室塔があり、境内には無縁、五輪塔、五輪塔などがある。このうち五輪塔の左右側面に「永正十六(1519) 八月二日」の銘文が認められる。			17-37	13 G-8
170	龍泉寺石塔群	安岐町 明治 藤田	鎌倉～戦国	龍泉寺境内正部に、龍泉寺一帯の境内と想われる空室の石塔群がある。しかし、寺域内遺構遺跡の中心部を占める石塔群は、龍泉寺境内にあり、本寺境内には石塔が安置されておらず、無縁塔3基、石刻1基、五輪塔4基が認められる。石塔については今と考えられる方位碑があり、側面に「千寿年廿五(1418) 龍泉寺三月二日」の紀年銘がある。	正応4 (1291) 長祿4 (1320)	龍泉寺 石塔 群 (無縁塔)	17-26 35-37	13 G-8
171	鹿神社石塔群	安岐町 明治 藤田	戦国	鹿神社境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。	弘治2 (1556)	市野形 (無縁塔)	26-36	13 G-8
172	京都石塔群1	安岐町 明治 藤田 京都	室町～戦国	京都小学校の境内に五輪塔、安置印塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
173	京都石塔群2	安岐町 明治 藤田 京都	室町～戦国	京都小学校の境内に五輪塔、安置印塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
174	龍泉寺石塔群	安岐町 明治 藤田 龍泉寺	南北朝	龍泉寺境内正部に、龍泉寺一帯の境内と想われる空室の石塔群がある。しかし、寺域内遺構遺跡の中心部を占める石塔群は、龍泉寺境内にあり、本寺境内には石塔が安置されておらず、無縁塔3基、石刻1基、五輪塔4基が認められる。石塔については今と考えられる方位碑があり、側面に「千寿年廿五(1418) 龍泉寺三月二日」の紀年銘がある。	元永4 (1324)	龍泉寺 (無縁塔)	17-35	13 H-8
175	生目神社石塔群	安岐町 明治 藤田	室町～戦国	生目寺境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
176	大塚一石五輪塔	安岐町 明治 藤田 大塚	鎌倉～南北朝	西宮寺境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
177	三枝家墓地五輪塔群	高野町 横手 山田	室町～戦国	三枝家墓地に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
178	高良陣跡塔塚石塔群	高野町 河内	南北朝～戦国	高良陣跡の跡地に空室塔があり、境内には無縁、五輪塔、五輪塔などがある。このうち五輪塔の左右側面に「永正十六(1519) 八月二日」の銘文が認められる。			17-37	13 H-8
179	神宮寺塔塚と周辺石塔群	高野町 横手 山田	鎌倉～戦国	神宮寺境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
180	神宮寺石塔群	高野町 横手 山田	戦国	神宮寺境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
181	河野家墓地五輪塔群	高野町 横手 山田	戦国	河野家墓地に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
182	行人入落墓地五輪塔群	高野町 横手 山田	戦国	行人入落墓地に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
183	不動堂石塔群	高野町 横手 山田	南北朝～戦国	不動堂境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
184	法泉院跡塔塚五輪塔群	高野町 横手 山田	戦国	法泉院跡の跡地に空室塔があり、境内には無縁、五輪塔、五輪塔などがある。このうち五輪塔の左右側面に「永正十六(1519) 八月二日」の銘文が認められる。			17-37	13 H-8
185	行人五輪塔群	高野町 横手 山田	戦国	行人五輪塔群に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
186	行人入落墓地石塔群	高野町 横手 山田	戦国	行人入落墓地に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
187	行人寺石塔群	高野町 横手 山田	南北朝～戦国	行人寺境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
188	熊川五輪塔群	高野町 横手 山田	戦国	熊川五輪塔群に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
189	高良小堂一石五輪塔	高野町 横手 山田	戦国	高良小堂一石五輪塔に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
190	小川五輪塔群	高野町 横手 山田	戦国	小川五輪塔群に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8
191	廣徳寺山無縁塔及び周辺石塔群	高野町 横手 山田	南北朝～戦国	廣徳寺境内に所在する石塔群に五輪塔の石塔群が認められる。			17-37	13 H-8

地形及び躯体数																											
五輪系					宝篋印塔					宝塔					願東塔	板碑	一石五輪塔	願輪塔	角柱塔婆	石幢	石殿	その他の塔形					
瓦存	空蓋輪	火輪	水輪	地輪	瓦存	樓輪	笠	塔身	塔頭	願輪	瓦存	樓輪	宝珠	笠	塔身	塔頭	基壇	基壇	塔	碑	一石五輪塔	願輪塔	角柱塔婆	石幢	石殿	その他の塔形	
				1																							
																			1	1							
1	1		1		2		1		1													3			1		
																			2								
1		10	1	6																							
																				2	4						
			10	10															1	3							笠塔婆1
																			2								
2	1	1																			1						
2	1	5	2																								
										1																	
5	18	11	10																1	10							
7	2	1	2	2																	2	4			1		
																					1						
1	2	2	3				1																				
																						2					
																				1							
1	20	10	10																		3						
																					1						
6	8	2																				8					
11	20	13	15								1	1						1	1	16				1			
1												1						3	3				1			三層塔1	
1	5						1	1												1							
1	1																					2					
2	3	2	1																		4						
4	6	3	3												2	1					5	1	2				
					2																	1					
																						1					
																						1					
																						2					
							2								1							1					
1	1	3	1																			5					
																						1					
7	4		1																			11					
23	44	49	19	1	1	3	1	3						3	11	12	3				8	6	20	25	2	笠塔婆1	

番号	名称	所在地	建立時期	要 素	資料調査 の年号	指定 区分	参考 文献	国史 指定 番号
192	坂平屋敷墓五輪塔群	国東町 兎地	戦国	墓室造と伝えられている石塔は、一石塔の基壇上に墓室造の墓塔がのり、その上に五輪塔外輪がそれそれの形。墓室は墓塔の中心であり、相輪は上方が欠失している。いずれも乾漆塗の石材であるが、組合せは異なるものである。この丘頂部西側の下に石塔墓塔が並べられている。		市有形 文化財		14 A-4
193	中田一石五輪塔群	国東町 中田	戦国～近世初期	東邊塔に球を飾一石五輪塔を3層並べている。				14 A-4
194	松岡寺石塔群	国東町 中田	南北朝～戦国	境内に南北朝の石塔と石塔が存在する。石塔は単が尖つた、厚板は薄板である。厚板は表裏面に作つた王冠が、また、左右面に丸腕の四脚塔が組まれている。				14 A-5
195	飯田家四七輪五輪塔群	国東町 中田	戦国	コンクリートで覆蓋された一角に五輪塔群が並べられている。				14 A-5
196	小畑石塔群	国東町 横手 小畑	戦国	木造の土台下に石塔群が並べられているが、近隣は本堂等と関連する石塔群である。				14 B-4
197	本蓮寺石塔群	国東町 横手 小畑	戦国	受肉内輪の一角に石塔群が並べられているが、建設する本蓮寺とする石塔群である。				14 B-4
198	本蓮寺石塔群	国東町 横手 小畑	戦国～近世初期	本蓮寺に隣接する小川家墓塔群の間に石塔群が並べられているが、本蓮寺本蓮寺の石塔造と一連のものであると考えられる。				14 B-4
199	赤沢寺石塔群	国東町 横手	室町～戦国	溝ノ内町の赤沢に2つの石塔の存在が知られている。このほかにも参道入口の石塔群にも見られる。				14 B-4
200	高橋堂石塔群	国東町 中田	戦国	小畑の山の斜面に平地を造り、2つの石塔を置いている。下段の石塔群は墓に建てられているため確認数より多いものと思われる。				14 B-5
201	友成家墓地石塔群	国東町 中田	戦国	友成家墓地の裏に石塔が並べられている。組合せは本来のものではなく、戦国期のものが多いと考えられるが、墓造と墓塔が当初のものである。墓塔は南北朝の形に近いものと思われる。				14 B-5
202	東光寺石塔群	国東町 中田	室町～戦国	本蓮寺の裏手に石塔が並べられている。高橋堂の形は南北朝の形であり、その他の形は室町期の形である。				14 B-5
203	寶鏡家墓地と 周辺石塔群	国東町 岩屋	戦国～近世初期	丘陵地斜面に2つの石塔を造り、配石土上に石塔を並べている。土壇には厚板が尖つた有形石塔外輪と有形の石塔が並べられて、下に丸腕の四脚塔と相輪塔が並べられて、その下に石塔が並べられている。このほかにも参道入口に一石五輪塔が並べられている。		市有形 文化財		14 B-4
204	岩屋高橋堂地 五輪塔群	国東町 岩屋	戦国	墓地の裏手に2つの石塔が並べられている。このほかにも参道と相輪塔にも見られるが、一連のものである。				14 B-4
205	高橋堂五輪塔群	国東町 岩屋	戦国	参道に沿って山の斜面の平地に建てられているが、その下に五輪塔が並べられている。				14 B-4
206	堀之内墓堂石塔群	国東町 岩屋	戦国	参道に沿って山の斜面の平地に建てられているが、その下に五輪塔が並べられている。				14 B-4
207	東林家墓地石塔群	国東町 岩屋	戦国～近世初期	堂裡に建てられた墓塔に石塔が並べられている。				14 B-5
208	洞窟家墓地石塔群	国東町 岩屋	戦国	近世墓地の一角に石塔群が並べられている。				14 B-5
209	下藤家墓石塔群	国東町 赤松 下	南北朝～戦国	参道下の下に石塔が並べられているが、組合せは本来のものではない。				14 C-2
210	左近坂碑	国東町 赤松	鎌倉	参道から入った中に建てられている有形石塔の形である。碑身は石塔の形であり、裏面に左近の文字が彫刻されている。表面は石塔の形である。	正中3 (1320)	市有形 文化財	35	14 C-2
211	阿外陀堂石塔群	国東町 赤松 第一	南北朝～戦国	境内の斜面に2つの石塔ととも石塔群が並べられている。中でも、墓塔は南北朝～室町期のものと考えられ、墓～墓塔を一つでつくり、相輪を彫刻した形を一つでつくり、相輪は墓塔と墓塔、墓塔が並べられているが、同一墓塔のものとは異なる。				14 C-3
212	利生寺五輪塔群	国東町 赤松 中	戦国	山門をくり抜く石塔の形に石塔と五輪塔が並べられている。				14 C-4
213	利生寺聖代住職墓 一石五輪塔	国東町 赤松 中	戦国	墓地の中央に石塔と五輪塔が並べられているが、組合せは本来のものではない。				14 C-4
214	赤松高橋堂地石塔群	国東町 赤松	戦国	墓地の裏手に2つの石塔が並べられているが、組合せは本来のものではない。				14 C-4
215	阿外陀堂石塔	安部町 高子 一色丸ノ上	戦国	中分境内に、阿外陀堂と呼ばれる1階半四方の小屋がある。境内に一石五輪塔が1基安置されている。				37 14 E-1
216	小幡社宝篋印塔	安部町 高子 天徳	戦国	境内に宝篋印塔が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。	17-37			17-37 14 E-1
217	小幡寺宝篋印塔	安部町 高子 天徳	戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				37 14 E-1
218	西嶺寺石塔群	安部町 高子 上	南北朝～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。		市有形 文化財	17-37	14 F-1
219	西堂寺石塔群	安部町 高子 寺台	室町～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				37 14 G-1
220	中台八幡神社石塔	安部町 高子	戦国	八幡神社境内に一石五輪塔が並べられている。				14 G-1
221	地蔵石塔群	安部町 高子	戦国～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				14 H-1
222	地蔵堂輪塔群	安部町 高子	室町	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。		市有形 文化財	17-37	14 H-1
223	経師寺石塔群	安部町 高子 永徳の本	南北朝～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。		市有形 文化財	17-37	14 H-1
224	日吉地蔵堂地 石塔群	安部町 丸小 高子	戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				17 14 I-2
225	同光寺西嶺 石塔群	安部町 丸小 高子	戦国～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				17 14 I-2
226	丸小野寺石塔群3	安部町 横手 千福	南北朝～室町	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。		市有形 文化財	2-25 36	14 E-2
227	丸小野寺石塔群2	安部町 丸小 高子	戦国～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				34 14 E-2
228	丸小野下公民館 五輪塔	安部町 丸小 高子	戦国～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				14 E-3
229	山元家石塔群	安部町 南田	室町～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				14 E-3
230	世良家 大坪家共有 内石塔群	安部町 上高野 大坪シカイ	室町～戦国	境内に宝篋印塔の形が並べられている。宝篋印塔は、相輪の四角に宝篋印塔の形が並べられている。また、宝篋印塔の形が並べられている。				14 E-3

五輪塔															宝篋印塔															宝塔															塔形及び備体数														
完存	半壊	火焼	水陥	埋没	欠存	増輪	笠	塔身	基礎	基壇	光存	相輪	宝珠	笠	塔身	基礎	基壇	圓珠	板碑	一石五輪塔	無縁塔	角柱塔婆	石幢	石脚	その他の塔形																																		
	8	9	4	10																	2																																						
																					3																																						
																				1				1																																			
		2	1	1																	2																																						
		3						2	1	3																																																	
		3	2			1	1													1	4				笠塔婆3																																		
	17	9	8			1	1								1	1				2	5				笠塔婆5																																		
																									石仏3																																		
	13	19	14	11								1	1	1	1						9																																						
	22	9	16	17				1	1			2		1	1						3		1																																				
	14	10	16	4	1							3	7	2	2				4		1																																						
		1			1						1	1		4			1	2																																									
	2	1	3																		4																																						
	1																				2																																						
	9	17	2	3									1								2																																						
		1		2																1	2																																						
	2	3	4				5	2				1	1								6																																						
																					1																																						
			1				1	1		1			1							1	1			3																																			
	1	1	1	1																	1																																						
																					1																																						
	9	10	17	16									3	7	2	3			1		6																																						
																					1																																						
						1																																																					
	1																																																										
	2	1	1	1															1	1					横穴1																																		
		1	1	1	1																																																						
																					1																																						
	5	1	1				2																		横穴碑																																		
	3	9	7	9	1																11																																						
	2		4	2																	1																																						
		1	3	2																	4																																						
						1															1			1																																			
	9	5	11	3								3								1	5																																						
		1																																																									
	1	3	3	2																	8																																						
	1	1	1	1																	1																																						

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍期間の年号	指定区分	参考文献	掲載順番号
231	熊野の山神社五輪塔	箕道町 上原田	室町～戦国	西から東へ下る谷筋の両側斜面にある山神社背後の土手にある。				14 E-3
232	多興神社石塔群	萩町 上原田	室町～戦国	熊野の山神社をまつた所にある多興神社の石塔群。平地あり、かつては寺があったのではなからうか。				14 C-2
233	丸小野寺石塔群	萩町 丸小野	南北朝～室町	本堂前の境内にある塔群。宝篋山(興津寺)からなる。石塔の一つは高さ175cmあり、(寛永元(1424))と高野聖を記すである。空には熊野が記されている。	永享元(1342)	萩市(萩城跡)	2, 25 35	14 B-2
234	中瀬共尊聖地石塔群	萩町 中瀬	室町～戦国	山神社に近い(熊野道(山)の)戸世道沿に五輪の石塔がある。				14 E-4
235	久保庵十王聖石塔群	萩町 久保庵	室町～戦国	10体の木製十王聖を祀る境内にある。十王聖は石塔で構成の石塔群である。				14 E-4
236	光福寺石塔群	萩町 上原田	室町～戦国	かつて光福寺があったとされる場所である。「光福寺」と名字のある石塔は安土桃山時代のものとされ、石塔聖徳を記す。空には熊野が記されているように、「びしゃもん羅」と呼ばれている。		市南形(萩城跡)	16	14 F-4
237	北内藤部石塔群	萩町 藤部ノ口	室町～戦国	西から東へ下る坂の途中に並ぶ。境内に石仏。堂外北部の境内に五輪塔・宝篋印塔などが位置する。白川を挟んで東側に位置する小瀬川(和歌山)の河川敷跡ととも、境内には「西仏(りょうぼう)塔」と呼ばれる。塔群には中央に四角形塔のほかに、地盤下石塔がある。なお、塔群中央の西側に、四角形塔があるように。				14 F-4
238	下麻田・横家聖石塔	萩町 下麻田	室町	下麻田・横家聖の聖徳をまつた石塔群である。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群が並び、境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 E-4
239	小瀬川河原聖石塔群	萩町 下麻田	室町	下麻田・横家聖の聖徳をまつた石塔群である。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 F-4
240	小瀬川河原聖石塔群	萩町 下麻田	室町	下麻田・横家聖の聖徳をまつた石塔群である。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 F-4
241	松ヶ谷大山聖神社石塔群	萩町 松ヶ谷	室町～戦国	大山聖神社の境内に五輪塔があり、その背後の境内に並ぶ。				14 F-3
242	中日向清原聖地石塔群	萩町 中日向	室町～戦国	西から東へ下る谷筋の両側斜面にある山神社背後の土手にある。				14 F-3
243	西光寺石塔群	萩町 西光	南北朝～室町	西光寺の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。	寛永4(1327)	萩市(萩城跡)	16	14 F-3
244	西福平一子一石五輪塔群	萩町 西福平	室町～戦国	萩平の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 G-3
245	山口河原聖地石塔群	萩町 山口	室町～戦国	山口河原の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 G-3
246	安楽聖地石塔群	萩町 高弘	室町～戦国	安楽聖地の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 G-3
247	宮弘一代の墓	萩町 宮弘永春寺	室町～戦国	永春寺の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 G-3
248	塔ヶ谷六地蔵	萩町 塔ヶ谷	江戸?	塔ヶ谷の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 G-4
249	永春寺の石塔群	萩町 宮弘永春寺	室町～戦国	永春寺の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 G-3
250	武蔵寺石塔群	萩町 下麻田	室町	武蔵寺の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 F-4
251	麻田カイテ地蔵堂石塔群	萩町 麻田カイテ	室町	麻田カイテの境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 F-4
252	麻田カイテ五輪塔	萩町 麻田カイテ	室町～戦国	麻田カイテの境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 F-4
253	法親寺の石塔群	萩町 下原田	室町～戦国	法親寺の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 F-3
254	竹内聖石塔群	萩町 手形	室町	竹内聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 G-5
255	地蔵堂聖塔	萩町 川原	戦国	地蔵堂の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-5
256	八坂聖五輪塔群	萩町 八坂	戦国	八坂聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-5
257	三好聖五輪塔群	萩町 三好	戦国	三好聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 C-5
258	神田家聖地石塔群	萩町 神田	戦国	神田家の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 C-5
259	地蔵堂石塔群	萩町 原	戦国	地蔵堂の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 C-8
260	山吹聖地五輪塔群	萩町 山吹	戦国	山吹聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 C-5
261	山吹聖地五輪塔群	萩町 山吹	戦国	山吹聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 C-5
262	平等寺石塔群	萩町 萩	戦国	平等寺の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-6
263	常楽院石塔群	萩町 川原	戦国	常楽院の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-6
264	川原聖塔と周辺石塔群	萩町 川原	鎌倉～戦国	川原聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-6
265	海未聖地石塔群	萩町 萩	南北朝～戦国	海未聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-6
266	本田聖地一石五輪塔	萩町 萩	戦国	本田聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-6
267	清家聖地五輪塔群	萩町 萩	戦国	清家聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 B-6
268	清家聖地石塔群	萩町 萩	戦国	清家聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 C-8
269	松本聖地石塔群	萩町 萩	戦国	松本聖の境内に五輪塔・石塔群がある。境内には熊野の聖徳をまつた石塔群がある。				14 C-6

地形及び個体数																										
五輪塔				宝篋印塔					宝塔					国定塔	経碑	一石五輪塔	駒込塔	角柱塔	石櫓	石廬	その他の塔形					
充存	空塔	火焼	水輪	地輪	充存	相輪	笠	塔身	基礎	基壇	充存	相輪	宝珠	笠	塔身	基礎	基壇	国定塔	経碑	一石五輪塔	駒込塔	角柱塔	石櫓	石廬	その他の塔形	
																				1						
	5	16	10	4		1	1		1	2										26						
												2														
			3	2	2		1														1					
	1	2																			3					
	5	11	6	9	1													1		6						
9	1	2			1	1																				石造阿弥陀如来1 石造地藏10
																									1	
5	1	2	1	1	1							2														
	1	1																			4					
	2																				1					
	5		1	1		1															13					
																			1	2	1			1		薬師堂1、石仏1
						1									1						2					
																					1			3		石仏5
3																			1							
4	1			1							1								1			7				
																									1	
	1									1																2
			1	1		1					10	1		1					1		4	4				2
	3	2																								1
				1	1																					
	2	5	1	1																	6				1	
1	1	9	4	1				1		1	1										21					
											1															
			1	1																						
	1	1																								
	4	6	5												1				2		2					
	2	2	3																			2				
	1	2	3	4																		2				
			7	2																		1			1	
	9	6	9	7				1				2		1							11					薬師1
1	7	5	5	8								1	3	2	2					3	2					
	2	1	2									1						1								
																						2				
	2	3	2																			1				
	1	2	1																			2	1			
	2	13	3	4											1							2	1			

番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍資料の年号	指定区分	参考文献	掲載地図番号
270	遍満寺五輪塔群	国東町 早町	戦国	境内および近代住職事務所、五輪塔群が散在する。				14-B-6
271	十王堂石塔群	国東町 原	戦国	十王堂の南西角の墓地に石塔がみられる。				14-C-8
272	原小堂跡石塔群	国東町 原	戦国	小堂跡に近世の石塔群とともに中世の石塔群が置かれている。				14-B-6 14-B-5
273	地蔵堂石塔群	国東町 原	室町～戦国	地蔵堂周辺に石塔群が置かれている。				14-B-5
274	国東市歴史民俗資料館石塔群	国東町 安国寺	南北朝～戦国	国東市館の境内に置かれているが、かつては堂内や資料館の側に置かれていたものを移設したものである。		市有前		14-C-6
275	霧家墓地五輪塔群	国東町 安国寺	戦国～近世初期	近代墓化し、整備された墓地の隅に一石五輪塔が置かれている。墓地形成に際し、移設されたものである。				14-C-6
276	川原一石五輪塔	国東町 川原	戦国	近世墓地中の大貫妙興寺の境内に石五輪塔が設置されている。				14-B-7
277	吉木集落西墓地石塔群	国東町 北江	戦国	近代墓化されて整理された墓地中に石塔群が散在する。				14-B-7
278	吉木集落中墓地石塔群	国東町 北江	南北朝～戦国	近世の「大貫妙興」の周辺に石塔群が置かれているほか、近代墓化された墓地中にも石塔が散在する。そのほとんどが戦国期のものであるが、五輪塔の群に南北朝期に造られたものも存在する。				14-B-7
279	吉木集落東墓地石塔群	国東町 北江	戦国	近代墓化されて整理された墓地中に近世墓塔と並んで五輪塔群が集積されたり、組みつけられたりしている。				14-B-7
280	吉松家祠石塔群	国東町 北江	戦国	石松の境内に石塔群が置かれている。				14-B-7
281	阿陀陀堂石塔群	国東町 田原	戦国	近年、移設された阿陀陀堂境内に石塔群が置かれているが、これらも移設されたものである。				14-B-7
282	吉木集落東石塔群	国東町 北江	南北朝～戦国	小貫集に石塔群が置かれている。				14-B-7
283	吉木九重通と高辺石塔群	国東町 北江	鎌倉～南北朝	高辺通の九重通（奥有内）は塚廻のみならず完形である。この高辺に石塔群が散在する。				14-B-7
284	曾根神社・八雲神社石塔群	国東町 田原	鎌倉～戦国	隣接する両社の境内に石塔群がみられる。ほとんどが戦国期のものであるが、曾根神社にみられる五輪塔は鎌倉末～南北朝前期のものである。				14-B-8
285	浄念寺石塔群	国東町 田原	南北朝～戦国	境内に石塔群が置かれている。境内から持ち込まれたものである。五輪塔は南北朝～戦国期のものである。				14-B-8
286	定持院石塔群	国東町 安国寺	戦国	定持院の境内、山内下分、石木堂周辺、近代住職事務所等、各所に石塔群がみられる。五輪塔・五輪塔に隣しては、組内寺が本来のものでは存在しないが、各塔群の併存がみられる。				14-C-7
287	佐藤家集落石塔群	国東町 安国寺	戦国	定持院の佐藤家の入口や集落に石塔群が置かれている。定持院期のものである。				14-C-7
288	安国寺集落墓地石塔群	国東町 安国寺	戦国	墓地の区画や区画外供養の塚に石塔群が散在する。五輪塔は平基と蓋のみがみられる。				14-C-7
289	安国寺石塔群	国東町 安国寺	鎌倉～戦国	参道石塔群や墓地跡下段、熊山堂などにも石塔がみられる。中でも、熊山堂裏の石塔群は花崗岩製の五輪塔、五輪塔の群であり、戦国時代に集積から持ち込まれたと伝えられている。				14-C-7
290	安国寺住職墓地石塔群	国東町 安国寺	戦国	安国寺の境内に近代住職墓地を以て、3階級に分けて石塔のまとまりが確認できる。本来は同じ場所に存在したものと考えられる。				14-C-7
291	高師堂石塔群	国東町 安国寺	戦国	高師堂境内に石塔群が置かれている。				14-C-7
292	娘塚寺五輪塔群	国東町 安国寺	戦国	境内の一角に2階級に分けて五輪塔群が置かれている。				14-C-7
293	安国寺集落墓地石塔群	国東町 安国寺	戦国	墓地の隅に近世に改築された石塔が置かれており、いずれも石塔群が散在している。五輪塔は五輪のみである。				14-C-7
294	榎八幡町墓地石塔群	国東町 田原	戦国	近世以前の墓地の中に中世の石塔群が置かれている。				14-C-8
295	西村寺石塔群	国東町 田原	南北朝	境内に完形の五輪塔がある。石の五輪塔と蓋は土にけりは戦国のものであり、蓋は戦国である。境内には梵字種子の四方門を基礎跡にしている。				14-B-8 14-C-8
296	事代主神社石塔群	国東町 鶴川	戦国	神社の一角に石塔群が置かれている。				14-C-8
297	興寿寺石塔群	国東町 鶴川	戦国	境内の一角に石塔群が置かれている。境内から持ち込まれたと伝えられている。				14-C-8
298	地主神社石塔群	国東町 鶴川	室町～戦国	境内の一角に置かれているが、明治には本来のものでない。神社の北にある高師堂跡にあってのもを移設したと伝えられている。				14-C-8
299	清涼家集落墓地石塔群	国東町 鶴川	戦国	境内の一角に石塔群が置かれているが、組内寺は本来のものでない。				14-C-8
300	高嶋家集落墓地石塔群	国東町 鶴川	戦国～近世初期	近世中世集落中世に石塔群がみられる。				14-C-8
301	園田集落墓地石塔群	国東町 鶴川	南北朝～戦国	近代墓化や整備に際し石塔群が置かれている。ほとんどが戦国期のものであるが、一部に南北朝に造られたものもあり、戦国期には高師堂の墓の中にもある。				14-C-8
302	十王石塔群	国東町 鶴川	戦国	グラウンド横の一角に丸彫りの石塔十柱を一字の並びに設置しており、その奥部に石塔群が散在する。四角高松グラウンドから移設されたと考えられている。	34			14-C-8
303	馬場家集落墓地石塔群	国東町 鶴川	戦国	墓地の一角に相違なく完形の五輪塔と五輪塔群が置かれている。				14-D-8
304	上小野地集落五輪塔群	国東町 小野	戦国	地蔵堂境内に石塔群が置かれている。				14-D-6
305	谷鐘寺石塔群	国東町 小野	戦国	本堂前に一石五輪塔がある。また、参道境内に近代住職墓地があり、半を欠く五輪塔群や相違なく完形の五輪塔がみられる。				14-D-6
306	教諭寺宝印塚	国東町 小野	南北朝～室町	山内陣に準じて造られている相違なく完形の五輪塔群である。境内には梵字種子に梵字種子を大きく彫刻されている。				14-D-7
307	小野地集落五輪塔群	国東町 小野	戦国	地蔵堂境内に石塔群が散在する。石塔は五輪のみである。				14-D-7
308	阿陀陀堂石塔群	国東町 次郎丸	戦国	境内に石塔群が集積・散在している。石塔は五輪のみであり、十王を裏切っており、石塔は五輪のみであり、蓋は土にけりは戦国のものである。				14-E-5
309	次郎丸遺跡	国東町 次郎丸	南北朝	山の斜面に5×10m程度の平坦地をつくり、自然石を加えて造られた。高さ約1.07mの12面の石塔群を形成している。真鍮には扉扉・蓋等は認められない。		市有前		14-E-5
310	新倉家集落五輪塔群	国東町 次郎丸	戦国	新倉家境内に石五輪塔が置かれている。				14-E-7
311	経蔵寺集落墓地石塔群	国東町 次郎丸	戦国	移設された墓地の各所に石塔群が置かれている。中でも、鎌倉期周辺に集積され、近代住職墓地の中央には約10mを越える五輪塔の五輪塔が置かれている。				14-E-7
312	藤津町集落墓地石塔群	国東町 小野	戦国	近代墓化された近世墓地の奥地に石塔群が散在する。				14-F-8

塔形及び数																				
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				国東塔	板碑	一石五輪塔	兼縁塔	角柱塔婆	石礎	石燈	その他の塔形	
梵字	雲雲輪	火輪	水輪	地輪	梵字	相輪	笠	塔身	基壇	梵字	相輪									宝珠
	2	2	3	2																
	3															2				十王
	2		1				1		1											
	7	2	4				2		1							4				
			1							1	1			1		2				
	1	2	1									1								
	8	10	5	8								4				2				
	2	5	3	2																
		2																		
	2	2	2																	
	4	8	2										1							
	8	10	8	5																層塔1
	7	5	8								1									
		6											1	1						
	13	8	14	3	1							3	4	1		2	26	6		1
	1	2	2																	
	4	2	2																	
	9	12	3	2							3	2								1
	17	20	16	7			1				4	9	4	1		3	1	7	5	
		2	3				1	1												1
		9	2	3																2
	4	8		11							1	1	4			1				4
	6	5	11	6							1	2	1							3
							1													
		3	1	1				1												2
	3	9																		
	23	12	14	11			1	1												3
	11	13	10	8																3
	2	4	4	3																1
	15	11											2							1
	1	3	2																	1
	2	2	1								1									
	1	6																		1
											1			1						1
							1													
	6																			2
	13	3	19	6				1												9
																				1
	11	6	4	1					1	1										14
	2	1	4	2																3

番号	名称	所在地	建造時期	概要	在籍史料の 番号	指定 区分	参考 文献	補遺 地図 番号
313	網井高麗池石塔群	国東町 網井	南北朝～戦国	異文化化した基地の各家の墓石集積の中に中世石塔の群がみられる。ほとんどが戦国期のものであるが、南北朝期のものが少数散見されている。				14-F-7
314	網井高麗池石塔群3	国東町 網井	戦国	異文化化した近世墓地中の墓石に中世の石塔群が置かれている。				14-F-7
315	網井大塚堂石塔群	国東町 網井	南北朝～戦国	大塚堂跡、石塔と塚を欠く真中の大型堂屋印がある。この堂屋の礎には墓壇に準拠したものである。この堂屋が大塚堂の墓壇に準拠し、石塔群が置かれている。				14-F-7
316	網井高麗池石塔群2	国東町 網井	戦国	高麗池中に石塔群が置かれている。				14-F-7
317	網井豊沙門堂石塔群	国東町 網井	戦国	豊沙門堂の南側に石塔群が置かれている。				14-F-7
318	重藤堂墓地石塔群	国東町 重藤	戦国	片塚遺跡を利用した墓地の跡に石塔群がみられる。				14-G-7
319	清水墓地五輪塔群	国東町 網井	戦国	海岸に四方水在中の墓地に寺一人墓大の川原石からなる五輪塔があり、その奥石内に石塔群がみられる。				14-F-8
320	網井海岸墓地石塔群	国東町 網井	戦国	異文化化した寄せ集められた近世墓地中に中世の石塔群が置かれている。				14-F-8
321	原藤五輪塔群	国東町 重藤	戦国	遺跡に置いた防火土の壁に石塔が置かれ、その周辺に五輪塔群がみられる。埋もれているものも存在すると考えられる。				G-7
322	藤田十五堂石塔群	国東町 藤田	室町	十五堂の中に10体の十五石塔とともに、写経石三尊と六地藏を上下に浮彫りしている石塔や坐像4尊をもつ遺構や坐像2体の石彫り石仏が納められている。	国東町 (1308)	国東町 (石仏)		14-G-7
323	徳丸家石塔群	武蔵町 池の内	戦国	徳丸家の入り山石塔五輪塔を中心とする石塔群が寄せ集められる。				14-G-7
324	蓮華寺石塔群	武蔵町 池の内	戦国	蓮華寺の境内西側に境内に五輪塔などの石塔群が存在する。				14-G-7
325	蓮華寺南石塔群	武蔵町 池の内	戦国	蓮華寺南側の近世墓地内に五輪塔の石塔と一石五輪塔がある。				14-G-7
326	五成家石塔群	武蔵町 手野	戦国	五成家家の境内に五輪塔を欠いた石塔群が置かれている。				14-G-5
327	虚空蔵菩薩石塔群	武蔵町 手野	戦国	虚空蔵菩薩の境内に虚空蔵菩薩の石塔群が置かれている。				14-G-5
328	円明寺石塔群	武蔵町 成吉	鎌倉～戦国	円明寺本堂南側に市形市の宝篋印塔があり、浄土の意にもコンクリートで固められた石塔群がある。				14-H-6
329	厚田家石塔群	武蔵町 成吉	鎌倉～戦国	厚田家墓壇の川原の地に石塔群を築き、墓壇をコンクリートで固定する。永仁三年頃の棟札は存在する。				14-H-6
330	厚田家墓地南石塔群	武蔵町 成吉	戦国	厚田家十五堂(市指定)の南に置かれた南側に宝篋を中心とした石塔群がある。				14-H-6
331	川崎家墓地石塔群	武蔵町 成吉	戦国	川崎家墓地の地に石塔群を築いている。				14-H-6
332	川崎家墓地南石塔群	武蔵町 成吉	戦国	川崎家墓地南側の15mにある石塔群。				14-H-6
333	武蔵中北西墓地石塔群	武蔵町 成吉	戦国	武蔵中北西の近世墓地の一角に石塔群が寄せ集められる。				14-H-6
334	花木家西石塔群	武蔵町 志保町	戦国	花木家の西側に石塔群を築いている。				14-H-5
335	豊沙門堂石塔群	武蔵町 成吉	戦国	豊沙門堂家系の境内に建てられた石塔(佛石塔あり)に石塔群が置かれている。				14-H-6
336	高麗五輪塔群	安岐町 矢川	室町～戦国	中ノ川遺跡は高麗の山形中に墓壇とみられる遺跡がある。遺跡周囲の墓壇がみられるが、一列に五輪塔などが高麗式で置かれている。その多くは高麗からの持ち込みとされる。大塚跡には高麗式であるが、なかには高麗式もみられる。埋もれているものもみられるが、埋もれるのわりに空堀がつくものも目立つ。(A)遺跡上、埋もれたものもある。高麗の彫りが彫化化した安石として半球形の彫りを施すもの。(B)反花冠が中心の。(C)反花冠がなく、高麗上層の遺構部を穿り出し土塔となつたものがあつた。人が置、反花冠、空堀、空堀がある。空堀の中心に石塔がある。			37	20 B-8
337	中ノ川龍堂石塔群	安岐町 矢川 富敷	南北朝	中ノ川山神と参道の石塔、高麗式がある。境内に宝篋印塔と高麗式がある。宝篋印塔は高さ3mを越え、坐像内部には高麗式を模した、その中に宝篋印塔の彫りを刻み入れている。彫りのうち1層は高さ175cmで、境内に円形彫り(キリク)を彫り入れている。そのうち1層は高さ175cmで、境内に円形彫り(キリク)を彫り入れている。以上は、いずれも南北朝期の作と思われる。				20 B-7
338	玉科寺石塔群	安岐町 矢川 中之庄	室町～戦国	玉科寺は寺となり、現在は空塔となり、かつての境内に高麗式石塔が置かれている。			37	20 A-8
339	弘野御堂石塔群	安岐町 矢川 弘野	室町～戦国	弘野御堂は、弘野集落跡の境内にある。境内には石塔十五堂などが安置される。聖人に由来する石塔が2基あり、境内に五輪塔群がある。			37	20 B-8
340	横上飯倉石塔群	安岐町 山成	室町～戦国	飯倉跡は、横上集落跡の境内にあり、境内に高麗式、高麗式の高麗式が安置される。境内には高麗式の上層に高麗式が置かれている。埋もれているものもある。				20 D-8
341	西台寺石塔群	安岐町 榑木 坪分	室町～戦国	西台寺は西台寺の境内にあり、石塔、高麗式が置かれている。石塔は高麗式の正背面に2基ずつ、両側1基ずつの六地蔵が寄り集められている。室町の作と思われる。			37	21 A-1
342	中野家石塔群	安岐町 榑木 榑木	室町～戦国	八坂北側の高麗式石塔にあり、五輪塔、石塔などがある。高麗式は高麗式で、うち4基には高麗式(ハ)、高麗式(ハ)、高麗式(ハ)、高麗式(ハ)の彫りが施されている。			37	21 A-1
343	八坂北側	安岐町 榑木 榑木	南北朝	寺分地区の境内である八坂北にある。高麗式2基あり、神像1基、高麗式の高麗式(ア)が彫刻されている。その下に「元弘三年(1333)高麗式」の彫りがある。	元弘 (1333)	高麗式 (高麗)	17-35 21 A-1	
344	尾野御堂	安岐町 榑木 榑木	南北朝	八坂北側の山を流る古道沿いにある。高麗17mを越え、境内に高麗式(キリク)の彫りが施されている。その下に「元弘三年(1333)高麗式」の彫りがある。	元弘 (1333)	高麗式 (高麗)	17-35 21 A-1	
345	釜ヶ道石塔群	北岐町 榑木 釜ヶ道	南北朝～戦国	高麗式の高麗式を流る古道沿いに入った釜ヶ道集落跡の境内に高麗式が安置される。境内には高麗式の上層に高麗式が置かれている。埋もれているものもある。高麗式の高麗式は、高麗式の高麗式が置かれている。埋もれているものもある。高麗式の高麗式は、高麗式の高麗式が置かれている。埋もれているものもある。	高麗式 (1330)	高麗式 (高麗)	17-24 37	21 B-1
346	瑞光寺石塔群	安岐町 赤永 山田	南北朝～戦国	六所山寺の瑞光寺境内に石塔1基の高麗式が置かれている。高麗式が置かれている。高麗式は高麗式で、坐像内部には高麗式を模した、その中に宝篋印塔の彫りを刻み入れている。彫りのうち1層は高さ175cmで、境内に円形彫り(キリク)を彫り入れている。以上は、いずれも南北朝期の作と思われる。			17-37	21 A-1
347	杉山石塔群	安岐町 赤永 山田	室町～戦国	瑞光寺境内へ上る道の入り口にあり、五輪塔、一石五輪塔のほか、高麗式の高麗式が置かれている。				21 A-1
348	藤家石塔群	安岐町 山成 藤原	室町～戦国	十五堂を流る古道沿いにある。高麗式の高麗式が置かれている。高麗式は高麗式で、坐像内部には高麗式を模した、その中に宝篋印塔の彫りを刻み入れている。彫りのうち1層は高さ175cmで、境内に円形彫り(キリク)を彫り入れている。以上は、いずれも南北朝期の作と思われる。				21 C-1
349	十五堂石塔群	安岐町 山成 藤原	戦国	十五堂は、高麗式の高麗式の中核の石塔にある。境内には高麗式の高麗式が置かれている。高麗式は高麗式で、坐像内部には高麗式を模した、その中に宝篋印塔の彫りを刻み入れている。彫りのうち1層は高さ175cmで、境内に円形彫り(キリク)を彫り入れている。以上は、いずれも南北朝期の作と思われる。			37	21 C-1
350	重藤院跡石塔群	安岐町 山成 重藤	室町～戦国	十五堂東方の空地が重藤院跡と伝えられている。境内には高麗式の高麗式が置かれている。高麗式は高麗式で、坐像内部には高麗式を模した、その中に宝篋印塔の彫りを刻み入れている。彫りのうち1層は高さ175cmで、境内に円形彫り(キリク)を彫り入れている。以上は、いずれも南北朝期の作と思われる。				21 C-1

形状及び備体数														国東塔	標碑	一石五輪塔	無縁塔	角柱燈臺	石燈	石殿	その他の塔形			
玉輪塔				宝篋印塔				宝塔																
元存	空風鳥	火輪	水輪	透輪	元存	相輪	笠	塔身	基壇	基壇	元存	透輪	宝珠	笠	塔身	基壇	基壇							
7	10	6	6								1	1	2					6						
2	2	1																						
3	3	2	2	1							1	2	3	2			2		1					
3	4	1											1						7					
8		2																	4					
4	4	4	1																4					
1																			2					
	5	4	1										1											
5	3	2	1																					
																								石仏14
3	6	5	7			1													4					
1	2	3	3								1	1							1					
2																			2					
	2	3	1																					
2	3	3																						
2	4	7	6			1	1						1					1	5					
2	3	4	10								1	1							5	2				
3	2	1	1								1	2	2	2					1					
2	1	1	1								2	4	1	1				1	1					
1																			2					
5	3	4	2		1	1	1	1																
3	4	2																						
7	1		2			1																		
#50					1	1	2		1									5						
					1														2					
2	5	1			1	1																		
15	21	20	19																					
8	12	8	7														2		1					
	1	1				3		3	3										1					
13	13	13	11																5	8			1	
																			1					
																			1					
	7	16	14	13		4	4	1											1		1			
65																			1				1	
2	1	1	1		1	1											2		2					
1	1					1													1					
																			1					十五
6	5	1	3																4					

番号	名称	所在地	建立時期	概要	国庫資料の 年号	指定 区分	参考 文献	国庫 指定 番号	
351	泉正宝重印鑑	安岐町 油断木 寺ヶ窪	室町	長崎県泉正寺境内にある。直径190cm×高100cmの銅製である。造形は月輪、四角突起に泉字文がそれぞれ彫刻される。室町期の作と思われる。			37	21 A-2	
352	ケイチン-石五輪塔	安岐町 内島 ケイチン	南北朝-鎌倉	七ヶ丘から山頂に至り上った上った崖際にある。幅10cmで、塔身の開口の下部は階段状に突出させる。南北に一体的な作である。			歩形町 「伝説」	17-37	21 A-3
353	上油断木石塔群1	安岐町 油断木	室町-戦国	上油断木五輪塔で「ア」から前「リ」まで五輪塔の構成が繰り返され、五輪塔の塔身と塔蓋部分がある。うち前部五輪塔は塔蓋がなく五輪塔のみにあつた。塔蓋の上には漢字が刻される。				21 A-3	
354	上油断木石塔群2	安岐町 油断木	室町-戦国	奥土佐の境内にあり一石五輪塔と五輪塔が各1。両者は塔蓋の異なるものに作られていることから、同一塔を併つてつたのではないと思われる。				21 A-3	
355	饅頭取石塔	安岐町 飯塚 飯塚	室町-戦国	江戸時代の塔に属すると思われる。塔身には正倉館三雲ついで六雲文様がある。塔蓋の上部に「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。			豊島町 (石塔)	17-37	21 A-3
356	饅頭取石塔	安岐町 飯塚 飯塚	室町-戦国	奥土佐の境内にあり五輪塔の塔身である。太く意匠に彫られた塔の形は独特である。また、塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化のものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。			豊島町 (石塔)	17-37	21 A-3
357	宮沢家祖師石塔群	安岐町 加保 加保	室町-戦国	奥土佐の境内にあり五輪塔の塔身である。塔身には正倉館三雲ついで六雲文様がある。塔蓋の上部に「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 A-3
358	不動堂石塔群	安岐町 下谷 下谷	室町-戦国	不動堂は上油断木堂の下手にある。長い石段を登りついで堂の奥の奥の奥の上五ヶ所の塔に、四角突起の塔蓋がある。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 B-3
359	七郎一石五輪塔	安岐町 赤松 赤松	室町-戦国	七郎一は赤松町の境内にあり五輪塔の塔身である。直径170cmの大型で、幹口は腰下に大きく開口している。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。			赤松 「伝説」	17-37	21 A-3
360	鎌倉堂石塔群	安岐町 津原 六ノ坪	室町-戦国	鎌倉堂は以下油断木堂を併せて五輪塔塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 B-3
361	城岡寺跡石塔群	安岐町 井戸 井戸	室町-戦国	城岡寺跡は古くは城岡寺の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 C-2
362	関神社石塔群	安岐町 伊賀 伊賀	室町-戦国	関神社境内に一石五輪塔と五輪塔の塔身がある。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 C-3
363	岩室堂石塔	安岐町 伊賀 伊賀	室町-戦国	岩室堂は長尾山麓にあり一石五輪塔と五輪塔の塔身がある。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。	寛文5 (1665)	赤松町	17-36 37	21 C-3	
364	お足婆堂石塔群	安岐町 小野 小野	室町-戦国	現在はお足婆堂の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				17-37	21 C-3
365	田尻家墓地石塔群	安岐町 赤松 赤松	戦国	田尻家墓地の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 A-4
366	鹿島石塔群	安岐町 戸部 戸部	室町-戦国	鹿島石塔群は長尾山麓にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 C-4
367	塚ノ元堂印鑑	安岐町 吉松 ノ元	室町-戦国	新谷川沿いの境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 C-5
368	観音堂石塔群	安岐町 津原 津原	室町-戦国	新谷川沿いの境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 C-5
369	一ノ瀬石塔群	安岐町 赤松 ノ瀬	室町-戦国	美禰寺境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 C-6
370	実輝寺阿闍梨石塔群	安岐町 吉松 吉松	室町-戦国	実輝寺境内の北側に所在する。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。	貞和8 (1349)		17-37	21 C-5	
371	地蔵堂石塔群	安岐町 津原 津原	室町-戦国	津原谷の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 C-2
372	安曇石塔群	安岐町 戸部 戸部	室町-戦国	戸部から北に入った境内にある。石塔は塔蓋と中台の両方に彫刻の施され、塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 C-5
373	安曇佛堂石塔群	安岐町 戸部 戸部	戦国	戸部川沿いの境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。	徳長3 (1558)	赤松町 (伝説)	17-37	21 D-6	
374	実輝寺石塔群	安岐町 戸部 戸部	室町-戦国	実輝寺の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 D-5
375	寶鏡石塔群	安岐町 成久 成久	室町-戦国	宝鏡寺境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 D-5
376	地蔵堂石塔	安岐町 成久 成久	室町-戦国	成久堂境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 D-5
377	観音石塔群	安岐町 成久 成久	室町-戦国	成久堂境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 D-5
378	清原堂石塔群	安岐町 成久 成久	室町-戦国	清原堂境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 D-5
379	保広石塔群	安岐町 中野 光広	室町-戦国	保広堂境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 D-5
380	保正堂石塔群	安岐町 下山口 保正	室町-戦国	保正堂境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 E-4
381	大塚八幡堂石塔群	安岐町 大塚 大塚	室町-戦国	大塚八幡堂境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 F-4
382	善徳八幡社石塔群	安岐町 下山口 善徳	室町	善徳八幡堂境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				37	21 E-4
383	水野石塔群	安岐町 西本 水野	南北朝-戦国	水野石塔群は境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。				17-37	21 E-5
384	山神社石塔群	安岐町 山崎 山崎	戦国	山崎境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 D-1
385	黒尾寺地蔵石塔群	武蔵町 三井 寺	戦国	黒尾寺境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。					21 A-6
386	黒尾寺聖蹟塔	武蔵町 三井 寺	鎌倉	黒尾寺境内の境内にあり、五輪塔の塔身である。塔蓋の上部には「孝」の字と四角突起の塔蓋が浮き彫りにされる。中台の塔蓋部は扁球形を呈した形式化したものになっており、室町期の作と思われる。また、塔蓋にも五輪塔の形状が刻される。	貞和5 (1316)	加久文 館蔵	24	21 A-6	

場形及び個体数																						
五輪造				宝篋印造				宝塔				国東塔	願神	一石五輪塔	無縁塔	角柱塔	石構	石座	その他の塔形			
穴存	空堀輪	火輪	水輪	地輪	穴存	埋輪	笠	塔身	基壇	基壇	穴存									埋輪	宝珠	笠
					1																	
	4	5	6	6												2						
	6	3	3	4													4					
	6	6	2	3													1			1		
	1		1																	1		
	2		1	1				1		1	1											
	3	4	4	2												6					1	
																	1					
	1	1	3		1												1	6		1		
	4	13	7	11						5								3				
	1																1					
		4	2	8		1	1									1	7					
		1	1	1													6					
					1											1						
	6	25	12	11		1			1	1												
	14	10	12	11																		
約100							2	1									6	2				
		1							1										1	1		
7											1										2	
			1																			板碑型石輪1
	2	約30			2												4	1		1		
	4	11	7	5	1		1														2	
	2	2	2	2																		
	6	14	13	11													6					
	7	3	6	5																		
	2	8	6	2	1													3		1		
	2	2	2	1														2				
					1													1				
2	3	2	1	1											1		4					
	1	1																				
	1	4	1							1	1	1	1				1					
																						1

番号	名称	所在地	建立時期	概 要	在籍資料 の年時	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
387	教養寺坐落	武蔵町 吉市	南北朝～戦国	本堂の前に宝篋1基がある。また寺前の小堂内に南北朝期の石造釈迦尊像がみられる。				21 A-7
388	熊池池北東石塔群	武蔵町 永原	戦国	熊池池の北東部にある集落集落の中に石塔群が集まっている。				21 A-7
389	滝末家墓地区石塔群	武蔵町 永原	戦国	黒代墓の南に石塔群をまとめている。				21 A-7
390	湧の地蔵石塔	武蔵町 永原	戦国	湧の地蔵塔の南側に五輪塔が並んでいる。				21 A-7
391	宝徳寺寶雲石塔群	武蔵町 小池	鎌倉期～室町前期	鎌倉前期の宝雲寺境内に上座塔と一石五輪塔が、鎌倉期に宝雲寺 寶徳寺・石塔がある。	鳥取県 指定史跡	23-24	21 B-6	
392	宝徳寺参道黒屋橋石塔群	武蔵町 小池	南北朝	参道の鳥居の南側に宝雲寺と宝徳寺の石塔があり、宝徳寺は中央で割れて下平分を台座とする。	鳥取県 指定史跡	23	21 B-6	
393	小池黒屋橋墓地石塔群	武蔵町 小池	南北朝～戦国	小池黒屋橋の東側墓地内に石塔の群集がある。				21 B-6
394	小池黒屋橋墓地石塔群	武蔵町 小池	戦国	黒屋橋東側の山向にある集落墓地の黒屋橋墓地中に石塔群が集まっている。				21 B-6
395	大良石塔群	鹿野町 小池	戦国	西行実直の山荘にミカン山麓に存在していた石塔群（80基以上）を併せている。				21 B-6
396	市場共同墓地石塔	武蔵町 永原	戦国	市場の黒屋橋地区に汐風橋を欠く一石五輪塔1基がある。				21 B-7
397	西行實直共同墓地石塔群	武蔵町 永原	戦国	市場墓地の中央に石塔群を寄せ集めている。				21 B-7
398	西行實直共同墓地石塔群	武蔵町 永原	戦国	黒屋橋地区の中に石塔群を寄せ集めている。				21 B-7
399	伊藤家墓地石塔群	安芸町 瀬戸田	室町～戦国	黒屋橋の伊藤家墓に、一石五輪塔と小堂両基が各1基安置される。				21 D-5
400	法雲堂石塔群	安芸町 中津	室町～戦国	中津集落内にある法雲堂前に、一石五輪塔と五輪塔群及び石造十王尊がある。		37	21 D-5	
401	海蔵寺石塔群	安芸町 瀬戸田	南北朝	津国寺境内の墓地に五輪塔などが安められている。うち一石五輪塔の口づばは南北朝のもので推定される。また、本堂前には宝篋印尊がみられる。	神橋 一五輪塔	17-37	21 D-8	
402	片山家墓地石塔群	安芸町 馬場	室町～戦国	大崎守の南側にあり、石塔群の庄屋であった片山家の別荘所と伝えられる。小堂五輪塔、五輪塔、一石五輪塔などの石塔群がある。		37	21 D-8	
403	大徳寺石塔群	安芸町 馬場	戦国	門前の石段脇にみられる。				21 D-8
404	マンドコロ石塔群	安芸町 馬場	室町～戦国	新野寺社南側の遺跡敷地に所在する。墓塚状の上五輪塔などが並ぶ。		37	21 D-8	
405	慶雲堂石塔群	安芸町 馬場	室町～戦国	穴蔵寺西隣の山中にある小堂で、内側に宝篋印尊1基が安置され、外側に五輪塔がみられる。		37	21 D-8	
406	ネギチ六郎堂石塔群	安芸町 馬場	室町～戦国	境内内に石塔が認められる。石塔群は、入口に向かって合殿の南に、2箇所に分けて安置されている。				21 D-8
407	五十鈴社墓地石塔群	安芸町 下原	戦国	近世一帯の墓がみられる墓地の中に、五輪塔1基あり、塔基は近年追加されたものの、五輪塔は原位置を保つものではない。				21 D-7
408	備前八公山石塔群	安芸町 下原	南北朝～戦国	安芸郡津和野センター前の備前八公山の公園内に集積されている。大型の宝篋印尊などがあるが、内側に外郭からの持ち込みで、塔基に追加されたものではない。塔基の建立時期は不明である。				21 C-7
409	正十神社石塔群	安芸町 下原	室町～戦国	黒屋の南側に、五輪塔、一石五輪塔などが並べられている。				21 D-7
410	五太郎石塔群	安芸町 下原	戦国	五十鈴神社境内の敷地の小小堂跡に、庚申塔と一石五輪塔と五輪塔の群集が集積されている。				21 D-7
411	新正寺石塔群	安芸町 下原	戦国	赤田寺の小堂跡にある墓石下に安置されている。塔基には、石の礎がみられており、礎が多少傾斜していることが分かる。				21 D-7
412	千人塚石塔群	安芸町 下原	室町～戦国	墓塔の石塔のみで、一石五輪塔や五輪塔の群集が多量にみられる。原位置を保つものではない。		37	21 D-7	
413	天満社石塔	安芸町 下原	室町～戦国	天満社社殿の西側に石塔がある。群集のみで、赤田寺に十王尊が、両側に地蔵菩薩などが彫り添えられている。				21 D-7
414	大跡堂石塔群	安芸町 下原	室町～戦国	大跡堂の北側に一石五輪塔2基、南側に一石五輪塔、五輪塔など十数基がある。一石五輪塔跡のうら。2基は汐風屋跡を欠く。		37	21 D-7	
415	安岐輪跡出土石塔群	安芸町 下原	室町～戦国	安岐輪跡出土地区の跡地で出土した石塔で、一石五輪塔を除きすべてが石塔である。一石五輪塔も欠損が著しく、いずれも汐風屋跡を欠く。五輪塔の群集が大半を占めるが、中に五輪塔の群集もみられる。	13	21	21 D-7	
416	山本家墓地石塔群	安芸町 下原	戦国	墓地のなかに、五輪塔、宝篋印尊、黒屋の群集がある。黒屋は戦国期のものと推され、黒屋上部に庚申塔も彫り出す。				21 D-7
417	伊藤家墓地石塔群	安芸町 下原	戦国	石塔から現代の墓が認められる墓地のなかに、五輪塔1基がある。				21 D-7
418	巖巴家墓地石塔	安芸町 下原	戦国	墓地のなかに、五輪塔の群集がある。				21 D-7
419	鏡門寺石塔群	安芸町 下原	戦国	浄土真宗門内寺境内の縁石に安置される。群集が多量にみられる。				21 D-7
420	柳島寺石塔群	安芸町 西本	室町～戦国	下原寺南西側の丘陵に、大崎守の次子であった柳島殿がある。黒へは津屋敷に柳島殿の墓があるが、また境内に五輪塔がみられる。宝篋印尊は塔基に追加されたもので推定される。黒屋跡の礎がみられる。				21 E-6
421	水口石塔群	安芸町 水口	室町～戦国	マルシノノタの聖蹟院の一角に、五輪塔と一石五輪塔が安置され集積されている。				21 E-7
422	日ヨウ石塔群	安芸町 福屋	戦国	日ヨウ寺の遺跡敷地に、群集のみで、原位置を保つものがない。				21 E-7
423	心月寺墓地石塔群	安芸町 福屋	室町～戦国	心月寺本堂跡の近代住居跡地の一角にあり、黒屋、五輪塔、五輪塔、五輪塔などが並ぶ。黒屋跡は認められるが、宝篋印尊の群集が認められている。黒屋跡の礎がみられる。黒屋跡は黒屋跡が認められている。黒屋跡は黒屋跡が認められている。黒屋跡は黒屋跡が認められている。		37	21 E-6	
424	鹿ハナ石塔群	安芸町 福屋	室町～戦国	黒屋跡に五輪塔の群集が集積されている。原位置を保つものではない。				21 E-7
425	黒神堂石塔群	安芸町 福屋	室町～戦国	黒神堂境内にある黒神堂をまつという堂の隅に安置されている。				21 E-7
426	ハヤ墓地石塔群1	安芸町 福屋	室町～戦国	黒神堂境内の砂丘上にある北側の墓地の一角に、五輪塔と一石五輪塔が集積されている。				21 E-7
427	ハヤ墓地石塔群2	安芸町 福屋	戦国	黒神堂境内の砂丘上にある南側の墓地の一角に一石五輪塔が安置されている。				21 E-7
428	ハヤ墓地石塔群3	安芸町 福屋	戦国	黒神堂境内の砂丘上にある南側の墓地の黒神堂境内に五輪塔群が安置されている。				21 E-7
429	赤木地蔵一石五輪塔	安芸町 福屋	戦国	赤木地蔵建立時に備えられた地蔵塔から当地に移された赤木地蔵に一石五輪塔が添えられている。				21 F-7

備考	名称	所在地	建立時期	概 要	在籍資料の 年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
259	オオヤ一石五輪塔	小野田原河内 小平		小野の谷の最奥部の谷間に2基の一石五輪塔が建てられている。かつて、築港工事の 跡と見られるという。			21 13 D-5	
260	厨前家墓地石塔群	小野田原河内		巨野谷の最奥部にある奥座でも有数の石塔の集中する墓場である。紀年銘をもつ厨前 家(国策)を初め、飯沼氏、森野氏、菅野氏、菅野氏など多数の石塔が立ち並ぶ。湯江 の陣で、中心にある奥座より坂の心算の距離から人員が並んでいる。	元永3 (1321)	国策文 (国策集)	21 13 D-6	
261	藤田越後碑	小野田原河内 藤田	南北朝一統	村田宗隆の墓塔へ掛け入るの入口部に立つ石碑で、2段立っている。一石五輪塔 もある。	貞治5 (1366)	菅野元 (板碑)	21 13 D-8	
262	龍泉寺石塔群	小野田原河内	室町	龍泉寺境内に龍泉寺と宝篋印塔が立ち、両面に五輪塔群が点在する。龍泉塔は 石塔、宝篋印塔は火災受災の平由が西内になる。階下に石塔がある。	永禄2 (1376)		21 13 D-5	
263	龍泉寺入口石塔群	小野田原河内	室町	龍泉寺参道入口に石塔があり、十王と地藏像が彫刻されている。			21 13 D-5	
264	田原内川内遺徳北朝 墓碑	小野田原河内	鎌倉～南北朝	真田連の地の間に立っている。前庭には墓石があるが、判読できない。			21 13 D-5	
265	中野内川内遺徳北朝 墓碑	小野		墓地の一角に龍泉寺や龍泉寺、五輪塔群が点在している。また、谷間にも 五輪塔群が点在している。			21 13 D-5	
266	小俣遺徳碑／小俣遺 石塔群	小野	南北朝	真田の田より一段高い白の上に、都立6基を前面に立ち並び、背後に五輪塔が並ん でいる。中心の石碑に遺徳印塔が刻まれている。周囲には墓石があるものもある。	貞和3 (1347)	真田南 (板碑)	21 13 E-5	
267	田原-吉弘家墓地 石塔群	小野	室町一統	墓地の一角に中野石塔が点在する。墓石がある。多くは墓石の組み合わせを持って いる。墓塔は墓石の組み合わせで立ち上がり、瓦葺きの墓塔である。			21 13 E-5	
268	田原-吉弘家墓地 池原神社	小野	南北朝	田原-吉弘家墓のある丘陵の東古寺に2基の石塔が立っている。2基とも墓塔が あり、1基にはパンの種子がみられる。			21 13 E-5	
269	中村の堂さま 一石五輪塔	小野中村		墓内に一石五輪塔の残欠がある。			21 13 E-5	
270	野田原南辺石塔群	小野		野田原の南辺に龍泉寺や龍泉寺、五輪塔群などが点在する。			21 13 E-5	
271	下平原の堂さま 石塔塔	小野		堂内に2基の石塔がある。いずれも地蔵を彫り彫りしている。堂は無く、堂壁で表 現する。同じ2基の石塔の内、最も小さい地蔵像は中世か。堂の壁には五輪塔の 彫りかみられている。			21 13 C-5	
272	川原池原石塔群	小野		墓内に龍泉寺や五輪塔が立っている。			21 13 E-5	
273	厨前部一石五輪塔	小野		厨前部の墓に一石五輪塔と五輪塔群が点在している。			21 13 E-5	
274	比佐神社御所所蔵 墓碑	小野	室町	比佐神社北の山を穿った斜面の平場に比佐神社御所があり、そこに墓碑が点在する。 内には2基の墓碑がある。			21 13 E-5	
275	藤見五輪塔	小野		安藤家が祀る一石五輪塔1基がある。			21 13 E-5	
276	藤見墓碑群	小野		藤見五輪塔から、藤見を挟んで上の方に、墓碑が点在する。			21 13 E-5	
277	比佐神社佐藤一 石五輪塔	小野	戦国	比佐神社境内に2基の石塔が立つ。2基に囲まれて内側石の前面を北角に彫り望めた 平野原の天竺3基群を囲む石塔があるが、建立年はない。		市野正 (板碑)	21 13 E-5	
278	大内家墓地下 一石五輪塔	小野	戦国	墓石を裏にした中央に、一石五輪塔1基がある。			21 13 E-5	
279	大内家墓地入口 五輪塔群	小野		墓塔の正面のところに一石五輪塔と五輪塔群が点在している。			21 13 F-5	
280	大内家墓地石塔群	小野		丘陵状にある墓場で、宝篋印塔を中心に、両りに五輪塔や五輪塔群が取りまわ りに建てられている。		市史編 2	21 13 F-5	
281	大内部一石五輪塔	小野		墓内に一石五輪塔がある。			21 13 F-9	
282	藤原家墓地 一石五輪塔	小野		墓の中に一石五輪塔1基がある。			21 13 F-6	
283	尾道一石五輪塔	小野		山腹の北斜面に一石五輪塔1基がある。			21 13 F-5	
284	尾道塚碑・ 大谷家墓地石塔群	小野	鎌倉	鎌倉3年のある塚碑と、小型の石碑がある。周囲には五輪塔が点在している。	康永3 (1344)		21 13 F-5	
285	大谷部一石五輪塔	小野		墓内に一石五輪塔がある。			21 13 F-6	
286	平清寺遺徳碑・ 龍泉寺	小野	室町一統	境内に龍泉寺の石碑があり、五輪塔群が点在する。また、龍泉寺の境内には、4基の龍 泉寺の石碑がある。室町に建立した人物像(夫婦?)を彫刻。中世末から近世初頭。		市野正 (龍泉寺)	21 13 F-5	
287	大谷部東五輪塔	小野		墓内に一石五輪塔と火輪塔がある。			21 13 F-5	
288	西山原家墓石塔群	小野		「堂さま」と呼ばれる家墓塔境内に龍泉寺1基が立つ。その南側には五輪塔群が 多数点在している。墓塔の地蔵像1基も中央のものがある。			21 13 F-5	
289	天神社五輪塔	赤松		宇原部一統がある天神社境内に石碑が点在している。			21 13 F-6	
290	永福寺石塔群	赤松	南北朝一統	永福寺に堂さま1基、奥の納骨堂境内に龍泉寺五輪塔、龍泉寺などが点在している。 宝篋印塔は墓石の周辺のものと思われ、階下に龍泉寺が点在している。			21 13 F-5	
291	安岡部五輪塔	赤松		近くで見つかった5輪塔群を築いている。			21 13 F-5	
292	ゾウの墓石石塔群	赤松	室町一統	安岡の谷にある非常霊塔の下のテラスに中世石塔が点在している。周辺には安 岡部の石塔が点在している。小型の龍泉寺の塔には永福寺の遺徳がある。	永享2 (1436)		21 13 G-4	
293	矢野原山五輪塔群	赤松	戦国	矢野原の山斜面に五輪塔群が多数点在している。			21 13 G-5	
294	長谷部一統石塔 五輪塔群	赤松		矢野原山五輪塔群から20mほど離れた石塔群に五輪塔群が点在している。			21 13 G-5	
295	長谷部前山五輪塔群	赤松		周辺の山腹斜面に建てられた五輪塔群を移したものである。			21 13 G-5	
296	ソツツの舟輪園家墓	赤松		アンの谷入口にある「ソツツの舟」の輪に龍泉寺の墓石と塔が点在している。 塔の横にかつては塔があったという。			21 13 G-5	
297	五原部東八幡園家墓	赤松	鎌倉～南北朝	石川/龍泉寺境内に立つ。龍泉寺の遺徳を欠くが、他は完全している。		真田南	21 13 G-5	
298	西郷寺石塔群	赤松		室町時代の西郷寺(西郷)境内に完全の宝篋印塔や五輪塔などが立っている。室 西は堂内塔塔のものと思われる。			21 13 G-5	
299	瀧野原部一石五輪塔	赤松	室町	瀧野の墓に一石五輪塔がある。			21 13 G-5	
300	橋坊遺徳石塔群	赤松	室町	橋坊の島遺徳の石塔先例部に龍泉寺印塔、龍泉寺、五輪塔などの石塔が集中して いる。墓塔の中央に堂さま1基と石塔塔が点在している。また、堂内塔石による石 塔の石組みや、群像を彫刻した石塔も出土している。		市史編	21 13 G-5	
301	小野田家墓地石塔群	赤松	室町	墓塔の中央に堂さま印塔が立ち、両面に五輪塔が点在している。五輪塔とした中 には、堂内塔に遺徳を併したものである。			21 13 G-5	

形 状 及 び 個 体 数																											
五輪塔					宝篋印塔					宝塔				圓寶塔	板碑	一石五輪塔	圓錐塔	角柱塔	石燈	石闕	その他の塔形						
梵形	空蓋塔	火輪	水輪	地輪	梵形	輪軸	冠	塔身	基壇	基壇	梵形	塔輪	宝珠									五	塔身	基壇	基壇		
33	13	33	31	18	2												18	13	25								
			3		1												1									1	
	1	2																									1
																		1									
2	4	6	6	6													1	1	8								
8	3	10	11	10														6	19								
4	5	10	7	5													1	4									
																		2									
																		1									
	1	1	1														1	1	8								
																		2									石仏
			3	2	2													2	6								
			1	1															1								
																		2									
																		1									
			2															2									
10	9	44	26	10	1												2	8									
																		1									
																		1									
																		2	5								
3	1	6	6	4														1									
																		1									
3	9	8	1	2														4	2								
																		1									
		1																1									
3	10	12	9	6									1				1	6									石仏
																		1									
12	15	26	21	14	1												2	5	20								
1		2	2	3																							
1	17	35	15	3									1							1							
		8	13	8	3														7								
		1	2	3	1																						
																			2								
																		1									
																		1									
																		1									
1	7	3	13	2	2									2	2	3	2										
																			1								
10	36	65	63	30	1													3	32								
3	8	15	14	16	1								1				1	1									

番号	名称	所在地	建立時期	概要	古銭資料の 番号	指定 区分	参考 文獻	掲載 地図 番号	
302	シヨウカン寺跡 五輪塔跡	山田		舞踏丸屋敷の山中に「シヨウカン寺」跡あり。そこに五輪塔で覆成せられた石塔群がある。五塔基には文字が刻まれているものがある。			21	13 H-4	
303	富川家墓地五輪塔群	山田		富川家後代の墓所跡に於ける彫り家墓地の中に、五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
304	阿弥陀堂跡五輪塔群	山田		江戸時代末まであったとされる阿弥陀堂跡に一石五輪塔や五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
305	ソウボウの寺跡 五輪塔群	山田		阿弥陀堂跡と推定された場所にソウボウ寺跡があり、そこに五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
306	八坂松光宅五輪塔	山田		芥川の邸から出土したという火葬が施されている。			21	13 H-4	
307	ダイレン寺跡 五輪塔群	山田		富川家墓地の中にある阿弥陀堂が「ダイレン寺」跡である。五輪塔群と五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
308	稲荷社下敷 一石五輪塔	山田		稲荷社の参道の脇に五輪塔群が点在している。また、富川家「稲」(稲荷)が点在している。			21	13 H-4	
309	稲荷社下敷 一石五輪塔	山田		稲荷の跡に1基の一石五輪塔が立っている。			21	13 H-4	
310	森の水邊跡五輪塔群	山田	室町	鎌倉室町まで田の申にあつた屋敷(森の)の奥に五輪塔群が点在している。[知通]と刻まれた一石五輪塔が点在している。				13 H-4	
311	田嶋小学校プール跡 五輪塔群	山田		田嶋小学校のプールの跡の中心に五輪塔群が点在している。小学校跡群は墓地だったという。			21	13 H-4	
312	豊原五輪塔群	山田	室町	田嶋小学校跡の分かれ道のところに、田嶋田嶋が点在している。稲荷も点在している。				13 H-4	
313	清水寺石塔群	山田	南北朝～室町	室町時代の清水寺跡の境内に五輪塔群が点在している。また、池の畔には五輪塔と推定される五輪塔群が点在している。				13 H-4	
314	宝院寺石塔群	山田	南北朝～室町	宝院寺跡の境内には五輪塔や五輪塔群、小笠原寺跡などが点在している。本寺の境内ではないと思われる。				13 H-4	
315	ゲートボール場跡 一石五輪塔	山田		ゲートボール場の跡に一石五輪塔がある。稲荷寺の参道にあたる場所である。			21	13 H-4	
316	宝院寺入口五輪塔	山田	南北朝	宝院寺跡の境内に点在する五輪塔群の1基である。稲荷寺の参道にあたる場所である。		市形 市形		13 H-4	
317	宝院寺跡五輪塔群	山田	室町	宝院寺跡の境内に点在する五輪塔群の1基である。稲荷寺の参道にあたる場所である。				13 H-4	
318	宝院寺跡五輪塔群 (無縁塔)	山田	南北朝	境内の山手に、宝院寺跡山頂の五輪塔群の1基である。稲荷寺の参道にあたる場所である。		市形		13 H-4	
319	チノゴン石塔群	山田	室町～戦国	境内の山手に、宝院寺跡山頂の五輪塔群の1基である。稲荷寺の参道にあたる場所である。			21	13 H-4	
320	廣徳寺石塔群	山田	室町	宝院寺跡の境内に点在する五輪塔群の1基である。稲荷寺の参道にあたる場所である。			21	13 H-4	
321	清原寺五輪塔	山田		宝院寺跡の境内に点在する五輪塔群の1基である。稲荷寺の参道にあたる場所である。			21	13 H-4	
322	山田邸五輪塔群	山田		山田邸跡の境内に五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
323	白狐神社跡五輪塔 一石五輪塔	山田		山田邸跡の境内に五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
324	トビガサコ御堂跡 五輪塔群	山田	小田	山田邸跡の境内に五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
325	音無山入口 一石五輪塔	山田		山田邸跡の境内に五輪塔群が点在している。			21	13 H-4	
326	田原家五輪塔	山田	南北朝	田原家跡の境内に五輪塔群が点在している。		延元 (1339)	藤次 (1339)	21	13 H-4
327	田原家山崎跡 石塔群	山田	南北朝	田原家跡の境内に五輪塔群が点在している。		赤松 (1339)	藤次 (1339)	21	13 H-5
328	白木原跡五輪塔群	山田	南北朝	白木原跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 G-6	
329	白木原石塔	山田	南北朝	白木原跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 G-6	
330	堂原五輪塔群	山田	南北朝	堂原跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 G-6	
331	白木原跡五輪塔 五輪塔	山田		堂原跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 G-6	
332	白木原跡五輪塔群	山田		堂原跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 H-6	
333	八ツ口の跡五輪塔群	山田	南北朝	八ツ口の跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 H-6	
334	宝院寺跡五輪塔群	山田		宝院寺跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 H-6	
335	小田石塔群	山田	小田	小田跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 H-6	
336	小野原跡五輪塔群	山田	小田	小野原跡の境内に五輪塔群が点在している。				13 H-6	
337	花月園跡五輪塔群	山田	南北朝	花月園跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 A-3	
338	石丸宝庫(東側)	山田	鎌倉	石丸宝庫跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 A-4	
339	地蔵寺石塔群	山田	南北朝	地蔵寺跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 B-5	
340	石丸本村跡五輪塔群	山田	南北朝	石丸本村跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 B-5	
341	赤松邸跡 その1五輪塔群	山田	南北朝	赤松邸跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 B-5	
342	赤松邸跡 その2五輪塔群	山田	南北朝	赤松邸跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 B-5	
343	藤松五輪塔群その1	山田	南北朝	藤松邸跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 B-5	
344	藤松五輪塔群その2	山田	南北朝	藤松邸跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 B-5	
345	諏訪神社五輪塔群	山田	南北朝	諏訪神社跡の境内に五輪塔群が点在している。				20 B-5	

塙形及び體體數																						
五輪塙				宝蓋印塙				宝塙				圓形塙	板碑	一石五輪塙	兼體塙	角柱塚塙	石塙	石段	その他の塙形			
完存	空風輪	火輪	水輪	塙體	完存	相輪	笠	塔身	露臺	墓塙	完存									相輪	家成	笠
13	4	8	5															1				
	3	3	2																			
	2	5		1															1			
1	1	2	3	1															11			
		1																				
	1	1											1									
	8	8	7	2										1					2			
																			1			
																			1			
		1	1	1																		
																				1		
10																						
	7	7	4												3					3		
																				1		
		6																	1	1	3	
																				1		
	3	11	12	5															3	12		
		6	4																1		1	
1																						
	1			1																1		
																				1		
	1	4	1	1																2		
																				1		
2																					石仏	
																					墓塙	
36	8	5	6		4															1		
	8	8	10	6																2	7	1
																					1	
	5	9	6																			
1																						
	1	1																			1	
		6	2																	3	3	
	4	4	3	2																	5	
20	30																					
	7	15	18	12																	10	
																					1	
																					1	
	3	14	10	2	2		1													3	1	3
	2					1	1		1												1	
	1	1	1																			
	4	4	3																			
	2	2	1																			

番号	名称	所在地	遺立時期	概 要	古跡資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 番号
346	龍蓮寺石塔群	波多方	南北朝	長谷寺境内に築城跡と宝篋印塔が立っている。近年転もつ礎石は崩壊して礎石を表現する。中央、宝篋印塔は丸蓋を欠く、階輪下段が方形になる蓮状タイプ。また、五輪塔群も点状する。	永祿2 (1376)			20 B-5
347	大池畷地 その1五輪塔群	波多方 大池	室町～戦国	畷地の中に五輪塔群跡と宝篋印塔が点在している。				20 C-5
348	大池畷地 その2五輪塔群	波多方 大池		畷地の中に五輪塔が点在している。				20 C-5
349	小野家畷地下 五輪塔群	波多方		小野家畷地のある丘跡先頭部の遺跡に五輪塔群跡が点在している。				20 A-5
350	三柱神社の宝篋印塔	波多方	南北朝	境内に1基の宝篋印塔が立っている。火災定得の一部欠損は存在してある。		市形		20 A-6
351	山田家板碑群	波多方	南北朝	山田家畷の窪地を掘り出したテラスに板碑群、自然石垣跡が一段に点在。西面には一石五輪塔・宝篋印塔あり。本来の位置を定めたものかどうか不明。		市形		20 A-6
352	東平畷地五輪塔群	波多方		畷地先頭に存された畷地の中に、一石五輪塔や五輪塔群跡が点在する。				20 A-6
353	生目様下五輪塔群	波多方 田ノ池		遺跡「生目様」の参道入口脇の窪地の奥まりの部に、2基の五輪塔がある。内1基は一石五輪塔。				20 A-6
354	河野家畷地五輪塔	波多方		遺跡「生目様」の奥にある河野家畷地に1基五輪塔がある。				20 A-6
355	甲斐家畷地南東隅	波多方	室町	甲斐家畷地に所在。2基の宝篋印塔（内1基は宝篋印塔と含まれている）が点在している。宝篋印塔の1基は遺跡に埋没が深き形で見られる。				20 A-7
356	諸高畷地東端・ 五輪塔	波多方		畷地に遺跡1基、礎石1基。この畷地に橋本の表遺跡がある。他に五輪塔1基がある。				20 A-6
357	小川氏畷地五輪塔群	波多方	室町～戦国	小川氏畷地のテラス上に五輪塔宝篋印塔1、火輪4、水輪3、地輪2が点在して置かれている。				20 B-5
358	備水畷地南西隅 石塔群	備水		畷地に無縁塔の基礎と五輪塔の空堀跡が点在している。				20 B-5
359	廣徳寺西側山 五輪塔群	備水	室町～戦国	丘陵先端部の竹藪に、五輪塔空堀跡2、火輪4、水輪4、地輪9、一石五輪塔3が点在。他に緩やかな坂山道があるので、石塔があるのか？				20 B-6
360	真覚寺五輪塔群	備水 中ノ川		真覚寺の山側に五輪塔群跡が点在している。				20 B-7
361	カミヤシキ五輪塔	波多方		カミヤシキと呼ばれる畷地に1基の五輪塔が立っている。空堀跡を欠く。				20 B-5
362	カミヤシキ西 五輪塔群	波多方		畷地の3基の五輪塔が見えられている。内1基は空堀跡を欠く。				20 B-5
363	坊分迫五輪塔群	備水 畑	戦国	坂先頭部に10×20mほどの平地を掘り、その間に一石五輪塔1基が点在。その下の斜面に2層が転落する。斜面には掘下式坑と思われる構造物がある。「坊分迫」と呼ばれている地帯にあたる。約20mほど離れた地点には「へいしろうま塚」と呼ぶ平地あり。				20 C-7
364	広野家畷地五輪塔群	備水 畑	室町～戦国	将領宅跡に当たる野原の丘陵先端部に五輪塔や宝篋印塔が点在。所蔵書によると、畑に落ちたものを掘り上げて並べたものもあるという。中央に石塔跡に石を立えたものがある。その間に文（長徳2、天仁2）のある五輪塔があるが偽造。				20 C-7
365	広野家畷地入口 五輪塔群	備水 畑	戦国	畷地入口の東端部に五輪塔群跡と一石五輪塔が点在している。				20 C-7

塔形及び個体数																						
五輪塔				宝篋印塔					宝塔					国東塔	板碑	一石五輪塔	懸崖塔	角柱塔	石礎	石殿	その他の塔形	
元存	空鳳輪	火輪	水輪	地輪	元存	惣輪	蓮	塔身	基壇	元存	惣輪	宝珠	塔身	基壇	基壇							
	1	1		3	1											1						
		6	1	1										1								
	1																					
	2	3	2	1													1					
					1																	
	1																16	3				
			1															3				
1																		1				
1																						
							1										2					
	1															1						
1	4	3	2																			
1																						1
2	4	4	3																			3
1		1																				
1																						
3																						
																						3
36	40	16	16										10	2	3							5
	2																					1

参考文献

- 1 橋井高哉『国東半島の石造美術』国東半島文化研究所 1972
- 2 須月文善『大分の石造美術』木耳社 1975
- 3 『耶馬溪町史』耶馬溪町教育委員会 1975
- 4 『真玉町誌』真玉町誌刊行会 1978
- 5 朝日新聞内部本社編『六郷嶺山』朝日新聞西部本社 1978
- 6 『香々地町誌』香々地町誌刊行会 1979
- 7 『院内町誌』院内町誌刊行会 1983
- 8 『耶島村史』耶島村史編纂委員会 1986
- 9 『豊後岡田染匠の調査』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1986
- 10 本耶馬溪町史刊行会『本耶馬溪町史』本耶馬溪町 1987
- 11 入学正敏『宇佐市内石造物一覽』、『二豊の石造美術』8 大分県石造美術研究会 1988
- 12 入学正敏『宇佐市内石造物一覽』、『二豊の石造美術』9 大分県石造美術研究会 1988
- 13 『安岐城跡 下原古墳』大分県教育委員会 1988
- 14 『三光村誌』三光村 1988
- 15 院内町教育委員会『院内町の文化財』院内町文化財調査委員会 1989
- 16 『武蔵町史(改訂版)』武蔵町教育委員会 1990
- 17 『はるかなる安岐ふるさとの文化遺産』安岐町教育委員会 1992
- 18 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅰ』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1993
- 19 『豊後国都甲庄の調査本編』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1993
- 20 入学正敏『宇佐の石造文化財探訪』宇佐文化会館三和文庫運営協議会 1994
- 21 『豊後国田原別荘の調査Ⅱ-田原谷の中世石造物-』大田村教育委員会 1994
- 22 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅱ』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1994
- 23 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅲ』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1995
- 24 『石造文化財の保存対策のための調査調査』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1996
- 25 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅳ』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1996
- 26 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅴ』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1997
- 27 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅵ』大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 1998
- 28 『ふるさと佐田』安心歌町心身すこやか事業推進委員会 1988
- 29 『鬼籠当中石塔跡』国見町教育委員会 1999
- 30 『豊後国香々地庄の調査本編』大分県立歴史博物館 1999
- 31 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅶ』大分県立歴史博物館 1999
- 32 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅷ』大分県立歴史博物館 2000
- 33 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅸ』大分県立歴史博物館 2001
- 34 『六郷山寺院遺構確認調査報告Ⅹ』大分県立歴史博物館 2002
- 35 原田昭一『板碑集成(その3、豊後北部 附、補遺)』-豊前・豊後における紀年銘を有する整形板碑について-『古文化談叢』第50号 九州古文化研究会 2003
- 36 原田昭一『板碑集成(その2、豊前)』-豊前・豊後における紀年銘を有する整形板碑について-『古文化談叢』第49号 九州古文化研究会2003
- 37 『豊後国安岐郷の調査』大分県立歴史博物館 2004
- 38 原田昭一『板碑変遷史-豊前・豊後における紀年銘板碑を通して-』『古文化談叢』九州古文化研究会 2004
- 39 『国東六郷山権願寺』大分県教育庁国東文化センター 2009
- 40 原田昭一『角所宮変遷史-豊前・豊後における紀年銘資料を通して-』『石造文化研究』第27号 おおいた石造文化研究会 2009
- 41 三谷敏平・浦井直幸・江藤和幸・原田昭一『大分県中津市域の中世石造物』『石造文化研究』第29号 おおいた石造文化研究会 2011
- 42 『麻尾寺調査報告書Ⅰ』中津市教育委員会 2013